官報 號外

大正十五年三月二十一日 日曜日

内閣印刷局

○第五十一回帝國議會 衆議院議事速記錄第三十三號

大正十五年三月二十日（土曜日）午後一時十四分開議

議事日程 第三十二號
　大正十五年三月二十日
　　午後一時開議

第一 出版物法案（政府提出） 第一讀會（前會ノ續）
第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選擧
第三 獸醫師法案（政府提出、貴族院送付） 第一讀會
第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選擧
第五 民事訴訟費用法中改正法律案（政府提出、貴族院送付） 第一讀會
第六 民事訴訟用印紙法中改正法律案（政府提出、貴族院送付） 第一讀會
第七 商事非訟事件印紙法中改正法律案（政府提出、貴族院送付） 第一讀會
第八 非訟事件手續法中改正法律案（政府提出、貴族院送付） 第一讀會
第九 人事訴訟手續法中改正法律案（政府提出、貴族院送付） 第一讀會
第十 競賣法中改正法律案（政府提出、貴族院送付） 第一讀會
第十一 民法中改正法律案（政府提出、貴族院送付） 第一讀會
第十二 破產法中改正法律案（政府提出、貴族院送付） 第一讀會
第十三 明治三十二年法律第五十號中改正法律案（外國人ノ署名捺印及無資力證明ニ關スル件）（政府提出、貴族院送付） 第一讀會
第十四 刑事訴訟法中改正法律案（政府提出、貴族院送付） 第一讀會
第十五 右各案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選擧
第十六 產業組合法中改正法律案（政府提出、貴族院送付） 第一讀會
第十七 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選擧
第十八 大正十三年法律第十號中改正法律案（高等諸學校震災復舊諸費ニ屬スル豫算ノ施行ニ關スル件）（政府提出） 第一讀會
第十九 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選擧
第二十 王公族ノ權義ニ關スル法律案（政府提出、貴族院送付） 第一讀會
第二十一 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選擧
第二十二
- 大正十三年度第一豫備金支出ノ件
- 大正十三年度特別會計第一豫備金支出ノ件
- 大正十四年度第二豫備金支出ノ件
- 大正十四年度豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件
- 大正十四年度特別會計第二豫備金支出ノ件
- 大正十四年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件
- 臨時軍事費特別會計豫備費支出ノ件
- 自大正六年二月二十六日至大正九年六月二十五日臨時軍事費特別會計豫備費外ニ於テ豫算超過支出ノ件

（承諾ヲ求ムル件）

第二十三 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選擧
第二十四 勞働爭議調停法案（政府提出） 第一讀會ノ續（委員長報告）
第二十五 治安警察法中改正法律案（政府提出） 第一讀會ノ續（委員長報告）
第二十六 部落問題ノ國策樹立ニ關スル建議案（有馬頼寧君外十二名提出）
第二十七 議員高橋熊次郎君懲罰事犯ノ件 （委員長報告）
第二十八 議員梅田寛一君ノ行動ニ關スル調査ノ件 （委員長報告）

○議長（粕谷義三君） 諸般ノ報告ヲ致サセマス

〔書記官朗讀〕

一 政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
（第一號）大正十五年度歳入歳出總豫算追加案
（第二號）大正十五年度歳入歳出總豫算追加案
（特第一號）大正十五年度各特別會計歳入歳出豫算追加案
（以上三月十八日提出）
（第三號）大正十五年度歳入歳出總豫算追加案
（特第二號）大正十五年度各特別會計歳入歳出豫算追加案
（以上三月十九日提出）

一 去十八日貴族院ヨリ受領シタル政府提出案左ノ如シ
王公族ノ權義ニ關スル法律案

一 議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
蠶種業法案
　提出者 二木 洵君
社交舞踏取締法案
　提出者
　　柏田 忠一君　井本 常作君
輸出羽二重精練業法中改正法律案
　提出者 森田 金藏君
議院法中改正法律案
　提出者
　　中林 友信君　兒玉 右二君
　　永田善三郎君　田淵 豐吉君
（以上三月十八日提出）
北海道御料拂下地免租年期ニ關スル法律案
　提出者
　　東 武君　松實喜代太君
　　岡田伊太郎君　黑住 成章君
（以上三月十九日提出）
北海道土地改良ニ關スル建議案
　提出者
　　岡田伊太郎君　松實喜代太君
　　東 武君　黑住 成章君
北海道土功組合事業助成ニ關スル建議案
　提出者
　　松實喜代太君　東 武君
　　岡田伊太郎君　黑住 成章君
衞生組合法制定ニ關スル建議案
　提出者
　　岡田伊太郎君　黑住 成章君
　　大里廣次郎君　吉津 度君
　　横山 一格君　土屋清三郎君
京都高等蠶業學校ニ製絲科設置ニ關スル建議案
　提出者
　　川崎安之助君　村上 國吉君
敦賀港修築ニ關スル建議案
　提出者
　　山口 嘉七君　谷口宇右衞門君
　　土生 彰君　一柳仲次郎君
乳製品國產奬勵ニ關スル建議案
　提出者
　　一柳仲次郎君　小池 仁郎君
　　山本 厚三君　神部 爲藏君
　　淺川 浩君　澤田 利吉君
　　手代木隆吉君

樺太ニ衆議院議員選擧法施行ニ關スル建議案

提出者

一柳仲次郎君　淺川　浩君

小池　仁郎君　澤田　利吉君

山本　厚三君　千代木隆吉君

神部　爲藏君

大淀川架橋ニ關スル建議案

提出者

長峰　與一君　陣　軍吉君

吉松　忠敬君　佐藤　重遠君

書道振興ニ關スル建議案

提出者

竹原　樸一君　熊谷　直太君

若宮　貞夫君　黑住　成章君

岡田伊太郎君

體育奬勵ニ關スル建議案

提出者

杉浦　武雄君　千葉　三郎君

山口　義一君　岩切　重雄君

山口　政二君

拓殖省設置ニ關スル建議案

提出者

牧山　耕藏君　小橋　一太君

中村啓次郎君　櫻內　幸雄君

東鄕　實君　則元　由庸君

原田佐之治君　中山　貞雄君

高見　之通君

水道費國庫補助金增額ニ關スル建議案

提出者

松浦五兵衞君　中村四郎兵衞君

宮崎友太郎君　小泉策太郎君

倉元　要一君　岩崎　勳君

松本　君平君　三橋四郎次君

黑田重兵衞君　平野　光雄君

山本　勝次君　永田善三郎君

岸和田港修築補助ニ關スル建議案

提出者

山口　義一君　吉津　度君

山本　芳治君

（以上三月十八日提出）

國儀國典ノ制定整理ニ關スル建議案

提出者　荒川　五郎君

（以上三月二十日提出）

決議案（議員事務室設置及圖書館擴張ノ件）

提出者

山口　政二君　杉浦　武雄君

岩切　重雄君　山口　義一君

千葉　三郎君

（以上三月十八日提出）

一議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

軍部ノ公金取扱方法ニ關スル再質問主意書

提出者　清瀨　一郎君

（以上三月十九日提出）

一去十八日貴族院ニ於テ本院ノ送付ニ係ル左ノ議案ヲ可決シタル旨同院ヨリ通牒ヲ受領セリ

（第一號）大正十四年度歲入歲出豫算追加案

（特第一號）大正十四年度各特別會計歲入歲出豫算追加案

造幣局工場其ノ他改築費ニ關スル法律案（政府提出）

京都高等工藝學校移轉改築費ニ關スル法律案（政府提出）

健康保險法中改正法律案（政府提出）

健康保險特別會計法案（政府提出）

〔左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲載ス〕

一去十八日內閣總理大臣ヨリ左ノ通發令アリタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

農林省所管事務政府委員被免

農林書記官　戶田　保忠

一去十八日衆議院規則第十五條但書ニ依リ議長ニ於テ議席ヲ左ノ如ク變更セリ

三六二　宮崎友太郎君

四一三　松田　三德君

一去十八日議員梅田寬一君ノ行動ニ關スル調査ノ件委員平川松太郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ戶澤民十郎君ヲ、大正十四年法律第四十七條衆議院議員選擧法中改正法律案委員原夫次郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ丸山浪彌君ヲ孰レモ議長ニ於テ選定セリ

一去十八日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ

製鐵業奬勵法改正法律案外二件委員

加藤政之助君　飯塚春太郎君

橋本　喜造君　戶澤民十郎君

永田善三郎君　奧村　千藏君

大里廣次郎君　森　恪君

山本粂太郎君　小野　義一君

廣瀨　爲久君　中村　巍君

坂梨　哲君　櫻內　幸雄君

牧山　耕藏君　金光　庸夫君

岩切　重雄君　佐々木平次郎君

土地賃貸價格調査法案委員

高木　正年君　村山喜一郎君

小島　證作君　村上　國吉君

谷口宇右衞門君　吉原　義雄君

竹內友治郎君　八田　宗吉君

大竹　謙治君　大口　喜六君

古林　新治君　山內　範造君

伊坂秀五郎君　植場　平君

小川鄉太郎君　熊谷五右衞門君

浦野　謙朗君　岡田　溫君

海軍軍備制限ニ關スル條約ノ實施ニ伴フ損害ノ補償ニ關スル法律案委員

橋本　喜造君　森田　茂君

山本　厚三君　蟻川五郎作君

平井光三郎君　山田　道兄君

手代木隆吉君　內田　信也君

川口　義久君　熊谷　直太君

山本粂太郎君　板野　友造君

三善　清之君　濱田　精藏君

川原　茂輔君　田中　隆三君

清水市太郎君　佐々木平次郎君

大正九年ニ於ケル尼港事變及「オコーツク」事變ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル法律案委員

山本　厚三君　一柳仲次郎君

山田　助作君　黑住　成章君

砂田　重政君　井口延次郎君

池田　泰親君　志波安一郎君

佐々木平次郎君

明治三十三年法律第七十三號衆議院議員選擧法中改正法律案外四件委員

中野　寅吉君　小野　重行君

福田　五郎君　岡本實太郎君

澤田　利吉君　武富　濟君

加藤　鯛一君　榊原　經武君

井上　孝哉君　石坂　豐一君

志賀和多利君　中村　淸造君

小橋藻三衞君　福井　甚三君

原　夫次郎君　大麻　唯男君

奧野小四郎君　坂東幸太郎君

都市計畫法中改正法律案外一件委員

高木益太郎君　吉川吉郎兵衞君

太田信治郎君　村上　國吉君

橫山　一格君　小島　證作君

近藤　達兒君　矢野　鉉吉君

若尾幾太郎君　中島　守利君

吉津　度君　山本　芳治君

內野辰次郎君　折原巳一郎君

小島　善作君　加藤鐐五郎君

沼田嘉一郎君　土屋淸三郎君

一昨十九日衆議院規則第十五條但書ニ依リ議長ニ於テ議席ヲ左ノ如ク變更セリ

三九　吉良　元夫君

四〇　西村丹治郎君

二〇四　齋藤　珪次君

二一七　高橋　光威君

一昨十九日議長ニ於テ辭任ヲ許可シタル常任委員左ノ如シ

第七部選出豫算委員　田崎　信藏君

一昨十九日常任委員補闕選擧ノ結果左ノ如シ

第二部選出

豫算委員　大石　大君（千葉宮次郎君補闕）

第二部選出

懲罰委員　柏田　忠一君（千葉宮次郎君補闕）

第三部選出

豫算委員　土井　權大君（砂田重政君補闕）

一昨十九日常任委員理事補闕選擧ノ結果左ノ如シ

豫算委員

理事　植原悅二郎君（理事志賀和多利君本月十一日辭任ニ付其ノ補闕）

決算委員

理事　野原種次郎君（理事松山兼三郎君本月九日辭任ニ付其ノ補闕）

一昨十九日委員長及理事互選ノ結果左ノ如シ

製鐵業奬勵法改正法律案(政府提出)外二件委員

委員長　加藤政之助君

理事　奧村千藏君　森　恪君

岩切重雄君

土地賃貸價格調査法案(政府提出)委員

委員長　植場平君

理事　村山喜一郎君　山内範造君

小川鄕太郎君

海軍軍備制限ニ關スル條約ノ實施ニ伴フ損害ノ補償ニ關スル法律案(政府提出)委員

委員長　川原茂輔君

理事　山本厚三君　川口義久君

田中隆三君　佐々木平次郎君

明治三十三年法律第七十三號衆議院議員選擧法中改正法律案(政府提出)外四件委員

委員長　原　夫次郎君

理事　澤田利吉君　石坂豊一君

大正九年ニ於ケル尼港事變及「オコーツク」事變ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル法律案(政府提出)委員

委員長　一柳仲次郎君

理事　井口延次郎君　池田泰親君

都市計畫法中改正法律案(政府提出)外二件委員

委員長　太田信治郎君

理事　小島證作君　矢野鉉吉君

加藤鐐五郎君

一昨十九日大正九年ニ於ケル尼港事變及「オコーツク」事變ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル法律案委員山田助作君志波安一郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ藤井敬愼君中村嘉壽君ヲ、議員梅田寛一君ノ行動ニ關スル調査ノ件委員湯淺凡平君辭任ニ付其補闕トシテ土屋清三郎君ヲ孰レモ議長ニ於テ選定セリ

○議長(粕谷義三君)　是ヨリ會議ヲ開キマス、御諮リヲ致スコトガアリマス、第一部選出豫算委員松山常次郎君、第八部選出豫算委員小野義一君、右兩君ヨリ常任委員辭任ノ申出ガアリマス、許可スルニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(粕谷義三君)　御異議ナシト認メマス、其部ノ諸君ハ速ニ補闕選擧ヲ行ヒ屆出アランコトヲ望ミマス、議事進行ニ關シテ三土忠造君ヨリ發言ヲ求メラレテ居リマス、之ヲ許シマス――三土忠造君

〔三土忠造君登壇〕

○三土忠造君　一昨十八日ノ本會議開會ニ先ダチマシテ、議會會期切迫ノ際、重要議案ノ堆積致シテ居リマスル情勢ニ鑑ミ、各派交渉會ヲ開キマシテ、當日ハ特ニ午後十時頃マデ議事ヲ續行致シマシテ、成ベク議事ノ進行ヲ圖ルト云フ申合セヲ致シ、吾々モ喜ンデ此申合セニ同意ヲ致シタ次第デアリマス、然ルニ當日午後ノ八時頃デアリマシタカ、彼ノ重要法案ノ一タル出版物法案ノミナラズ、引續キ重大ナル法案ガ多々アルニ拘ラズ、國務大臣ノ席ニハ一人ノ大臣ノ御出席ガナク、政府委員モ亦僅ニ數名ヲ算フルニ過ギナカッタノデアリマス、而シテ此重要法案タル出版物法案ノ說明ヲ、一政府委員ニ委ネマシテ主管大臣カラ內務大臣ハ御出席ナカッタノデアリマス、仍テ吾々ハ斯樣ナ重大問題、卽チ此法案ノ制定如何ニ依リマシテハ、國民ノ思想風敎ハ勿論、人權ノ消長、國家ノ隆替ニ至大至重ノ關係ヲ有スル法律案ノ上程ニ際シマシテ、幾多疑義ヲ懷イテ居リマスガ爲ニ、質疑通告者モ數名ノ多キニ上ッテ居ッタノデアリマス、故ニ吾吾ハ內務大臣、文部大臣、司法大臣、少クトモ此三大臣ノ御出席ガナケレバ、此議事ノ進行ハ不可能デアルト考ヘタノデアリマス、尤モ貴族院ニ於キマシテ重要法案ノ審議中デアルトカ、或ハ樞密院ニ於テ緊急事項ノ御諮詢中デアルトカ云フヤウナ場合、大臣ノ御出席ガ不可能デアルヤウナ事情ガアリマスルナラバ、或ハ日程ノ變更ヲ致シテ機宜ノ處置ヲ講ジナケレバナラヌノデアリマスケレドモ、當時吾々ガ如何ニ考ヘテ見マシテモ、左樣ナ重要ナ、各國務大臣ガ一人モ出席出來ナイヤウナ重大ナ問題ハ、院外ニ於テハ起ッテ居ラヌト考ヘタノデアリマス(「ヒヤ〳〵」拍手)仍テ吾々ノ同僚ヨリ致シマシテ、少クトモ內務大臣、文部大臣、司法大臣ノ御出席アランコトヲ要求致シマシタ所ガ、三大臣共何處ニオキデニナルカ行方不明ト云フヤウナ狀況デアッタノデアリマス(拍手)是ニ於テ一時休憩ヲ致シ、改メテ再開致シマシタガ、尙ホ各大臣ノ御出席ガナカッタノデアリマス、後ヨリ承レバ當時各國務大臣ハ、或ハ宴席ニ出席セラレテ、杯盤ノ間ニ談笑享樂ニ耽ッテ居ッタサウデアリマス(拍手)現ニ若槻總理大臣ハ遽シク、酒氣ヲ帶ビテ出席サレマシテ、吾吾ヲシテ深ク遺憾ノ念ヲ懷カシメタノデアリマス(拍手)斯ノ如キ重大法案ノ提出シテ置キナガラ、一人ノ國務大臣モ出席セズ、而モ宴會ニ出席シテ、國事ヲ拋棄シテ置クト云フヤウナコトハ、吾々未ダ曾テ左樣ナ例ヲ見ナイノデアリマス(拍手)當日ノ重要ナル日程ハ夙ニ衆議院ノ公報ニ揭載セラレ、各派申合ニ依テ、十時頃マデ議事ヲ繼續スルト云フコトニ付キマシテハ、國務大臣悉ク御承知ノ筈デアル、然ルニモ拘ラズ斯樣ナ重大問題ヲ上程シテ置キナガラ、一人ノ國務大臣ノ御出席ガナイト云フコトハ、如何ニモ國務ニ對シテ不深切、不熱心デアルト考ヘマス(拍手)由來現內閣ノ諸公ハ議政壇上ニ於テ、動モスレバ宴席ノ間ニ(「ノウノウ」「其通リダ」「事實其通リダ」ト呼フ者アリ)妥協苟合スルコトヲ重シトスル所ノ傾向アルコトハ、吾々ハ國民ト共ニ頗ル遺憾トスル所デアリマス、斯ノ如ク重大ナル國務ヲ拋棄シテ、宴會ニ出席シテ杯盤ノ間ニ歡樂ニ耽ルト云フガ如キコトヲ致シテ、國民ハ斯ノ如キ內閣ヲ安ンジテ頂クコトハ出來マセヌ(拍手「其通リ」ト呼フ者アリ)又斯ノ如クニシテ上至尊ニ對シ奉リ輔弼ノ重責ヲ全ウシ、下國民ニ對シテ其付託ニ副フコトガ出來ルト政府ハ御考ニナリマスカ(拍手)先般政府與黨ノ諸君ガ多數ヲ恃ンデ、動機不純ノ提案ヲ致サレ、或ハ吾々ノ言論ヲ壓迫スル行動ニ出ラレマシタニ付キマシテ、吾々ハ法規典例ニ依據シテ、吾々ノ權利ヲ正當ニ爭ヒマシタニ付キマシテ、是ガ爲ニ幾分議事ノ澁滯ヲ致シタノデアリマス、此時ニ於キマシテ政府竝ニ與黨ノ諸君ハ頻ニ惡宣傳ヲ放テ、議事澁滯ノ責任ヲ吾々ニ轉嫁致サントシタコトハ、世間公知ノ事實デアリマス(拍手)然ルニ斯樣ナ重大ナル問題ガ堆積シテ居ル際ニ於キマシテ、政府ノ國務大臣悉ク議場ヲ拋棄シテ、宴席ニ歡樂ヲ盡スト云フコトハ、吾々ハ如何ニ致シマシテモ、國民トシテ忍フコトハ出來ナイノデアリマス(拍手)申スマデモナク國務大臣ハ、國民具瞻ノ標的デアリ、尊敬ノ儀表デナケレバナラヌノデアリマス、然ルニ斯ノ如キ無責任、不誠實、不眞面目ナル行動ヲ敢テシテ、是ガ國民ノ風敎道德、世道人心ニ如何ナル影響ヲ及ボスト御考ニナルカ(「ヒヤ〳〵」拍手)吾々ハ此際政府ガ一昨十八日ノ八時頃ニ於テ、衆議院ノ諸君ガ眠食ヲ忘レテ國事ノ重大ナルコトヲ考ヘテ、議事ノ進行ヲ圖ッテ居ル際ニ、議院ニ出席ヲセズシテ宴會ニ出席ヲシテ居ッタト云フヤウナ事柄ニ付キマシテハ、玆ニ國民ニ向ッテ明ニ御辯明アッテ然ルベシト考ヘルノデ

アリマス(「ヒヤく」拍手)故ニ政府ニ於キマシテハ、此際左樣ナ吾々カラ申セバ不都合ナル行動ヲサレマシタニ付キマシテ、赤誠ヲ披瀝シテ卒直ニ吾々ニ向ッテ、御辯明アランコトヲ希望致シテ置キマス

○議長(粕谷義三君)　若槻内閣總理大臣

〔國務大臣若槻禮次郎君登壇〕

○國務大臣(若槻禮次郎君)　一昨十八日ノ議事ノ際ニ於キマシテ、私ヲ始メトシテ關係國務大臣ガ出席シテ居リマセナカッタコトハ、如何ニモ不都合デアリマシテ遺憾ノ至リデアリマス、將來ハ斯ノ如キ事ノナイコトニ、深ク注意スル心得デアリマス

○議長(粕谷義三君)　是ヨリ日程ニ入リマス、日程第一……(笑聲起ル)靜肅ニ願ヒマス、日程第一、出版物法案ノ第一讀會ノ前會ノ續ヲ開キマス

第一　出版物法案(政府提出)　第一讀會(前會ノ續)

○議長(粕谷義三君)　質疑ノ通告ガ先ニ安藤正純君ニ許シテアリマシタ、此際安藤君ノ登壇ヲ望ミマス――安藤正純君

〔安藤正純君登壇〕

○安藤正純君　私ハ簡單ニ出版物法案ニ對シマシテ質問ヲ試ミタイト思フノデゴザイマス、明治四十三年ノ改訂以來十七年間其儘トナッテ居リマシタル現行ノ新聞紙法ハ、時代ノ進歩ニ副ハズ、政府ガ此際言論自由ノ精神ニ則リマシテ、今新聞紙法其他ヲ改正シテ、茲ニ出版物法案ナルモノヲ御提案ニナリマシタコトハ、時代ノ精神ニ副フコト、シテ是ハ嘉スベキ事ト存ズルノデゴザイマス、併ナガラ能ク此出版物法案ヲ通觀致シマスルト、言論自由ノ精神ガ到ル處ニ於テ裏切ラレテアルト云フコトヲ遺憾トスルノデアリマス、此點ニ付キマシテ一二質問ヲ致シタイト思フノデアリマスガ、從來問題トナッテ居リマスル所ノ保證金ノ制度デアリマス、是モ今回ノ出版物法案ニ於キマシテハ、第十條ニ於キマシテ保證金制度ヲ規定シテアルノデアリマスガ、今日先進國ニ於キマシテ言論ノ自由ヲ尊重スル國ニ於キマシテハ、保證金制度ナルモノハ一モナイノデアリマス、既ニ普選モ行ハレマシテ、吾々國民ノ權利ガ財産ニ依ッテ左右セラル、ト云フコトガ無クナッタ時代ニ於キマシテ、言論ノ自由ヲ保證金ニ依ッテ之ヲ代償セラル、ト云フコトハ、甚ダ不合理ノ事ト謂ハナクテハナラナイト思フノデアリマス、尤モ保證金ナルモノガ無クナッテシマフト、徒ニ素性モ分ラナイヤウナ新聞雜誌ガ濫發ヲ致シマシテ、世道人心ヲ害スルト云フ憂モアルノデアリマス、此爲ニハ何等カノ濫發ヲ防グト云フコトハ、考ヘテ置カナケレバナラナイノデアリマスガ、サレバト云ッテ只今ノヤウニ保證金制度ヲ拵ヘテ居ッタカラト云ッテ、新聞雜誌ノ濫發ヲ防グコトハ出來ナイノデアル、例ヘバ今日何等ノ金ノ無イ者、何等ノ基礎ノ無イモノガ小サナ新聞ヤ、詰ラナイ雜誌ヲ起スニ當リマシテ、自分カラ千圓二千圓ノ保證金スラ才覺スルコトノ出來ナイ者ガ、他ニ行ッテ高利貸カラ金ヲ借リテ、サウシテ保證金ニ致シマシテハ小サナ新聞雜誌ヲ出シテ居ルト云フ例ハ澤山アル、サウ云フ高利貸ノ輩ガ、斯ノ如クサウ云フ人等ニ保證金ヲ貸スト云フコトヲ商賣ニシテ居ル所ノ輩ガ又ゴザイマシテ、此輩ガ例ノ高利貸ガ二十モ三十モノ新聞ノ保證金ヲ出シテ、自ラ其持主トナリ、自ラ其發行人トナッテ居ル所ノ實例ガ今日アルノデゴザイマスカラ、斯ウ云フ事ヲ考ヘテ見ルト、茲ニ保證金ナルモノヲ置イテ小新聞、小雜誌ノ濫發ヲ防グト云フコトハ、恐ラク今後ト雖モ私ハ出來ナイコトデナイカト思フノデアル、斯ノ如ク致シマスレバ、保證金ト云フモノハ徒ニ言論ノ自由ヲ裏切ルコトニナルカラ、寧ロ保證金制度ハ廢メテ、其代リニ何等カ之ニ對シテ濫發ヲ防グト云フ所ノ御名案ガ案出セラレルノデナクテハナラヌト思フノデアリマスガ、之ニ對スル所ノ政府ノ御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス、ソレカラ次ニ御聞キ致シタイノハ言論ノ制限デゴザイマス、出版物法案ノ第四章ハ卽チ言論ノ制限ヲ規定致シタモノデアル、併ナガラ現行法ト異リマシテ、此制限ヲ列擧主義ニ致シマシタコトハ、稍、進歩シタ事ト謂ハナクテハナラヌト私ハ此點ニ於テハ贊成ヲシテ居ルノデアリマス、併シ仔細ニ之ヲ點檢シテ見マスト、第四章ノ第二十五條、其第六號ニ「虛僞又ハ誇大ノ事項ニシテ社會ノ不安ヲ惹起スヘキモノ」ト云フ項目ガゴザイマス、是ハ虛僞又ハ誇大ト申シマスコトハ、ドノ邊マデガ虛僞デアッテ、ドノ邊マデガ誇大デアルカ、是ハ實際新聞雜誌ヲ編輯シ、之ヲ作ル者カラ言ヒマスルト、非常ニ不都合ナル所ノ條項デゴザイマシテ、而シテ之ヲ檢閲スル所ノ人ガ能ク言論ノ自由ヲ尊重致シマシテ、少クトモ大キナ新聞ノ編輯長位ナ理解ヲ持ッテ居ル人ガ之ヲ檢閲スルノナラバ宜イノデアリマスガ、之ヲ檢閲スルノハ内務省ノ一角ニ於ケル所ノ一小吏員ガヤルノデアリマス、言論ノ自由ヲ果シテ吾々ガ尊重スル通リニ、尊重シテ居ルカドウカト云フコトハ、頗ル疑問デゴザイマスルカラ、此虛僞又ハ誇大ノ事項ト云フコトハ、是ハ當事者ニ取ッテハ頗ル不都合ナル條項トナルノデゴザイマス、此點ニ付マシテ如何ナル點カラヲ虛僞ト言ヒ、如何ナル點カラヲ誇大ト言フノカ、政府ノ御所見ヲ此際ニ承ッテ置キタイノデアリマス、殊ニ私ガ此處デ申上ダタイノハ第二十八條デアリマス、是ハ從來ノ新聞紙法等ニハ全然ナカッタノデアッテ、今回突然ノ是ガ規定デアリマス、卽チ「内務大臣ハ治安維持上重大ナル影響ヲ及ホスノ虞アル事件ニ關シ特ニ事項ヲ指示シテ之ヲ新聞紙又ハ雜誌ニ掲載スルコトヲ禁止シ又ハ制限スルコトヲ得」トアル、從來斯ウ云フコトハ全然ナカッタ、治安維持上重大ナル影響ヲ及ボスモノヲ禁止スルト云フコトハ、是ハ解釋ノ仕樣ニ依ッテハ非常ナル所ヘ行ッテシマフノデアリマス、手心ニ依リマシテ行政ノ取締リガ――際限ナク此取締リノ手ガ伸ビルト云フコトニナルノデアリマス、一例ヲ擧ゲマスルト政局ガ紛亂ヲ致シマス、此政局ノ紛亂ニ付キマシテ、政界ノ事情ナドノコトヲ新聞紙ガ書キマス場合ニ、政局ノ變轉トカ、政界ノ事情トカ云フコトハ、一々事實ヲ捉ヘテノミ書イテ居ルト云フコトハ出來ナイノデアリマス、是ハ推測モアラウシ、類推モアラウ、或ハ想像モアラウ、事實ニ近イ所ヲ根據トシテ、多少類推ノ手ヲ伸サナケレバ、政局ノ報道ナドト云フコトハ出來ナイノデアリマス、斯ル場合ニモ政府ノ手心ニ依ッテ政府ニ都合ノ惡イ事ヲ書イタト云フコトノ爲ニ、是ガ治安維持上影響ガアルト言ッテ、之ヲ禁止セラレルト云フコトニナリマスト、新聞紙ガ逸早ク政局ノコトヲ報道スルト云フ事ニスラ、自由ノ筆ヲ揮フト云フコトガ、或ハ束縛セラレルト云フコトニナリハシナイカ、果シテ然ラバ斯ル突然、今迄ナイ規定ヲ突然茲ニ出シマシテ、徒ニ取締ノ手ヲ伸スト申スコトハ、今日ノ言論自由ノ時代ニハ餘リ見ラレナイ、寧ロ昔ノ保安條例當時ノ面影ヲ今日ニ偲ブヤウナ感ガ私ハアルノデゴザイマス(拍手)米國補習憲法ヲ見マスルト、議會ト言論制限ニ關シ、如何ナル法律モ制定スルコトヲ得ズト云フ意味ノ條項ガゴザイマス、言論ノ制限ニ關シテハ、是程マデニ亞米利加アリタデハ尊重シテ居ルニモ拘ラズ、政府ガ從來ナイ所ノ規定ヲ、言論自由尊重ノ爲ニ茲ニ出版物條例ヲ御拵ヘニナッタト稱シナガラ、今迄無イ所ノ規定ヲ態〻二十八條ニ以テ來テ、斯ル取締規定ヲ設ケルト云フコトハ、所謂政府ノ言論自由ノ精神ヲ自ラ裏切ッテ居ルモノデアルト謂ハナケレバナルマイト思フノデアリマス(拍手)ソレカラ第二十六條デアリマス、第三十一條、卽チ是ハ刑事事件ノ訴訟ニ關シテハ公判ノ開廷前ニハ書イテハイカヌト云フノガ第二十六條デアリ、第三十一條ハ檢事又ハ檢察官ハ、豫審中ノ事ニ關シテハ、之ヲ新聞紙ヤ雜誌ニ掲載スルコトヲ禁止スルコトガ出來ルト云フノデゴザイマス、一應ハ御尤ノヤウデハアルガ、是ハ私ハ必シモ公判開廷前デナクテモ宜カラウ、豫審ガ濟ンデシマヘバ公判ノ開廷マデモ待ッテ居ナイデモ宜カリサウダノニ、早ク國民ニ總テノ事ヲ知ラセルト云フコトガ、國民ヲシテ誤ラシメナイ所以デアルノデアリマスカラ、何モ公判開廷マデ待ツニ及バナイ、豫審終結ト云フコトニ之

ヲ御直シニナル所ノ御意見ハナイカドウカ、第二十六條ニ付キ御伺致スト共ニ第三十一條ノ如キ、新聞デ書カセナケレバ、例ヘバ刑事上ノ犯人ガ餘計捕マルト云フヤウナ風ニ、政府ハ思ツテ居ルノデアリマセウガ、是ハ寧ロ私ハ反對ダト思フ、新聞デ書カナイ爲ニ、却テ惡イ事ヲシタ犯人ヲ取逃シテ居ル例ハ隨分多イノヂヤナカラウカト思フ、今日マデモ其例ハ澤山アリマス、新聞ニ書カセナイ、止メテシマフガ爲ニ却テ其犯人ガ捕マラナイ例ガ今日マデ澤山アル、又之ヲ別ノ例カラ考ヘテ見マスルト、大正十二年ノ關東――東京ニ於ケル所ノアノ大震火災ノ時ナドデモサウデアリマス、アノ時ニハアノ大變災ニ因ツテ、新聞ノ報道機關ガ一時杜絶サレテシマツタ、一週間ナリ十日ナリハ、完全ニ此報道ト云フモノガ出來ナカツタノデアル、其出來ナカツタ間ニ於キマシテ、色々ナ事柄ガ傳ハツテ國民ヲ惑ハシタ、朝鮮人ガ一大暴動ヲヤツテ居ル、爆裂彈ヲ其邊ノ方々ニ叩付ケテ陰謀ヲ企テ、居ルト云フヤウナ、朝鮮人ガ大擧シテ攻入ツテ來ルト云フヤウナ噂ガ甲カラ乙、乙カラ丙ト、ソレカラソレト喧傳サレマシテ、是ガ爲ニ非常ニ平和ヲ害シタト云フコトハ、卽チ新聞雜誌ナル所ノ報道機關ガ迅速ニ無クツテ、杜絶セラレタカラシテ、是ガ行ハレタノデアル、ソレデアリマスカラ、寧ロ檢事又ハ檢察官ガ之ヲ止メルト云フコトハ、却テ國民ヲシテ色々ナ事ニ惑ハセルト云フコトニナリマシテ、寧ロ是ハ利益ガ無イノデアリマス、今日デハ警察デモ國民警察ノ精神ニ則リマシテ、寧ロ或ル程度、或ル期間以後ハ、之ヲ新聞等ニ書カセテ、國民ト共ニ犯罪ヲ搜索スルト云フ所ノ御方針ヲ執ラレタ方ガ、寧ロ時代ニ適切デハナイカト私ハ思フノデアリマス、此點ニ關スル所ノ御意見ヲ伺ヒタイノデアル、次ニ質問致シタイノハ行政處分デアリマス、此行政處分ハ第三十三條ニ、是レ是レノ事ヲシタ場合ニハ其出版物ノ發賣頒布ヲ禁止シ、必要アル場合ニハ之ヲ差押ヘルコトガ出來ルトナツテ居ルノデアリマス、是ハドウ云フ時カト云フト、卽チ第二十七條ノ戰時、事變、第二十八條ノ內務大臣ノ禁止シタ事項、是等ヲ敢テ犯シタル者ハ三十三條ニ依ツテ、其出版物ノ發賣頒布ヲ禁止セラレ、之ヲ差押ヘラレルト云フノデゴザイマス、而シテ其發賣頒布ノ禁止及差押ニ對シマシテ、何等救濟ノ途ガ之ニ開イテナイノデアル、各國ノ立法例ヲ見マシテモ、斯ル場合ハ必ズ之ヲ救濟スルノ途ガ開ケテ居ルノデアリマス、卽チ私ハ此行政處分ニ對シマシテ、行政訴訟ヲ起スト云フ途ヲ開ク所ノ御考ハナイカドウカ、之ヲ伺ツテ置キタイノデアリマス、尙ホ此行政訴訟ヲヤルコトガ出來ルト云フコトニナリマスト、同ジ差押處分ヲ致シマスルニモ、禁止處分ヲ致シマスルニモ、政府ノ者ガ手心ヲ致シマシテ、無暗ニ之ヲヤラナイ、餘程尊重シテ之ヲヤルト云フコトニナリマセウカラ、此行政訴訟ノ途ヲ開クト云フコトハ、私ハ必要デアラウト思ヒマスガ、政府ハ之ニ對スル所ノ御意見ハ如何デゴザイマスカ、モウ一ツ伺ヒタイノハ罰則ノコトデアリマス、此罰則ハ私ハ非常ニ改惡セラレタト思フノデアリマス(拍手)一體斯ウ云フ出版物條例ノ如キモノハ、成ベク自由ニシテ、其罪ノ如キモ成ベク輕ク處斷スルト云フノガ、言論自由ノ精神デハナイカト思フ、之ニ反シテ今度ノ罰則ハ、現行ノ新聞紙法ヨリモズツト重クナツテ居ルト云フコトハ、此條文ヲ通覽致シマスレバ直ニ分ルノデアリマス、卽チ現行法ハ罰金體刑ノ選擇刑デアリマシテ、而モ體刑ガ一審重イノハ禁錮二年デアリマス、罰金五百圓デアル、所ガ昨年矢張新聞紙法改正案ガ出マシテ、私共モ之ニ委員トシテ參加ヲ致シテ此衆議院ヲ通過致シタ、昨年ノ改正案ニ依リマスルト、體刑ハ全然拔イテシマツテアル、罰金刑ダケニ昨年ハ致シタノデアリマス、ソレデアリマスカラ現行法ヨリハ昨年ノ改正案ノ方ガ進ンデ居ル、然ルニ今回政府ガ御提出ニナリマシタ此出版物法案ヲ見マスト、矢張罰則ガ罰金ト體刑トノ選擇刑デアツテ、而モ罰金ノ方ハ一番重イノガ三千圓ニナツテ居ル、ソレカラ體刑ノ方ハ一番重イノハ禁錮三年ニナツテ居ルノデアリマス、今ノ現行法デスラ一番重イ罰金ガ五百圓デ、禁錮ガ二年デアルニ拘ラズ、言論ノ自由ヲ標榜シテ輕ク之ヲ處斷シナケレバナラナイ所ノ改正案ニ於テ、現在ヨリモ重イ罰金三千圓、禁錮三年ト云フ重刑ヲ課スルト云フコトニ至ツテハ、寧ロ嚴罰主義ヲ以テ言論ノ自由ニ臨ムト云フ所ノ缺點ガアルデアラウト思フ、此點ニ對スル政府ノ所見ヲ伺ヒタイノデアリマス、尙ホ細カイ點ガゴザイマスガ、他ニ質問者モアリマスルカラ、最後ニ私ハ唯ゞ一條ノ見遁シニナラヌ所ノ實際上ノ缺點ヲ指摘致シマシテ、之ヲ質問ヲ致シタイ、サウシテ此質問ヲ終リマス、卽チ本案ノ第五條ヲ見マスルト、「本法ニ於テ編輯者ト稱スルハ新聞紙又ハ雜誌ノ編輯ヲ管理スル者ヲ謂フ」ト斯ノ如クアルノデアリマス、所ガ御承知ノ通リ現在ノ編輯人トシテ新聞ヤ雜誌ニ書イテアル名ハ、實際ハ新聞雜誌ノ編輯ヲ管理シテ居ル人デハナイ、卽チ新聞紙雜誌ノ編輯ヲ管理スル者ト云ヘバ、是ガ所謂編輯長ナノデアリマス、所ガ所謂編輯長ガ自身デ新聞紙ニ署名シテ居ルモノハ、極メテ小サナ新聞紙カ雜誌デアツテ、主ナル新聞雜誌ハ編輯長自身ハ署名ハシテ居ラナイ、併シ理論カラ云ヒマスルト編輯長自身ガ編輯者トシテ署名スルト云フコトハ、最モ公明ナル譯デアツテ、私ハサウ云フ時期ガ一日モ早ク實際ニ至ランコトヲ熱望スルノデアル、併シ今日ハマダ其處マデ時期ガ進ンデ居リマセヌ、卽チ行政官廳ト云フモノガモツト進步ヲ致シマシテ、之ヲ取扱フ下々ノ役人マデガ、言論自由ノ精神ヲ能ク理解ガ出來ル、少クトモ新聞ヲ管理スル編輯長位ノ知識ト、理解トガアル時代ニナレバ、新聞ノ方デモ編輯長自ラ署名スルノガ宜イノデアリマスガ、今日ノヤウナ內務省ノ警保局ニ於ケル所ノ一吏員ガ專ラ檢閱ノ任ニ當ツテ、時ノ政府ノ鼻息ヲ窺ツテ、御都合主義ノ檢閱ヲスルヤウナ弊風ガ時々アルガ如キ、檢閱第一主義ノ今日ノ世ノ中ニ於キマシテハ、新聞ヤ雜誌ニ於キマシテモ斯ノ如キ危險ナ事ヲ敢テスルコトハ、マダ出來ナイト云フコトヲ私ハ思フノデアル、若シサウ云フコトヲ矢鱈ヤリマスト、編輯長自ラガ年中監獄ニ引張ラレ、年中裁判所ニ引張ラレ、立派ナ新聞ヤ雜誌ハ國民ノ前ニ之ヲ拵ヘテ出スコトガ出來ナイト云フ妙ナ結果ニナリハシナイカト思フノデアリマス、デアルカラ私ハ一口ニ言ヘバ、是ハ時期ガ早イト言フ、要スルニ茲ニ第五條ノ編輯者ト謂フノハ、新聞又ハ雜誌ノ編輯ヲ管理スルト書イテアルガ、敢テ管理シナイデモ、從來ノ編輯人ト同ジ意義ニ御解釋ニナル御考ガアルカナイカ、是ハ實際新聞ヲ拵ヘル者、實際雜誌ヲ拵ヘル其經營ノ當事者ニ付キマシテハ、是ハ見遁シナラヌ重大事項デアリマスカラ、政府ノ御所見ヲハツキリ伺ツテ置キタイノデアリマス、而モ其第六十一條ヲ見マスルト「本法施行ノ際現ニ新聞紙法ニ依リ發行スル新聞紙ニシテ本法ノ新聞紙又ハ雜誌ニ該當スルモノハ之ヲ第七條ノ規定ニ依リ屆出ヲ爲シタル新聞紙又ハ雜誌ト看做ス」ト斯ウ書イテアリマス、サウスルト現在出シテ居ル新聞紙ト雜誌ハ其儘デ宜イヤウニ思フノデアリマスガ、第七條ノ規定ニ依リ屆出ヲ爲シタル新聞紙又ハ雜誌ト看做スト云フノダカラ、現在刊行ヲシテ居ル新聞雜誌ハ其儘デ宜イト云フ風ニモ思ハレマスルガ、直グ次ノ六十二條ニ「前二條ノ新聞紙又ハ雜誌ノ發行者ハ本法施行ノ日ヨリ三十日以內ニ第七條第一項第六號ノ事項ヲ屆出ツヘシ」ト斯ウアル、サウ致シマスルト、其第七條第一項第六號ト申シマスノハ、發行者及編輯者ノ住所氏名及生年月日トアリマスカラ、サウスルト此第五條ノ「編輯ヲ管理スル者ヲ謂フ」ト云フコトガ茲ニ適用セラレテ參リマシテ、現在出シテ居ル新聞紙モ亦本式ニ編輯長ヲ以テ編輯者署名人トシテ屆出ナケレバナラナイト云フコトニナリマシテ、是ハ現在ノ新聞雜誌ニ對スル一大問題デアリマスカラ、此除外例ヲ設ケルノカ設ケナイノカ、何ダカ六十一條六十二條ガ頗ル曖昧デアリマスカラ、此點ニ付テモ現在出シテ居ル新聞雜誌ハ除外

例ニナルノカ、矢張除外例ニハナラナイデ、本當ノ編輯長ヲ署名人トシテ屆出セシムルノカ、其點ヲ伺ヒタイノデアリマス、最後ニモウ一ツ伺ッテ置クノハ、其第七條ノ第六號デアリマス「發行者及編輯者」ト書イテアル下ニ括弧ヲ致シマシテ(新聞紙又ハ雜誌ノ版ニ依リ其ノ編輯者ヲ異ニスルトキハ其ノ版別編輯者)ト斯ウ書イテアル、所ガ是ハ私ハ到底出來得ベカラザルコトヲ茲ニ御規定ニナッタモノデアラウト思フ、版別編輯者ト云ヒマシテ、一ツノ新聞ナリ雜誌ナリヲ晝間發行ノ第一版、夜出ス所ノ第二版ト、二ツ位ニ別ッテ居ルトキニハ、晝間編輯者ノ署名人ト、夜間編輯者ノ署名人ト、二人位デ濟ミマスケレドモ、現在ノ大新聞ノ狀況ト云フモノハ、一版、二版、三版、四版、五版、六版、多イ所ハ七版、八版ニ一日ノ中ニ之ヲ改訂シテ居ル、其外ニ御承知ノ通リ、最近數年ニ於キマシテ、東京邊リノ新聞紙デハ地方版ナルモノヲ出シマシテ、或ハ東海版デアルトカ、千葉版デアルトカ、房總版デアルトカ、色々ナ版ヲ出シテ其地方版ヲ十五版モ十六版モ改メテ居ル所ガアル、サウ致シマスト、本版ノ方ガ六版モ七版モアリ、地方版ガ十五版モ二十版モアルト、一日ノ新聞ガ三十版モ五十版モ版ヲ改メテ居ルノデアリマスルカラ、其版別每ニ編輯者ヲ別々ニ屆出テ置ケト云フコトハ、其繁雜、到底堪ヘ得ベカラズシテ、而シテ其版每ニ、一々何カアルト裁判所ニ引張ラレル、一々左樣ナ事ヲセラレルト云フコトニ至ッテハ、是ハ寧ロ言論自由ヲ尊重シテ、之ヲ發展セシメルノデハナクシテ、言論自由ノ進路ヲ政府自ラ之ヲ閉塞杜絕スルト云フ結果ニ終リハシナイカト思フ、斯ノ如キハ餘リニ新聞雜誌ノ編輯、經營ノ實情ニ通ゼザル內務省、政府机上ノ空論デ終ラナケレバナルマイト思フノデゴザイマス、此點ニ付キマシテハ、願クバ內務大臣、司法大臣等ヨリ明瞭ナル御答辯ヲ願ヒタイ次第デゴザイマス

〔國務大臣若槻禮次郎君登壇〕

○國務大臣(若槻禮次郎君)　御質問中ノ最後ノ所カラ御答ヲ致シマス、即チ編輯人ト云フノハ、今日編輯長ノ事務ニ當ッテ居ル者ヲ云フノデアルカ、或ハ現行法ニ於テ編輯人ト稱セラレテ、人ヲ定メテアル者ガアルガ、ソレヲ稱スルノデアルカト云フ御質問カラ御答ヲ致シマス、今回ノ法律ハ、編輯人ト云フ點ニ關スル限リハ、現在ノ規定ヲ少シモ變ヘタノデハアリマセヌ、即チ編輯長ト云フノヲ指スノデハナクシテ、現在編輯人ト唱ヘテ居ル、ソレト同樣ノ者ヲ指スノデアリマス、法文ニハ是迄ハ編輯ヲ擔當スル者ト書イテアル、今度ハ編輯ヲ管理スル者ト言葉ガ變ッテ居リマスケレドモ、實際ハ同樣ノ者ヲ意味スル考デアルノデアリマス、尙ホ版別編輯者ト云フノハ、版每ニ編輯者ヲ異ニシテ屆出ヲセナケレバナラヌカドッカ、若シソレナラバ繁雜ニ堪ヘナイト云フ御質問デアリマシタガ、法律ハ版別ニ編輯人ヲ違ヘテ居ルナラバ屆出ロト云フノデアリマスルカラ、違ヘテ居ラナケレバ屆出ルニハ及バヌノデアリマス、ソレカラ第六十六條デ現在既ニ發行シテ居ル新聞雜誌ハ、此法律ニ依ッテ屆出ヲシタモノト看做スト云フコトニナッテ居ル、ソレデアルノニ、六十二條ニ尙ホ第七條ノ屆出ヲ一定ノ期間ニ爲サナケレバナラヌヤウニナッテ居ルカラ、ソレカラ推シテ解釋スレバ、或ハ編輯人ト云フノハ、現行ト違フ意味デ出來テ居ルノデハナイカト云フ、斯ウ云フ御疑問デアリマシタガ、サウデハナイノデアリマス、第六十一條ハ法律ハ改正ニナッタケレドモ、現在ノモノハ其儘デ既ニ屆出タモノト看做ス、斯ウ云ウテ其手續ヲ簡略ニシタノデアリマス、唯〻第七條ノ屆出ヲ爲サシメマスノハ、現行法ニ於テハ編輯人ノ住所ヲ屆出ルコトニナッテ居ラナイ、又只今申ス如キ版別ノ編輯者ガアルトキニモ、版別ニ編輯者ヲ屆出ルト云フコトニナッテ居ラナイノデアリマスカラ、ソレ故ニ此際ソレヲ明ニスル、ガ爲ニ、第六十二條ノ規定ガアル所以デアリマス、ソレカラ初メノ御質問ニ戾ッテ順次ニ御答辯ヲ致シマス、第一ハ保證金ノ制度ヲ何故ニ廢止セナカッタカト云フ御質問デアリマス、現在ノ保證金ノ制度ガ、效力ノ少イコトハ、政府モ認メテ居ルノデアリマス、併シ凡ソ取締ニハ、事後ノ取締モ固ヨリ必要デアリマスケレドモ、同時ニ事前ノ取締ガ必要デアルノデアリマス、殊ニ新聞雜誌ノ如ク、多數ノ讀者ヲ有シテ居ルモノニハ、餘程世間ニ影響スル所ノ關係ガ少クナイノデアリマスカラ、之ニ關スル取締ハ、事後ト事前ト共ニ周密ナルコトヲ要スルノデアリマス、ソレガ爲ニハ不堅實ナル新聞雜誌ノ存在セナイヤウニ、ソレガ爲ニ現行ハ保證金ノ制度ト云フモノガアルノデアリマス、但シ是アリマシテモ、安藤君ノ述ベラル丶ガ如ク、其效果ガ十分デナイコトハ政府モ認メテハ居リマスガ、尙ホ效果ノ少イノデモ、無キニハ優ルノデアッテ、現行ニアルモノヲ廢止スルト云フコトハ、マダ早イト認メタ次第デアルノデアリマス、第二ノ御質問ノ第二十五條ノ第六號「虛僞又ハ誇大ノ事項ニシテ社會ノ不安ヲ惹起スヘキモノ」、此虛僞又ハ誇大ノ事項ト云フノハ、ドウ云フ程度以上カラ之ヲ謂フノデアルカ、斯ウ云フ御質問デアリマス、現行法ノ安寧秩序ヲ害スルモノト云フノハ、即チ虛僞又ハ誇大ノ事項ニシテ、社會ノ不安ヲ惹起スベキコトヲモ、尙ホ其中ニ包含セシメテ居ルノデアリマス、偖ソレナラバ虛僞又ハ誇大ノ事項ト云フノハ、ドウ云フ程度ヲ以テ之ヲ認メルノデアルカ、而モソレガ社會ノ不安ヲ惹起スト云フヤウニ見ルノハ、如何ナル程度ヲ以テ之ヲ判斷スルノデアルカ、是ハ全然常識ヲ以テ判斷スルノ外ハナイノデアリマス、常識ヲ以テ判斷シテ――餘リニ苛察ニ涉ラヌヤウニ常識ヲ以テ判斷致シマシテ、如何ニモ是ハ誇大ナ事ヲ言ウタモノデアル、サウシテ斯樣ナコトヲヤラレ丶バ社會ノ不安ヲ惹起スモノデアルト認メラル丶モノガ、第二十五條ノ第六號ニ該當スル次第デアリマス、ソレカラ第二十八條ニ依ッテ、內務大臣ハ治安維持上重大ナル關係ヲ及ボスノ虞アル事件ニ關シテハ、特ニ事項ヲ指示シテ、新聞紙又ハ雜誌ニ揭載スルコトヲ禁止、若クハ制限スルコトガ出來ルト云フ規定ハ、現行法ニナカッタノデアルガ、新ニ之ヲ入レタ、是ガ言論出版ノ自由ニ大ナル影響ガアルヤウニ御覽ニナッタヤウデアリマス、併シ是亦現行法ノ安寧秩序ヲ害スルト云フ事項ノ中ニ含マレテ居ル事項デアリマシテ、而モ現行法ニ於テモ、安藤君ナドハ實際御承知デアリマセウガ內務省デハ特ニ事項ヲ指摘シマシテ、此事件ヲ記載セラレルト云フト、政府ハ治安維持上重大ナル影響ヲ及ボスモノトシテ之ヲ禁止スルコトガアルゾト言ッテ、豫メ警告シテ居ル事件ガ屢〻アルノデアリマス、即チ斯ノ如ク現行ニ於テモ行ハレテ居ル所ノモノヲ成文ノ上ニ揭ゲテ、ハッキリト法制ヲ正シタ次第デアリマス、第二十六條ト第三十一條ハ刑事訴訟ニ關係スルコトデアリマスカラ、是ハ司法大臣ヨリ御答ヲスルコトニ相成ラウト存ジマス、其次ノ御質問ノ行政處分ニ付テ斯樣ナ行政處分ヲスルナラバ、之ニ對シテ行政訴訟デモ起シテ、ソレニ依ッテ救濟ノ途ヲ開ク方ガ宜イト思フガドウデアルカト云フ御質問デアリマス、此點ハ現行法ニ於テモ左樣ニハナッテ居リマセヌ、現行法ト其救濟ヲ認メル點ニ於テ異ナル所ハナイノデアリマス、而シテ何故行政訴訟ヲ許サナカッタカト申シマスルト云フト、行政訴訟ヲ認メマスルト云フヤウニナッテ、ソレガ爲ニ出版警察ニ於ケル當局ノ最高認定權限ヲ失ハシメ、爲ニ言論取締ニ對スル不統一ヲ招キ、國家ノ統治上憂慮スベキ結果ヲ來ス虞ガアルヤウニ考ヘマシタガ爲ニ、矢張現行法ノ通リニスル方ガ相當デアラウト考ヘタノデアリマス、併シ第二項ニ於キマシテ「內務大臣ハ前項ノ規定ニ依リ差押ヘタル出版物ニ付發行者ノ請求アルトキハ前項ノ事項ヲ揭載シタル部分ヲ除キ其ノ差押ヲ解除シテ之ヲ還付スルコトヲ得」ト云フコトニナッテ居リマス、是ハ現行法ニハナイノデアリマスガ、今回ハ此處マデ惡イダケ止メテ、後トヲ戾スヤウニスルト云フ點ニ於テ、現行法ヨリモ一段新聞雜誌社ノ便宜ヲ圖ッタ積リデアリマス、第六ノ御質問ハ罰則ニ關スル規定デアリマス、今回ノ罰則ガ現行法ヨリモ重

クナッテ居ルヤウデアルガ、是ハ言論ニ對スル自由ヲ一般拘束スルモノデアルト云フ御質問デアリマス、如何樣現行法ヨリモ禁錮ニ於テ三年ニナッタモノガアリマス、罰金ニ於テ三千圓ニモ上ッタモノガアリマス、併シ此事項ニ該當スルモノハ皇室ノ尊嚴ヲ冒瀆スル事項ト、國體ヲ變革セントスル事項デアリマシテ、是等ノ事項ノ重大ナルコトニ鑑ミマシテ、此制裁ヲ重クスルノガ至當デアルト思フノデアリマス、尤モ其外ニ於テモ罰金ノ金額ノ增加シタモノガアリマスガ、是ハ經濟上ノ狀況ガ、現行新聞紙法ヲ制定セラレマシタ當時ヨリモ變ッテ居ルノデアリマスル故ニ、制裁トシテ相當ノ效力ノアルヤウニスルノニハ、現在ノ經濟狀況ニ應ジテ改正スルノガ相當デアラウト考ヘタノデアリマス、大體御質問ハ斯ノ如キ關係ガアリマス

○藤澤幾之輔君 是ヨリ豫算委員會ヲ開キマス

(國務大臣江木翼君登壇)

○國務大臣(江木翼君) 安藤君ヨリ御尋ニナリマシタ中デ、第二十六條竝ニ第二十一條ニ關シマスル事柄ニ付キマシテ、大體ノ御答ヲ致シマス、此兩條共大要之ニ類似シタル事項ハ現行法ニモアル所デアリマシテ、第二十六條ノ方ハ刑事事件ニ關スル內容ノ揭載ヲ、公判開廷前マデハ停メテ居ルト云フコトナノデアリマス、是ハ申上ゲマス迄モナク、罪證ノ湮滅ヲ防ギ、又犯罪人ノ逃走ヲ防止スルト云フ理由ガアリマスコトハ申ス迄モナイコトデアリマスルガ、同時ニ又事件ノ內容ヲ成シテ居リマス所ノ個人ノ名前等ガ新聞ニ揭載セラレマスコトハ、其個人ノ名譽信用ヲ毀損スルコトガ頗ル大ナルモノガアルト認メラレマスノデ、此個人ノ名譽信用ヲ保護スル爲ニモ、此揭載ヲ禁止スルコトガ頗ル必要デアルト認メラレタノデアリマス、ソレカラ第三十一條ノ檢事ノ差止命令、是亦同樣ノ事項デアリマスルガ、今日マデ此條項ヲ適用シマシタル場合ハ、比較的尠イノデアリマス、必シモ常ニ事件ガ起リマシタ度每ニ、事項ヲ指示シテ揭載ヲ禁止スルト云フガ如キコトハ無イノデアリマシテ、凡ソ一年間ニ何十万件ト云フ刑事事件ガアリマスニ拘ラズ、揭載禁止ヲ致シマスル事項ト云フモノハ僅ニ十數件――兎ニ角二三十件ヲ超ユルコトハナイノデアリマス、極メテ僅カデアリマスルガ、併ナガラ左樣ナ必要ハ固ヨリアルノデアリマス、差止ヲ致サナケレバ、或ハ其結果犯罪ノ捜査ニ支障ヲ來シ、或ハ公判豫審ノ進行ニ對シテ支障ヲ來シ、影響ヲ及ボストカ云フガ如キコトガアリマス爲ニ、此規定ト云フモノハ必要ト認メラレテ從前通リ置カレタ所以デアリマス、ソレカラ罰則ニ關スルコトニ付キマシテハ、只今內務大臣ヨリ御述ニナリマシタガ、成程重クナッテ居ル點モアリマスルガ、同時ニ又輕クナッテ居リマス點モ多々アルノデアリマス、例ヘバ皇室ノ尊嚴ヲ冒瀆スルトカ、或ハ國體ノ變革ヲ企圖スル所ノ事項ヲ揭載スルト云フガ如キモノニ對シマシテハ、其事項ノ本質ニ鑑ミマシテ、刑ヲ重ク致シテ居リマスガ、其他ノ所謂朝憲紊亂的ノ行動ニ對シマシテハ、刑ヲ一體ニ輕ク致シテ居リマス、其外責任者ノ範圍ヲ成ベク發行者ニ止メラ編輯者ニ及ボサナイトカ、或ハ印刷者ニ及ボサナイトカ、或ハ刑ノ時效ガ三年デアッタモノヲ、一年ニシタト云フガ如キ、刑罰上ノ規定ニ屬スルモノニシテ、現行法ヨリ輕ク致シマシタモノモ多々アルノデアリマス

○議長(粕谷義三君) 加藤知正君

(加藤知正君登壇)

○加藤知正君 私ハ只今御提案ニナリマシタ出版物法案ニ付キマシテ、數項ニ涉ル質問ヲ致シタイト考ヘマス、只今安藤君ノ御述ニナリマシタヤウニ、此出版物法案ハ現行ノ出版法ト新聞紙法トヲ合併セラレテ、サウシテ一ツノ法律案トシテ茲ニ御提案ニナッタ、ケレドモドウ見マシテモ、吾々共ハ時代ニ伴フ法律デアルト見ルコトガ出來ナイ、寧ロ時代ニ逆行シテ居リハセヌカト云フヤウナ點モアルヤウニ思ハレル、兎ニ角私ハ此法律案ノ內容ニ付キマシテ、詳細ニ御尋ヲ申上ゲマスルト云フト澤山アリマスルケレドモ、委細ノ事ハ委員會ニ讓リマシテ、主ナル點ニ付テ御尋ヲ申上ゲテ見タイト思フ、其第一ハ此法律案ヲ御制定ニナリマスル際ニ於テ、發行者ノ爲ニ、此出版業者ノ爲ニ、發行權法ヲ御制定ニナルト云フヤウナコトニ付テ、御考慮ニナッタコトハナカッタカト云フコトヲ御尋ヲシテ見タイ、諸君御承知ノ通リ今日我國ノ文化ガ斯ノ如ク進歩發達ヲ致シマシタノハ、色々ノ原因ハアリマスルケレドモ、出版物ノ力ニ依ルコトノ偉大ナルコトハ、爭フコトノ出來ナイ事實デアル、而シテ更ニ文化ノ發達ヲ圖ラント欲スレバ、多々益々出版物ノ隆盛ヲ圖ラナケレバナラヌノデアル、其出版物ノ隆盛ヲ圖ラウトスルニハ、智能的產物タル所ノ著作物、其物ノ所有者タル著者ニ對シテ著作權法ガアル如クニ、出版業者ニ對シマシテモ、其權利利益ヲ保護スル所ノ發行權法ナルモノガナケレバナラヌト考ヘルノデアル、然ルニ現在ニ於テハ著者ニ對シマシテハ、其著作物ニ對シテ著作權法ナルモノガアリマスカラ、著者ノ權利利益ト云フモノハ十分ニ擁護セラレテ居ル、然ルニ出版業者ニ對シマシテハ、何等法律上ノ保護ガナイノデアリマス、唯々出版業者ト著作者トガ一片ノ契約書ヲ取交ハシテ、ソレニ依ッテ出版ヲシテ居ルト云フヤウナ狀態デアル、デアリマスルカラシテ隨分中ニハ出版業者ガ見テ、是ハ非常ニ面白イモノデアル、利益ノアルモノデアル、盛ニ賣レルモノデアルト云フヤウナ見込ヲ付ケマシテ、或ル著作物ヲ出版致シマシテモ、ソレガ盛ニ賣レルヤウニナルト、惡德ノ著者ハ直ニソレヲ引揚ゲテ、自分ガソレヲ出版スルカ、或ハ他人ヲシテ之ヲ出版セシムルト云フヤウナコトガアル爲ニ、出版業者ハ非常ナ迷惑ヲ致シマシテ、是ガ爲ニ多大ノ損害ヲ致シ、危險ヲ踏マナケレバナラヌト云フヤウナコトガ、從來屢々アルコトモ事實デアル、是ガ爲ニ隨分世ノ中ニハ是ハ非常ニ有益ノモノデアルト思フヤウナ著作物ガアリマシテモ、出版業者ハ非常ニ危險ナ地位ニ在リ、不安定ノ狀態ニ在ルガ爲ニ、看々世ノ中ヲ裨益スルト思フヤウナ著作物モ、遂ニ之ヲ出版シナイト云フヤウナコトガアリマス爲ニ、世ノ中ノ文化ノ發達ヲ阻止スル點ガ少クナイノデアル、斯樣ナ次第デアリマスルカラシテ、十分此文化ノ發達ヲ圖ラウト思フナラバ、出版業者ノ爲ニ發行權法ヲ設ケテヤルト云フコトモ必要デアルト考ヘルノデアリマスルガ、此點ニ於キマシテ政府當局ハ、此出版物法ヲ御制定ニナリマス際ニ於テ、此事ニ付テ何等カノ御考慮ガナカッタカ、現在ニ於テ此御考慮ガナカッタト致シマシテモ、將來之ヲ設クル所ノ必要ガアルト云フ所ノ御考ガアリハセヌカ、此點ニ付テ私ハ先ヅ以テ御伺ヲ致シテ見タイト思フノデアリマス、第二ノ點ニ於キマシテハ、現行出版法ノ第三十五條ニハ文書圖畫ヲ出版シタル時ハ、之ヲ發賣頒布セズト雖モ、其目的發賣頒布ニ在ル時ハ、總テ此法律ニ依ルト云フ條文ガアルノデアリマス、此條文ニ依リマシテ、届出前ノ不穩文書、祕密文書ノ印刷物ハ十分ニ之ヲ取締ルコトガ出來タノデアル、然ルニ此御提案ニナリマシタ出版物法案ヲ通覽致シマスルニハ、六章六十八條ノ中ニ之ニ相當スベキ所ノ條文ヲ見出スコトガ出來ナイ、現行法ノ第三十五條ニ相當スベキ所ノ法文ハドレデアリマセウカ、若シ必要ガナクシテ之ヲ削除シタト云フコトデアリマスルナラバ、何ガ爲ニ之ヲ削除セラレタノデアルカ、斯樣ナ規定ガナクテモ出版前ニ於ケル所ノ、届出前ニ於ケル所ノ不穩文書ヤ、祕密文書ノ印刷物ヲドウシテ之ヲ取締ラレル所ノ御考デアルカ、諸君御承知ノ通リ年一年ト此不穩文書ノ出版物ガ段々多クナルノデアル、届出前ニ於テ大概ノモノハ之ヲ既ニ發賣頒布ノ目的ヲ達シテ居ッテ、届出タ時分ニ於テハモウ時ガ遲クシテ、之ヲ沒收スルトカ、押收スルト云フヤウナコトガ出來ナイヤウナコトモ實例ニ於テ之ヲ見ルノデアル、斯樣ナ次第デアリマスカラシテ、此現行法ノ第三十五條ノ此法文ヲ御廢止ニナリマシタノハ、ドウ云フ所ノ御考デ御廢止ニナリマシタカ、或ハ又此法律案ニ之ニ相當スベキ所ノ條文

ガアリマスルナラバ、ドレガソレニ相當スベキモノデアルカ、此點ニ付テ御伺ヲ致シタイノデアル、第三番目ニ於キマシテハ、保證金ノコトデアル、此事ニ付キマシテハ只今安藤君カラ、質問セラレマシタカラシテ、私ハ成ベク重複ヲ避ケルノデアリマスガ、此保證金ナルモノハ一體何ノ目的デ御設ケニナッタノデアルカ、只今内務大臣ノ御説明ニ依リマスト云フト、詰リ事前ニ於テ取締ル所ノ必要ガアルカラ、此保證金ヲ設ケタノデアル、此現在ノ保證金ハ或ハ其效力ガ薄イカモ知ラヌケレドモ、併ナガラ此保證金制度ヲ設ケテ置クト云フコトハ無イニ優ルト云フヤウナ、洵ニ其理由ガ薄弱ナル所ノ御辯明デアッタヤウニ私ハ承ッタノデアル、左樣ナル薄弱ナル所ノ目的ノ下ニ御設ケニナッテアル保證金制度ナラバ、寧ロ是ハ御撤廢ナスッタナラバ宜シクハナイカト云フ考ガアルノデアル、現行ノ新聞紙法ニモ此保證金制度ナルモノガ設ケラレマシテ、其儘ヲ此法律案ニ御規定ニナッタノデアリマス、其金額等ニ於テモ別ニ變リハナイ、即チ東京、大阪ノ兩市、或ハ其市外三里以内ノ所ニ在ッテハ二千圓、人口七万以上ノ市若クハ其附近一里以内ニ在ッテハ千圓、其他ニ於テハ五百圓ト云フ所ノ保證金デアル、雜誌ハ其半額デ宜シイト云フコトニナッテ居リマス、先刻モ御説明ヲ伺ヒマスルト云フト、此罰金ガ非常ニ増加シタヤウデアル三千圓ト云フヤウナ多額ノ罰金ヲ徴セラル、ヤウニナッタガ、是ハ重キニ失スルデハナイカト云フ質問ニ對シテ以前トハ經濟事情ガ違フカラト云フ御説明デアッタノデアル、然ラバ此保證金ナルモノハ、今日ハ即チ經濟事情ガ違フノデアルカラシテ之ヲ増加スル所ノ必要ガナカッタノデアルカ、然ルニソレハ其儘ニ止メテ置カレタ、是ハドウ云フ考デ其儘ニ止メテ置カレタノデアルカ、此保證金ナルモノハ見樣ニ依ッテハ出版業者ノ保護トモナルカモ知レナイ、併ナガラ以前ナラバ格別、今日ノ時代ニ於キマシテハ、千圓ヤ二千圓ト云フモノハ殆ド問題デハナイノデアル、此位ノ保證金制度ヲ設ケテ居ッタガ爲ニ、不正競爭者ノ續出ヲ防グナドト云フコトハ、到底駄目ナ話デアル、デアルカラ若シ現在存シテ居ル所ノ出版業者、發行業者ノ保護ヲスル爲デアルト云フナラバ、千圓ヤ二千圓ハ何デモナイ話デアル、寧ロ之ヲ五千圓以上、或ハ一万圓以上ニシタナラバ稍〻其目的ヲ達スルコトガ出來ルカモ知レナイ、デアルカラシテ現在ノ千圓ヤ二千圓デハ到底既存ノ出版業者ヤ、發行業者ヲ保護スルト云フ目的ハ、到底達スルコトガ出來ナイノデアル、此意味カラ云ッテモ此保證金制度ナルモノハ何等ノ意味ガナイト私ハ言ヒタイ、又只今ノ御説明カラ言ヒマスルト云フト、事前ニ於テ之ヲ取締ル必要ガアルト云フ、或ハ社會ニ蠹毒ヲ流ス所ノ不良分子ノ簇出ヲ防グノデアルト仰シヤルカモ知レナイ、ソレヲ取締ルガ爲ニハ此方ガ宜イト仰シヤルカモ知レナイガ、是ハ先刻安藤君ノ申述ベラレタ如ク、今日ハ言論自由ノ世ノ中デアル、言論ノ自由ハ各國憲法ガ認メル所デアル、保障スル所デアル、然ルニ財産ノ標準ニ依ッテ之ニ制限ヲ加ヘルト云フコトハ、寧ロ是ハ恆産無キモノハ恆心無シト云フ、封建時代ノ古イ思想ノ遺物デアッテ、時代錯誤ノ甚シイモノデアル、要スルニ斯ノ如キ制度ハ、是ハ無産階級ノ言論ヲ抑壓スル所ノ、詰リ言論ノ自由ヲ押ヘ付ケル所ノモノデアル、斯樣ナモノハ寧ロ存シテ置ケバ文化ノ發達ヲ阻止スルコト甚シイモノデアルカラ、歐洲文明國ガ保證金制度ヲ一ツモ取ッテ居ラヌノニ徴シテモ、寧ロ之ヲ撤廢スルノガ當然デハナイカト云フ所ノ議論ヲ主張スル人モ多々アルノデアル、サウ云フヤウナコトデアリマスルカラシテ、寧ロ斯ノ如キ財産ノ標準ニ依ッテ言論ニ制裁ヲ加ヘルヤウナ保證金制度ハ、之ヲ撤廢スル方ガ、寧ロ時代ニ適合スル所ノ遣方デハナイカト思フノデアル、又此保證金ナルモノハ、出版業者ヲ保護スル爲デモナク、或ハ言論ノ自由ニ制裁ヲ加ヘルト云フヤウナ考デモナイ、其眞ノ目的ハ何處ニ在ルカト云ヘバ、即チ此法律案ノ第十三條、此點ニ在ルノデアル、其第十三條ニハ詰リ保證金ヲ納メテ置ク所ノ新聞紙又ハ雜誌、ソレヲ發行スル所ノ者ガ若シ罰金ナリ、科料ナリ、或ハ刑事訴訟費用ナリヲ納メナケレバナラヌ場合ニ於テ、納メルコトガ出來ナイ、十日以内ニ之ヲ納メルコトガ出來ナイト云フヤウナ場合ニハ、即チ其檢事ナリ檢察官ナリハ、此保證金ヲ以テ之ニ充テルコトガ出來ルト云フ意味ノ條文ニナッテ居ルノデアル、即チ此保證金制度ハ眞ノ目的ハ此處ニ在ルモノデアルトシマスルナラバ、是程人ノ人格ヲ無視シタ制度ハ私ハナカラウト思フノデアル、何トナレバ詰リ雜誌ヲ發行スル者、新聞紙ヲ發行スル者ト云フヤウナ者ハ、豫メ詰リ惡イ事ヲスル者ナリト云フ所ノ前提ノ下ニ、此保證金ヲ納メシムルト云フコトニナルノデアル、シテ見マスルト云フト、此保證金制度ナルモノガ、詰リ發行者ヤ編輯者ノ人格ヲ無視スルコトノ甚シイモノト謂ハナケレバナラヌノデアルカラ、是亦今日ノ時代ニ伴ハザル所ノ甚シイモノト吾々ハ考ヘルノデアル、斯ウ云フ意味カラ推測ヲシテ見マスルト云フト、寧ロ此保證金制度ナルモノハ害アッテ益ノナイモノデアル、時代錯誤ノ甚シイモノデアルト云フヤウナ感ジヲ吾々ハ持ッテ居ルノデアリマス、此點ニ付テ内務大臣ハドウ云フ風ニ御考デアリマセウカ、先刻安藤君ノ質問ニ對シマシテ御辯明ハアリマシタケレドモ、今一層徹底的ニ此點ニ付テ御説明アランコトヲ希望スル次第デアリマス、第四ノ點ニ於キマシテハ此法律案ノ第二十二條デアリマス「普通出版物ハ著作權者ヲ除クノ外其ノ販賣ヲ以テ營業ト爲ス者ニ非サレハ之ヲ發行スルコトヲ得ス」斯ウ云フ規定ガアルノデアリマス、此點ニ於テ吾々ハ解スルコトノ出來ナイ點ガアルノデアル、諸君御承知ノ通リ現在ニ於キマシテハ會社デアルトカ、或ハ學校デアルトカ、協會デアルトカ、官廳デアルトカ云フヤウナ公益團體ガ、此普通出版物ヲ近頃盛ニ發行スルヤウナコトニナッテ居ル、殊ニ個人トシテ所謂素人出版ナルモノガ隨分盛ニアルノデアル、デ私ハ是ニ於テ御尋ヲ致シタイノハ、協會デアルトカ、或ハ會社デアルトカ、學校デアルトカ、官廳デアルトカ云フヤウナ所ガ此普通出版物ヲ發行スル場合ニ於テ、而モ之ヲ販賣致シテ居ル、左樣ナ場合ニ於キマシテ是等ノモノヲ營業者ト御認メニナルカドウカ、之ヲ御伺シタイノデアル、若シ營業者ト認メルコトガ出來ナイト云フコトナラバ、彼等ハ現ニ之ヲヤッテ居ルガ、之ヲ何故ニ御取締ニナラヌノデアルカ、現行法ニ於キマシテモ第六條ニハ是ト同一ナル所ノ條文ガ存シテ居ル、殊ニ此二十三條ニ於キマシテハ、之ヲ犯シタル者ハ三箇月以内ノ輕禁錮、五十圓以内ノ罰金ニ處スルト云フ條文ガアルノデアル、然ルニ現行法ニ於テ此條文ガ存シテ居ルニモ拘ラズ、未ダ曾テ是ガ制裁ヲ受ケタ者ノアルコトヲ吾々ハ聞カナイノデアル、アレドモ殆ド空文ニ等シイモノト謂ハナケレバナラナイ、其空文ニ等シイヤウナ規定ガ、又現在ノ此法律案ニ設ケラレテアルガ、一體是ハドウ云フ目的ノ爲ニ之ヲ存シテ置クノデアルカ、若シ其必要ヲ認ムルナラバ、現行法ニモアルノデアルカラシテ、營業者デナイ所ノ個人出版、或ハ公共團體ガ之ヲ販賣致シテ居ルモノニ對シテ、何故ニ之ヲ御取締ニナラヌノデアルカ、此點ニ於テ吾々ハ御辯明ヲ得タイノデアリマス、第五ニ於キマシテハ正誤ノ事デアリマス、正誤又ハ正誤書、辯駁書ト云フヤウナモノヲ申込マレタ場合ニ於テハ、此第十九條ニ於キマシテハ斯樣ナ規定ガアル「正誤又ハ正誤書若ハ辯駁書ノ掲載ハ原文ノ掲載セラレタルト同樣ノ場所ニ於テシ且原文ニ於テ主トシテ用ヒラレタルト同大ノ活字ヲ用フヘシ」更ニ「正誤書又ハ辯駁書ノ字數原文ノ字數ヲ超過シタルトキハ其ノ超過シタル字數ニ付發行者ノ定メタル普通廣告料ト同一ノ料金ヲ請求スルコトヲ得」斯ウ云フ所ノ規定ガ設ケラレテ居ル、所ガ若シ故意ニ非常ニ長キ所ノ正誤文ヤ辯駁文ヲ送ラレタ場合ニ於テハ、之ヲドウ始末ヲスルカ、詰リ此原文ノ掲載セラレタルト同樣ノ場所ニ於テシナケレバナラヌ、編輯者ヤ發行者ハ此

始末ニ困ラザルヲ得ヌノデアル、併ナガラソレハ餘ッタモノハ餘ッタ所ニ之ヲ收メルト致シマシテモ、是ガ爲ニ雜誌ノ體裁ヲ損スル場合ガ多イノデアル、或ハ新聞ノ記事ノ場所ニ於キマシテモ、是ガ爲ニ其體裁ヲ害スルヤウナコトガナイトモ言ハレナイ、併ナガラ斯ウ云ウヤウナ長文ノ正誤書ナドヲ送ラレタ場合ハ、寧ロ是ガ要旨ダケヲ摘ンデ、サウシテ之ヲ載セルト云フヤウナ事ニスル方ガ宜クハナイカ、此點ニ於キマシテ去ル二十八議會ニ於テ松田源治君其他ノ諸氏カラ、此點ニ付テ御述ニナッタコトガアルヤウニ記憶ヲ致シテ居リマスガ、寧ロ是ハ要旨ヲ揭載スルト云フコトニシタ方ガ宜シイト吾々ハ考ヘルガ、此要旨揭載ト云フコトノ條文ノ設ケラレテナイト云フコトハ、一體ドウ云フ御考カラデアリマスカ、此點ニ付テモ當局ノ御考ヲ伺ッテ見タイト思フノデアリマス、尚ホ其他ニ於キマシテ細カイ點ニ於テハ、澤山御尋申上ゲタイコトガアリマスルケレドモ、併ナガラ餘リ長キニ涉リマシテハ、却テ御迷惑ト存ジマスカラシテ、委細ハ委員會ノ席上ニ於テ申上ゲマスルガ、要スルニ此法律案ノ如キハ、是ハ洵ニ產レナイ內ニ既ニ黴ノ生エタ法律案ノヤウニ吾々ハ思フ、何等進步ノ形跡ノアルヤウニ思ハレナイノヲ頗ル遺憾トスル者デアリマス、當局ノ之ニ對スル所ノ明確ナル御答辯ヲ得テ置キタイト思フノデアリマス

○議長(粕谷義三君)　加藤君ニ一言致シマスガ、內務大臣ハ只今貴族院ニ於ケル稅制整理案ノ委員會ノ方ニ於テ出席ヲ求メラレテ退席ヲセラレマシタ、貴方ノ御質問ニ對シテハ政府委員ヨリ御答辯ヲ申上ゲテ御滿足ニナリマセヌカ

○加藤知正君　甚ダ遺憾デハアリマスルケレドモ、已ムヲ得マセヌカラ政府委員カラ御答辯ヲ願ヒマス

〔政府委員鈴木富士彌君登壇〕

○政府委員(鈴木富士彌君)　內務大臣不在デゴザイマスカラ私カラ答辯致シマス、御質問ノ第一點ハ、發行權ニ關スル規定ヲ設クル意思ガナイカ、斯ウ云フ御尋デゴザイマシタ、發行權ノ事ハ獨逸ノ法制ニ其例モゴザイマス、此事ニ關シマシテハ可ナリ深イ研究ヲ遂ゲタ學者モ日本ニハゴザイマス、內務省ニ於キマシテハ目下調査中デゴザイマシテ、判然タル結論ヲ只今申上ゲル譯ニハ參リ兼ネマスガ、此發行權ノ事ハ著作權法ノ改正ヲ爲ス時機ガアリマシタナラバ、ソレト同時ニ考慮スルガ至當デハナイカト斯樣ニ考ヘテ居リマス、出版法トハ離シテ、實體法タル著作權法ト共ニ考慮致シタイト斯樣ナ考デ居ル次第デアリマス、ソレカラ第二點ハ、現行法ノ出版法ノ第三十五條ニ規定ノアル事項、卽チ既ニ印刷ニ付シタルモノデ、マダ發賣頒布ヲシナイモノハドウシテ取締ルカト云フ御質問ノ御趣旨ト拜承致シマス、此點ハ今度御審議ヲ願ヒマスル出版物法ニ於キマシテハ、ソレニ該當スルヤウナ條文ハアリマセヌケレドモ、第一條ノ解釋ガテ致シマシテ、是ハ當然取締リ得ルコト、ナルノデアリマス、卽チ印刷致シマスル出版物ハ、發賣頒布ノ目的ヲ以テ作製セラレタル文書ト看做シテ取締ヲスルコトガ出來ヤウト思ヒマス、第三ノ保證金ノコトデアリマス、是ハ既ニ內務大臣ヨリ御答辯ガゴザイマシタ、如何ニモ御說ノ通リデアリマシテ、罰金ハ經濟狀態ノ變化ニ依ッテ之ヲ附加致シタルニモ拘ラズ、保證金ダケハ之ヲ增加シナイ、如何ニモ跛ナ形ヲ呈シテ居ルノデアリマス、是ハ內務大臣モ御答辯ニナリマシタガ、保證金ノコトハ當局ニ於キマシテモ色々ニ考慮ヲ致シマシタノデアリマス、若シ廢止スルコトガ出來レバ至極結構デアリマスルケレドモ、之ヲ廢シテ之ニ代ルベキ適當ノ方策ト云フモノガ無イノデ、甚ダ困却ヲ致シタノデアリマス、先程安藤サンカラ其名案ヲ考ヘタラドウダト云フ御話デアリマシタガ、名案ハ隨分考ヘタノデアリマスガ、無イノデアリマス、デ已ムヲ得ズ矢張保證金ハ存置スルコトニ致シタ、存置スルトシテ見レバ經濟狀態ニ照シマシテ、罰金同樣ニ此物價指數ト併セテ引上ゲルコトノ方ガ理論ハ立ツノデアリマスケレドモ、此際保證金ヲ引上ゲルト云フコト、言論ノ自由云々ト云フ聲ノ高イ今日ニ於テ如何ナモノデアラウカ、多少不徹底ヲ免レヌノデアリマスケレドモ、是ハ先ヅ現狀ノ儘ニシテ手ヲ觸レヌコトニ致シタイ、斯樣ニ考ヘテ之ヲ存置シタ次第デゴザイマス、ソレカラ第四ノ御質問ハ、二十二條ノ此出版業ノ事デアリマス、著作權者ヲ除ク外ハ其販賣ヲ以テ營業トスル者デナケレバ發行スルコトガ出來ヌ、斯ウ云フ規定ニナッテ居ルノデアリマスガ、只今御說ノ通リニ學校其他ノ團體ニ於キマシテ、書物ヲ出版シテ居ルモノガ多イノデアリマス、是ハ見方ニモ依リマスガ、內務省ト致シマシテハ、其等ノ團體ハ別ニ營業トシテ爲スモノデハナイト云フ風ニ解釋ヲ致シテ居ルノデアリマス、或ハ加藤サンノ仰シヤッタコトガ當テ居ルヤウナ事例モアルカモ知レマセヌケレドモ、大體ニ於テ左樣ニ考ヘテ居リマスノデ、今日マデ現在ノ出版法ニ於テ之ニ該當スベキ此第六條ガアリマシタケレドモ、其方面ノ取締ハ餘リ致シテ居ラヌ次第デアリマス、ソレハ宜シクナイデハナイカト云フ御意見デアレバ、是亦一ツノ御說デゴザイマス、當局ハ左樣ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス、ソレカラ第五番目ノ御質問ハ正誤制度ノ事デアリマス、正誤制度ノ事ニ付キマシテハ、新聞社ノ方面ニ於テモ色々ナ要求ガゴザイマシタ、又一般讀者ノ側ノ方ニ於テモ色々ナ要求ガアリマシテ其聲ニハ耳ヲ傾ケタノデアリマス、而シテ正誤書、辯駁書ガ長文ニ涉ル時分ニハ、要旨ノミヲ揭載スレバソレデ宜シイデハナイカト云フコトハ、如何ニモ御尤デアリマスケレドモ、若シ新聞社ヲシテ正誤文ノ內容ヲ取捨選擇セシムルト云フコトニナリマスト云フト、其間ニ非常ナル弊害ガ起リハシナイカ、新聞社側ノ故意若クハ過失ニ依ッテ、不當ニ相手方ノ意思表示ヲ誤ルヤウナ場合モナイデハナカラウト云フヤウナ考モアリマシタノデ、此要旨ノミヲ揭載スルト云フコトニシテハ、正誤制度ノ趣旨ヲ徹底スルコトガ出來ヌト云フコトヲ虞レマシテ、此點ハ遺憾ナガラ之ヲ採用スルコトニハ致サナカッタ次第デゴザイマシテ、現行法ノ第十九條ニ揭ゲテアリマスルヤウナ正誤制度ヲ取ルコトニ致シタ次第デゴザイマス、サリナガラ此御審議ヲ仰ギマス所ノ正誤制度ハ、現行ノ新聞紙法ニ較ブレバ餘程新聞社側ニ取ッテハ寬大ニナッタ點モゴザイマスカラ、此點ハ宜シク御了承ノ程ヲ願ヒタイノデアリマス、以上簡單ナガラ御答辯申上ゲマス

○議長(粕谷義三君)　加藤知正君

〔加藤知正君登壇〕

○加藤知正君　極ク簡單ニ――此第一ノ質問ニ付キマシテハ、著作權法ノ改正ノ時ニ寧ロ考慮スル方ガ適當ト思ッタト云フコトデアリマスガ、私ハ出版物法ト、著作權法ト、發行權法ト、三ツ備ハラナケレバ、私ハ完全デナイト思フ、デアリマスカラシテドウカ此事ハ政府ニ一ツ御考慮ヲ願ヒタイト考ヘマス、ソレカラ第二ノ點ニ於キマシテハ、此第一條ニ依ッテ取締ルコトガ出來ルト云フ御話デアリマスケレドモ、是ハ甚ダ疑問デアル、此點ニ於キマシテハ十分一ツ御研究ヲ願ヒタイト思ヒマス、尚ホ其理由ヲ申上ゲタイケレドモ、簡單ニ致シタイト思ヒマシテ申上ゲマセヌ、ソレカラ第三ノ此保證金ノ事ハ、私ハ此保證金ナルモノハ當業者ノ方ノ意味カラ云ヒマシテモ、或ハ不良分子ノ簇出ヲ防グト云フ意味ニ於キマシテモ、是ハ甚ダ不徹底デアル、寧ロ是ハ此無產階級ノ言論ヲ抑壓スル所ノ弊害ガアッテ、益ノ無イモノデアル、デアルカラ寧ロ是ハ撤廢爲サッタ方ガ宜クハナイカ、斯ウ云フヤウニ考ヘル、此點ニ於テモ御考慮ヲ願ヒタイト考ヘマス、尚ホ此第四ノ點ニ於キマシテ、今御答辯中ニ、素人出版ナルコトノ御制裁ハ御言葉ガナカッタ、學校ナリ或ハ會社ナリ協會ナリガ發行シタモノハ、營業者デナイカラト云フヤウナ御話デアリマスルガ、營業者デナクシテ斯ウ云フ事ヲヤル、發賣頒布ヲヤルト云フコトハ卽チ法律違反デアル、此法律違反ヲ其儘看過スルト云フコトハ、是ハ甚ダドウモ不都合ノ至リト私ハ考ヘマス、個人ニ於テモ或ハ公

共團體ニ於テモ、法律トシテ之ヲ設ケタ以上ハ、嚴重ニ之ヲ取締ラナケレバナラヌ必要ガアルト私ハ考ヘル、此點ニ於テモ十分一ツ御考慮ヲ願ヒタイト考ヘルノデアリマス

○議長(粕谷義三君)　寺田市正君

〔寺田市正君登壇〕

○寺田市正君　私モ只今上程サレマシタ出版物法案ニ付キマシテ、數點ノ質問ヲ致シタイト思フノデアリマス、ケレドモ所謂質問センガ爲メノ質問デゴザイマセヌ、極メテ簡單ニ模範的ノ質問ヲ致シタイト思ッテ居リマス(笑聲起リ、拍手)ソレ故ニ先刻安藤君カラ質問サレマシタ第五條ノ編輯人ノ問題、第十條ノ保證金ノ問題、第二十五條ノ記事掲載禁止、制限等ノ問題、又第二十六條及三十一條、是等ニ關シタ、檢事檢察官等ガ記事ノ制限ヲシ、若クハ禁止スルヤウナ事柄ニ付キマシテノ質問ハ、之ヲ委員會ニ讓リマス、尤モ只今內務大臣竝ニ司法大臣ノ御答辯ニ付キマシテハ、私共滿足スルコトガ出來ナイ點ガ多イノデアリマスガ、繁雜ヲ避ケル爲ニ之ヲ委員會ニ讓リマシテ、安藤君等ガ質問サレナカッタ大局ノ問題ニ付テ、簡單ニ質問ヲスルノデアリマス、謂ハヽ現內閣ノ言論政策ニ關スル方針如何ト云フヤウナ意味合デアリマス、ソレ故ニ總理大臣、內務大臣ガ御出席相成ルコトヲ希望スル者デアリマス、今ハ貴族院ノ方ニ御出ニナッテ居ルト云フコトデアリマシテ、御留守デゴザイマスカラ、若シ私ノ質問ニ對シマシテ、政府委員ノ方ヨリ御答辯ガ出來ル事デアルナラバ御答辯ヲ願ッテモ宜シ、併シ總理大臣デナケレバナラヌ事デアッタナラバ、矢張總理大臣ガ他日出席サレテ御答辯ヲ御願スルト云フコトニ致シマス、先ヅ第一點ト致シマシテハ此立案ノ主義方針ノ點デゴザイマス、御承知ノ通リ新聞紙法ハ從前ノ藩閥、官僚內閣ガ、新聞雜誌印刷物等ヲ邪魔物ニ、致シマシテ、サウシテ兎角之ヲ目ノ上ノ仇扱ヒヲシテ居リマシテ、成ベク新聞ヤ雜誌ハ、言論ノ所謂自由ヲ與ヘズニ、其自由ヲ制限シ、禁止スルト云フヤウナ趣旨ノ下ニ、新聞雜誌ヲ之ヲ禁壓シヤウ、制限シヤウ、取締ッテヤラウト云フヤウナ方針ノ下ニ編成サレタ法律デアッタノデアリマス、ソレデ今回ノ此改正サレマシタ案ヲ見マスト云フト、矢張依然トシテ、其主義方針、主義精神ト云フモノガ、今回ノ改正案ニ其儘繼續シテ居ルカノヤウニ見エルノデアリマス、御承知ノ通リ賢明ナル諸君ノ前デ、外國ノ例ヲ引クモ、甚ダ恐縮デアリマスガ、現在各國ノ新聞雜誌等ニ對スル立法例ヲ見マスルト云フト、多クハ言論ノ自由ヲ飽迄モ保護スル、新聞雜誌等ハ成ベク之ヲ助長シ、奬勵シテヤルト云フ方針ニ依ッテ立ッテ居ルノデアリマス、又我國ニ於キマシテモ、彼ノ著作權法ノ加キハ、所謂著作者ノ著作物其モノヲ權利トシテ保護シテ行クト云フ精神ニ依ッテ出來テ居ルノデアリマス、新聞雜誌モ矢張是レ卽チ著作デアリ、創作デアル矢張其日其日ノ著作デアリ、創作デアル以上ハ、矢張之ヲ保護シテ行クト云フコトガ、當然文化生活ノ上ニ吾々ハ必要デアラウト斯ウ信ズルノデアリマス(拍手)ソレ故ニ今回ノ改正案モ、何等カサウ云フ方面ニ向ッテ改正サレテ居ルモノデアラウカト思ッテ、親シク拜見シタノデアリマスガ、少シモ其痕跡ヲ認メナイ、矢張依然トシテ從來ノ藩閥官僚ノ內閣ガ作ッタ所ノ其精神ガ、是ニ其儘繼續サレテ居ルト云フコトヲ甚ダ遺憾ト思フノデアリマス、今ノ內閣ハ申スマデモナク憲政會諸君ノ內閣、卽チ憲政會總裁ガ總理大臣ニナッテ居ラレル所ノ政黨內閣、此政黨內閣ガ從來ノ藩閥官僚ノ內閣ガ執ッテ來タ其方針精神ヲ以テ茲ニ立案サレルト云フコトハ、卽チ現代ニ適合シナイ遣リヤウデハナイカト思ヒマス(拍手)此法文ヲ通ジテ現內閣ヲ見ル時ニ、私共ハドウシテモ政黨內閣ト言ウテ、之ヲ讃嘆スル譯ニ行カナイ、依然トシテ其精神ハ藩閥官僚ノ內閣デアルト斷定セザルヲ得ナイ、是ハ惟フニ私共ハ此法案制定ニ當リマシテ、卽チ憲政會ノ政黨的氣分ガ此法案ニ現ハレズ、相變ラズ內務省ノ一隅ニ巢ヲ喰ッテ居ル官僚ノ氣分ガ多分ニ之ニ現レテ居ルモノト考ヘルノデアリマス、內務大臣、總理大臣ハ、此所謂立案ノ趣旨精神ノ上ニ、何故ソレヲ改正スルダケノ大抱負ヲ現シテ、卽チ政黨內閣トシテノ抱負ヲ御現シニナラナカッタカドウカト云フコトガ、是ガ私ノ問ハントスル所ノ第一點デアルノデアリマス、第二點ハ、此立法ノ形式ニ於ケル、時代ノ傾向ニ反シテ居ハシナイカト云フコトデアリマス、凡ソ私ガ申上ゲルマデモナク、此文化ノ進步ニ伴レマシテ事物ガ複雜ニナッテ來ル、事物ガ複雜ニナッテ來ルト云フト、結局各種ニ分類サレテ立法サレルト云フノガ、近代ノ傾向デアルト思ッテ居リマス、現ニ昨年ノ議會ニ於テ御出シニナリマシタ治安維持法ノ如キモ、所謂國家刑罰權ニ基ク所ノ法案デアリマスカラ、謂ハヽアノ法案ヲ制定シナケレバナラヌト云フナラバ、卽チ刑法ノ一部ヲ改正シテ、アノ條章ヲ御加ヘニナッテモ差支ナカッタノデアリマセウ、ソレヲ特ニ治安維持法ト云フモノヲ御設ケニナッタト云フコトハ、卽チ是レ文化ノ進步ニ伴レマシテ、サウシテ斯ウ云フ風ニ多數ニ分類サレテ、時代ノ傾向ニ伴ッタモノデアラウト思フ、然ルニ今回ハ此出版物法ト云フモノニ依リマシテ、從來普通ノ出版物ト又新聞雜誌ト云フモノヲ一緒ニ取纏メテ、所謂十把一束ニシテ之ヲ取締ルト云フ方針ノ下ニ、此法案ヲ制定サレタト云フコトハ、先日內務次官ガ卽チ出版全般ニ渉ッテ統一的ニ茲ニ法案ヲ作ッタト言ッテ、誇リ顏ニ御說明ニナリマシタケレドモ、是ハ却テ時代ノ傾向ニ反シテ居ハシナイカ、時代ノ傾向ニ反シテ、サウシテ特ニ所謂玉石ヲ同架シ、薰蕕ヲ同架シテ、サウシテ此取締ルベキモノト、保護助長スベキモノトヲ全然同ジモノニシテ、茲ニ統一シタト云フ名ノ下ニ御取締ニナルト云フヤウナ方針ニ依ッテ、此出版物法ト云フモノヲ御提出ニナッタノハ、如何ナル主張ガアルノデアルカ、何カ之ニハ特ニ政府トシテ見ル所ガアッタノデアルカ、所謂時代ノ傾向ニ反シタル、卽チ玉石ヲ混淆シ、薰蕕ヲ同架シテ、サウシテ一緒クタニ十把一束ニシテ、取締的ノ法案ニシタノハ、何等カ特殊ナ必要ガアッタノデアルカドウカト云フコトヲ御伺スルノガ第二點デアリマス、第三點ハ、本法施行區域、地域外ニ關シタル現內閣ノ言論政策デアリマス、卽チ本法ハ御承知ノ通リ內地ダケデゴザイマス、內地樺太ダケデアリマシテ、臺灣、朝鮮認可主義ヲ執ッテ居ラレル、此法案ハ、屆出主義ニ依ッテ新聞雜誌ガ自由ニ發行出來ルヤウニナッテ居リマスガ、此本法施行地以外ニ於ケル臺灣、朝鮮等ニ於キマシテ、現內閣ハ如何ナル言論上ノ政策ヲ御執リニナッテ居ルカ、詰リ認可主義デアリマス、故ニ發賣デモ、發行デモ、其當時ノ方針ニ反シタモノハ、自由ニ禁止シ、制限シテ、サウシテ言論機關ヲ勝手ニ操縱スルコトガ出來ルト云フ結果ニナッテ居リマシテ、是等モ文化ノ進步ニ伴レズ、非常ニ時代ノ傾向ニ反シテ居ル譯デアリマスガ、併シ暫ク現狀ガ今日ノ樣子デハ已ムヲ得ヌト云フコトニ致シマシテモ、此言論ニ對シマシテハ、矢張言論ヲ以テシナケレバナラヌ、思想ニ對シテハ思想ヲ以テシナケレバナラヌ、然ルニ兎角朝鮮等ニ於キマシテハ、或ハ不逞鮮人、或ハ獨立論者ナドガ上海ノ假政府ヤ、或ハ滿洲若クハ亞米利加等ニ於キマシテ、種々ノ我ガ日本ノ施政方針ニ反對シタヤウナ言論ヲ盛ニ流布シテ居ル、卽チ此新聞雜誌等ヲ流布致シマシテ、施政方針卽チ日韓合邦ノ方針ニ反シタヤウナ事ヲシタ場合ニ於キマシテ、唯ソレヲ朝鮮ニ於テ發行スル新聞紙ダケヲ禁止シタリ、又其朝鮮內地ニ於テサウ云フモノヲ發行スルコトガ出來ナイヤウニシサヘスレバ、ソレデ足リルト云フヤウナ御考デ居ラッシヤルノカ、ソレハ思想ニ對シテハ思想ヲ以テシ、言論ニ對シテハ言論ヲ以テシナケレバナラヌ現代ニ於キマシテ、サウ云フ地域以外ニ於キマシテ、種々ノ日本ノ日韓合邦ノ精神ニ反シ、統治ノ精神ニ反スルヤウナコトヲスルナラバ、ソレニハ言論ニハ言議ヲ以テ對セナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、此點ヲ現內閣ニ於テハ如何ニ御考ニ

ナッテ居ラッシヤイマスカ、即チサウ云フ種々ノ言論、所謂新聞雜誌等ヲ發行致シマシタ場合ニ於テ、ソレニ對抗スルダケノ設備ガアルカドウカ、又設備ヲスル積リデアルカドウカ、斯ウ云フ點ニ付キマシテ御伺ヲ致シテ置キタイノデアリマス、第四點ハ――是デオ仕舞デアリマス、第四點ハ即チ普通ノ「ニユース」デナクテ、耳ヨリスル所ノ「ニユース」デアリマス、出版物――印刷シマシタ所ノ新聞ハ此法案ニ依ッテ取扱ヒ、若クハ取締ガ出來マスガ、私ガ今伺ハントスルノハ「ラヂオニユース」デアリマス、即チ耳ヨリスル所ノ新聞ニ付テハ、現内閣ハ如何ナル方法ヲ執ッテ居ラレルカ、此點ハ既ニ諸君モ御承知ノ通リ、我ガ東京ニ於テ放送局カラ午後零時何分ト、午後七時何分ニ二回ヅツ所謂新聞ヲ放送致シテ居リマス、此放送ハ現在ノ組織ハ諸君御承知ノ通リ、放送局カラ特約ノ新聞社ニ原稿ヲ貰ヒニ行キマシテ、サウシテ貰ッタ新聞原稿ハ十時遞信局ノドウ云フ役人カ知レマセヌガ、遞信局ノ役人ガ之ヲ檢閲シテソレハ宜シイ、ソレハイケナイト云フコトヲ區別シテ、遞信局ノ方デ宜シイト言ッタモノダケヲ放送スルト云フコトニナッテ居リマス、ソコデ成程「ラヂオ」ハ遞信局デ管轄スルノデアリマスガ、併シ放送スル所ノ「ニユース」ト云フモノハ、矢張新聞社ニ於テ編立テ、作ラレタ所ノモノデアリマス、ソレデ若シ其「ラヂオ」ニ依ッテ人ノ名譽ヲ毀損シ、他人ノ財産ヲ毀損シタ時ニ於テ、何人ガ責任ヲ負フカ、即チ此出版物ニ依ッテ出版サレタ新聞雜誌ニ於テハ、其新聞雜誌ニ於テ責任ヲ負フト云フコトニナッテ居リマスガ、「ラヂオ」放送ニ依ッテ名譽ヲ毀損サレ、若クハ財産ノ損害ヲ受ケタ場合ニ於テハ、何レノ點ニ其責任ガアルカ、放送局ニ於テハ遞信省ノ許可ヲ得テヤッタノデアル、遞信省ノ方デハ成程「ラヂオ」其モノヲ扱ッテ居リマスルガ故ニ、其遞信省ノ屬僚ガ自分ノ常識デ以テ是ハ放送シテ善イトカ惡イトカ、唯唯簡單ナ判斷ヲ致シテ居ル、ソコデ此一般ノ出版物ニ爲シタ所ノ、印刷ニ付シタ所ノ言論ニ關シマシテハ、内務省ガ管轄シテ居ルノデアリマスガ、耳ヨリスル所ノ「ラヂオ」ノ放送ニ付テハ遞信省デヤッテ居ル、ソレ等モ何カ出版物法ナドト言ッテ統一シタコトヲ大變得意ト爲サルナラバ、將來「ラヂオニユース」ニ付テハ、内務省デ管轄スルカ、遞信省デスルカト云フコトモ、深ク御研究ニナッテ居ル筈カト思ヒマス、ソレデサウ云フ點ニ付テハ如何ナル御方針デアルカト云フコトヲ、極メテ簡單デ宜シウゴザイマスカラシテ、現内閣ノ所謂言論政策ニ關スル方針トシテ、明快ナル御答辯ヲ御願中ス者デアリマス、其他尚ホ微細ナル點ニ付テハ、委員會デ親シク御質問申上ゲタイト思ッテ居リマス(拍手)

〔政府委員鈴木富士彌君登壇〕

○政府委員(鈴木富士彌君)　只今寺田サンノ御質問ニ對シマシテハ、最後ノ分カラ御答ヲ致シマス、「ラヂオ」放送ノ取締ノコトハ寺田君モ御述ニナリマシタ通リニ、主トシテ遞信省ガ之ヲ掌ッテ居リマス、居リマスルガ其内容ノ點檢ノ時分ニハ、内務省ノ警保局ト打合セヲ致シマシテ之ヲヤッテ居リマスルカラ、其點ハ萬遺憾ナキヲ期シテ居ル次第デアリマス、之ヲ全部内務省ノ警保局デヤルト云フコトニ付キマシテハ多少ノ不便ガアリマス、愈々此放送ハ治安ニ妨害アリトカ云フヤウナ趣旨デ之ヲ差止メルヤウナ場合ガ、愈々放送セントスル間際ニ起ッタ時分ニ於キマシテハ、或ハ自動車或ハ自轉車ヲ以テ、放送局ヘ行ッテモ間ニ合フコトモアリマスルシ、ソレヲ差止メルノニハ外國ニ於キマシテハ、放送スル時分ニ使ヒマスル電流ヨリハ更ニ強イ電流ヲ以テソレヲ打消スト云フヤウナ方法ヲ執ッテ居ル場所モアルサウデアリマス、斯様ナ場合ニ於キマシテ、内務省ハ之ヲ如何トモスルコトハ出來マセヌ、隨テ只今デハ主トシテ遞信省ニ於キマシテ之ヲ取扱ッテ居リマス、但シ内務省ノ警保局モ是ガ協議ニハ與ッテ居リマスルカラ、其點ハ左樣御承知ヲ願ヒタイノデアリマス、ソレカラ朝鮮、關東廳、臺灣ノ出版物ノ事デアリマスガ、是ハ寺田サンノ御言葉ノ通リニ、内地ハ極メテ寛大ナル所ノ屆出主義デアリマスルガ、ソレ等ノ地方ニ於キマシテハ認可主義ヲ執ッテ居リマス、唯々違フ點ハ主トシテソレ等ノ所デアリマシテ、内容ハ漸次内地ノ出版法、新聞紙法ト同一ノモノニナリツヽアル傾向ガアルト云フ事ダケハ申上ゲテ置キマス、ソレハ關東廳ノ出版物法ハツヒ一箇月程前デアリマシタガ、公布ニナリマシタト存ジテ居リマス、朝鮮ニ於キマシテハ只今起草中ノヤウニ承知ヲ致シテ居リマス、是モ内地ト同一ノ步調ヲ取ッテヤルコトニナラウト思ヒマス、而シテ朝鮮ナドニ於キマシテ、本國ニ對シテ甚ダ不穩當ナル記事ヲ書イタ新聞ガ假ニアリト致シマシテ、是ハドウスルカト云フコトニナリマスレバ、是ハ朝鮮ニ於テ其出來マシタル法律ニ依ッテ取締ルノミナラズ、内地ニ於キマシテハ其新聞ノ移入ヲ禁止スル法モゴザイマス、禁止ニ違反シテ移入致シマシタ時分ニハ、之ヲ差押ヘル方法モ開ケテ居リマスカラ、此點ハ御心配ハナカラウカト存ジマス、ソレカラ第三ノ御質問ト云フヨリハ寧ロ御意見ノヤウデゴザイマシタガ、時代ノ傾向ニ此出版物法ハ反シテ居ルデハナイカト云フ事デゴザイマスルガ、私ハ左樣ニハ考ヘヌノデアリマス、今迄此出版ニ關スル法律ハ、出版法ト新聞紙法トニ分レテ居リマシタガ、是ハ同ジ出版物デアッテ、唯々其發行ノ時期ガ違フト云フ點ニ於キマシテ異ッテ居ルノデアリマス、尤モ實質的ニ異ッテ居ル點ハ澤山ゴザイマスガ、然ルニ此二ツノ法律ヲ比較致シテ見マシテ、著シク均衡ヲ失シタ點ガゴザイマス、尙ホ重複シタ點モアルノデアリマス、故ニ此二ツノ法律ヲ一緒ニ致シマシテ而シテ共通ノ事項ニ付キマシテハ總則ニ規定ヲ致シマシテ、異ナル點ニ付キマシテハ御承知ノ通リ、第二章ニハ新聞及雜誌、是ハ大體性質ハ同ジモノデアリマスカラ此章ニ規定シテ、第三章ニ普通出版物ト云フ、所謂今迄ノ出版法ニ於テ取締ッタモノヲ、之ニ於テ取締ッテ居ル次第デゴザイマス、而シテ尙ホ共通ノ事項ハ第四章ノ出版物揭載事項ノ制限、第五章行政處分、第六章罰則ニモ共通ノ點ハ規定致シテゴザイマスノデ、却テ此方ガ便利ニナッタノデゴザイマシテ、寧ロ時代ノ趨勢ニ順應シタルモノデアルカノヤウニ私共ハ思ッテ居リマス、是ハ或ハ意見ノ相違ニナルカ存ジマセヌケレドモ、私ハ左樣考ヘテ居リマス、外國ノ事ハ私廣ク存ジマセヌケレドモ、大體ニ於テハ矢張同ジヤウナ趣旨ノ立テ方デアッテ、而モ其分類ハ定期刊行物ト不定期刊行物ノ此二ツノ分類ニ分ケテ、大體規定致シテ居ルヤウニ伺ッテ居リマス、此出版物法ニ於キマシテハ、是ハ二種類ニ分ケズニ三種類ニ分ッタノデアリマス、此點モ御諒承願ヒタイノデアリマス、ソレカラ只今關東廳ノ出版物法ノコトヲ申上ゲマシタガ、ソレハ一箇月程前ニ公布ニナッタト申上ゲマシタガ、是ハ私ノ記憶違デ只今尙ホ樞密院ニ諮詢中デアリマス、普通ノ順序デ行ケバモウ疾ニ公布ニナッタモノト私ハ考ヘタノデアリマスカラ、サウ申上ゲタノデアリマス、是ハ訂正致シテ置キマス、マダ發布ニハナッテ居リマセヌガ、近ク發布ニナルコト、存ジマス、ソレカラ第一點ノ現内閣ノ言論政策ニ對スル方針デアル、是ハ大分大キイ問題デゴザイマシテ、總理大臣カラ御答スルノガ至當デアルト存ジマスガ、マダ御見エニナリマセヌカラ、便宜上私カラ一寸少シバカリ申上ゲマス、若シ不滿足デアリマスルナラバ、又總理大臣ガ參ラレマシテカラ御答ヲ申スコトニ致シマス、決シテ此内閣ハ寺田サンノ仰シヤッタヤウナ藩閥時代ノ言論壓迫方針ヲ踏襲致シタル次第デハナイノデアリマス、御承知ノ如ク出版物ニ關スル法規ハ可ナリ澤山ゴザイマスガ、其出版物ニ關スル法規ノ澤山アル中ニ於テ、大體之ヲ二ツニ分ケルコトガ出來ヤウト思フ、即チ出版物ノ保護助長ニ關スル法規ト、是ガ取締ニ關スル法規トニ分ツコトガ出來ヤウト思ヒマス、而シテ是迄アリマス所ノ出版物法ト、ソレカラ新聞紙法ト云フモノハ、大體ニ於テ是ハ取締法規ニ屬シテ居ルノデアリマス、其方針ヲ襲踏シテ此出版物法ト

云フモノヲ出シタノデゴザイマスカラ、隨テ保護ニ關スル所ノ規定ト云フモノハ無イト云フコトハ、是モ當然ノ事デアラウカト存ジマス、其保護助長ニ關スルモノハ又別ノ法制ヲ以テヤルベキガ至當デアラウト存ジマスノデ、是ダケヲ御答シテ置キマス

○井本常作君　本案ニ對スル質疑ハ此程度ニテ終局セラレンコトヲ望ミマス

○議長（粕谷義三君）　井本君ノ質疑打切ノ動議ニハ御異議アリマセスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（粕谷義三君）　御異議ナシト認メマス、仍テ質疑ハ終局サレマシタ、日程第二、右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選擧ヲ議題ト致シマス

第二　右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選擧

○井本常作君　本案ハ議長指名、特ニ十八名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長（粕谷義三君）　井本君ノ動議ニハ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（粕谷義三君）　御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○井本常作君　日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、卽チ此際日程第二十八、議員梅田寛一君ノ行動ニ關スル調査ノ件ヲ繰上ゲ上程シ、委員長ノ報告ヲ求メ、其審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

○議長（粕谷義三君）　井本君ノ日程變更ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（粕谷義三君）　御異議ナシト認メマス――政府モ同意セラレマシタ、仍テ日程ハ變更セラレマシタ、日程第二十八、議員梅田寛一君ノ行動ニ關スル調査ノ件ヲ議題ト致シマス、委員長ノ報告ヲ求メマス――横山金太郎君

第二十八　議員梅田寛一君ノ行動ニ關スル調査ノ件（委員長報告）

報告書

一議員梅田寛一君ノ行動ニ關スル調査ノ件（關直彦君提出）

右ハ別紙ノ通議決致候此段及報告候也

大正十五年三月十五日

議員梅田寛一君ノ行動ニ關スル調査ノ件委員長　横山金太郎

衆議院議長粕谷義三殿

〔別紙〕

委員會ハ議員梅田寛一君カ陸軍大將山梨半造氏ト通謀シ議員堀喜幸君同中村四郎兵衛君等ニ對シ金錢ヲ提供シ節ヲ變シテ其ノ所屬セル政友本黨ヲ脫シテ政友會ニ入會スヘキコトヲ勸誘シ議院ノ體面ヲ汚損スヘキ行爲ヲ爲シタルコトヲ認ム

〔横山金太郎君登壇〕

○横山金太郎君　議員梅田寛一君ノ行動ニ關スル調査ノ件ニ付キマシテ、委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告致シマス、問題ノ內容ハ頗ル單純簡明デアリマスガ、議會殊ニ衆議院構成ノ分子デゴザイマスル一議員ノ行動ニ胚胎シテ、自ラ議院ノ品位面目ニ關シマスルト云フノ故ヲ以テ、眞ニ國民注視ノ目標ニナッテ居リマスルガ爲ニ、委員會ハ五回ニ亙ッテ愼重ニ審議ヲ重ネラレテ、漸ク終了致シタノデゴザイマスル、先ヅ發案者側ヨリノ說明ニ始マリマシテ、委員相互ノ問及委員ト政府委員トノ間ニ、可ナリ念ノ入ッタ質疑應答ヲ交換ヲセラレ、又證據ノ蒐集ニモ努力セラレテ、只今カラ朗讀ヲ致シマスル結果ニ到着ヲ致シタノデゴザイマスル、之ヲ讀上ゲマス「議員梅田寛一君カ陸軍大將山梨半造氏ト通謀シ議員堀喜幸君同中村四郎兵衛君等ニ對シ金錢ヲ提供シ節ヲ變シテ其ノ所屬セル政友本黨ヲ脫シテ政友會ニ入會スヘキコトヲ勸誘シ議院ノ體面ヲ汚損スヘキ行爲ヲ爲シタルコトヲ認ム」是ガ決議ノ全文デゴザイマスル、此結果卽チ結論ニ達シマスルマデノ間ニハ、極メテ意義アル質疑應答ガアッタノデアリマスルガ、其詳密ナルコト及證據ノ內容ニ至リマシテハ、委員會ノ速記錄ニ讓リマシテ就中重要ナリト思料致サレマスル質疑應答ノ二三ヲ御紹介致シテ置キマス、先ヅ質疑ノ方面ヨリ申上ゲマスレバ、議員梅田君ガ待合、料亭若クハ山梨大將邸ヘ某議員ヲ伴ッテ、其議員ニ對シテ政友本黨ヲ脫黨シテ政友會ニ入會セヨト勸告致シタト云フコトガ、一體惡イト云フノデアルカト云フコトガ第一問デアッタノデアリマス、第二問ト致シマシテ、其結果梅田君ガ政友本黨ヲ除名セラレタノガ惡イト云フノデアルカ、由來黨紀ノ肅正ト云フ問題ト議院ノ體面ニ關スル場合トハ、區別シテ觀察スベキモノデハナイカ、第三問ト致シマシテハ、査問會付託ノ事項ハ議員梅田君ノ行動調査ニ局限セラルベキモノデアルノニ、陸軍大將山梨半造氏ノ名前ガ屢々繰返サル丶ト共ニ、其人ノ行動ニ關シテ、云爲セラル丶ト云フノハ、付託ノ範圍ヲ超エテ居ルデハナイカト云フノデアリマシタ、之ニ對シマシテ答辯ヲセラレタ所ニ依リマスルト、第一問ニ對シテハ斯樣ナ答デアッタノデアリマス、待合入リヲ爲シ、料亭ニ上リ、又山梨大將邸ニ行ッテ、サウシテ政友本黨ヲ脫シテ政友會ニ入會セヨト勸告誘惑シタト云フコト、ソレカラ議院ノ構成分子デアル議員梅田君ガ脫黨、次イデ入會ヲ要望スル政友本黨ノ所屬ノ議員ニシテ且ツ黨員デアル某氏ニ向テ、食ハスニ利ヲ以テシテ、其人ヲシテ心ニモナイ、洵ニ不公明ナル進退去就ヲ決セシムベク、其不純ナル動機ヲ促シタト云フコト丶ハ原因結果ノ關係ヲ爲シテ、全ク密接不離ノモノデアルカラ、打ッテ一丸ト爲シテ、其一ヨリ十マデノ總テノ行爲ノ存否ヲ明ニセントスルモノデアルト答ヘラレタノデアリマス、第二問ニ對シマシテハ、政黨ノ除名ハ必シモ議院ノ體面ニ關スルモノデハナイケレドモ、除名ノ理由ガ公人トシテ唾棄排斥セラルベキ金錢ト云フ利益ヲ與ヘ、政治家トシテハ自分ノ生命身體將タ財產ヨリモ、ヨリ以上ニ尊マナケレバナラヌ、節操ヲ變ゼシムベク躍動ヲ致シテ、サウシテ其主義政策ノ異同云々ト云フコトハ、梅田君ガ單ニ之ニ藉口セラレタニ過ギナイト云フノデアルカラ、卽チ此除名ノ理由中ニアル事實ハ、軈テ議院ノ體面ヲ汚損スルモノデアルト答ヘラレタノデアリマス、第三問ニ對シマシテハ、付託ノ事項ハ梅田寛一君ノ行動ニ局限セラレテ居ルコトハ勿論デアルケレドモ、同君ノ行動ニハ對手方ガアッテ、第三者ニ交渉ヲ持ッテ居ル ノデアル、而シテ其第三者ノ行動ガ基調トナリ原因トナッテ居ル場合ニ、事ノ眞相ヲ審ニスベク第三者ノ行動ニ言及シ、其人ノ行爲ヲ調査スルノハ付託ノ境域內ニ在ッテ存スルノデアル、隨テ山梨大將ノ態度ガ謹愼ヲ缺クカ否カト云フコトハ別箇ノ問題トシテ、自然同大將ノ言動ニ調査ノ步ヲ進メルト云フコトハ、蓋シ已ムヲ得ナイノデアルト答ヘラレタノデアリマス、以上ハ質問應答ノ概要デアリマスルガ、其次ニ御紹介ヲシナケレバナラヌノハ、證據蒐集ノ方法ト範圍トデアッタノデアリマス、第一ノ論ハ方法、範圍ハ共ニ限度ヲ定メテ進ムモノデアルト云フノデアリマス、第二ノ論ハ限度ハ無イノデアッテ、自由ノ境地ニ立ッテ進ムベキモノデアルト云フノデアリマシタ、其第一ノ限定論其モノハドウ云フコトカト申シマスルト、凡ソ調査事項ニ關係交渉ノアル議員デアッテ、任意陳述ヲ爲スベキコトヲ委員會カラ照會ヲセラレタ人ノ陳述若クハ文書ニ限ルベキモノデアルト云フノガ、限定論ノ大要デアッタノデアリマス、第二ノ自由論ト致シマシテハ、元來調査會ノ權限ト云フモノハ法規典例ノ上カラ見マスレバ甚ダ狹小デアル、無權威ノモノデアルガ如ク見ラレマスルケレドモ、併シ半面カラ見マスルト云フト、其證據蒐集ノ方法ト云ヒ、範圍ト云ヒ、何等拘束掣肘ヲ受クル所ハナイノデアル、極メテ廣汎ナル自由ノ立場ニ在ッテ、有ユル方法有ユル方面ノ材料ヲ蒐集取捨選擇スルコトガ出來ル、故ニ限定論者ノ所謂調査事項ニ關係ノ議員タルト、委員會ヨリ任意陳述ヲ照會シタル議員タルトヲ問ハズ、又其他ノ第三者タルトヲ論ゼズ、苟モ調査事項ニ關係聯絡ヲ有スル人ノ陳述若クハ文書ハ、悉ク之ヲ蒐集スルニ於テ少シノ妨ガナ

イノミナラズ、其集リタル材料ヲ取捨選擇シテ、調査事項タル事實ノ有無ヲ認定スルノ具ニ供スルト云フコトハ、毫末モ支障ガナイノデアルト云フコトニ歸著ヲ致シテ居リマシテ、而シテ此自由論ハ委員會多數ノ意見デアッタノデアリマス、斯ノ如クニ致シテ集リマシタ證據ガ何デアルカト申シマスレバ、以上申上ゲルガ如キモノデアリマス、議員梅田寛一君ノ辯明書、議員中村四郎兵衞君、同堀喜幸君ノ各陳述書、委員中村啓次郎君、同松浦五兵衞君、同則元由庸君、同平川松太郎君ノ各陳述、竝ニ議員佐藤重遠君ノ手紙、菅沼廣助君ノ手紙、土屋寛君ノ電報、政府委員ノ答辯、是ガ集リマシタル證據デアリマス、次イデ質問及證據蒐集ハ打切ラレマシテ討論ニ入リマシタノデアリマス(「財産調ベハドウナリマシタ」「田淵ヤカマシイ」ト呼フ者アリ) 其點ハ詳細ハ速記錄ヲ御覽ヲ願ヒタイ (「此所デヤレ」、ソンナ馬鹿ナ事ハナイ」ト呼ヒ發言スル者多シ)

○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス

○横山金太郎君(續) 討論ニ入リマシテ委員湯淺凡平君、中村啓次郎君、武富濟君ヨリ議員梅田寛一君ハ二度マデモ任意陳述ヲ求メタケレドモ御出席ガナク致シテ、辯明書ナルモノヲ送リ來ラレタニ過ギナイノデアル、而シテ其辯明書ヲ閱シマスルト、自己ノ辯明モ託シテ昨日マデモ其統率ノ下ニ其節度ニ服セラレテ居ッタ床次總裁ニ對シテ、徒ニ漫罵ヲ逞シウセラレルノミデアッテ、殆ド捕捉スルコトガ出來ナイノデアル、ソレスラモ先刻私ガ集マリシト申シタ證據、其證據ニ依ッテ綜合考覈致シマスレバ、確ニ梅田君ノ其主張ハ全然裏切ラレテ居ルノデアル、裏切ラレテ居ルノデアルト共ニ、進ンデ以上ノ證據ニ依レバ、本會議ニ於テ發議セラレタル議員關直彥君ノ疑ハレタルガ如キ主張事實、卽チ梅田寛一君ニ對スル調査事項タル事實ノ存在ハ、之ヲ肯定スルニ足ルノデアル、而モ關君ノ所謂某陸軍大將トハ陸軍大將山梨半造氏ノコトデアルコトモ亦明瞭ニナッタ、從ッテ議員梅田寛一君ト山梨陸軍大將トガ申合セテ、共ニ與ニ其疑問ノ燒點トナッテ居ルヤウナ事實ノアリシコトヲ認定スルニ足ル限リハ、卽チ冒頭ニ朗讀致シマシタルガ如キ決議ヲ爲シテ、且ツ之ヲ本會議ニ報告セラルベキガ相當デアルト云フ發議ト贊成トガアッタノデアリマス、之ニ對シマシテ廣岡宇一君ヨリ(「宇一郎ダ」「宇一トハ何ダ」ト呼ビ其他發言スル者多シ) 宇一郎君(「何處ニアルソンナ名ガ」ト呼ヒ其他發言スル者多シ)

○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス

○横山金太郎君(續) 何デスカ、宇一君ト云フノハ郎ガ一字落チタダケデス、一字落ジタカラト云ウテ――改メテ言ヒマス(「人間ノ贋造ナドヲシテハイカヌ」ト呼ヒ其他發言スル者多シ) 廣岡宇一郎君ヨリ湯淺君ノ論ニ對シテ、事實ノ認定ノ上ニ證據ガ不十分デアル、加之手續ニ於テ審理不盡デアルト云フ理由ヲ以テ反對ノ意ヲ表明セラレマシタ、尚ホ之ニ委員海原君ヨリ廣岡君ノ反對論ニ共鳴ヲセラレテ、成規ノ定數ヲ以テ少數意見ヲ留保セラレタノデアリマス、斯ノ如クニシテ採擇ニ這入リマシテ、多數ヲ以テ湯淺君ノ發議ハ之ヲ認容可決スルコトニナッタノデアリマス、此瞬間ニ委員濱田君ヨリ斯樣ナ御說ガアッタノデアリマス、此決議文ニ依ルト陸軍大將ト云フ文字ガアルガ、是ハ除イテハドウカ、除イテ山梨半造君ト云フダケニシタ方ガ穩カデハナイカ、然ラザレバ陸軍關係ト云フコトカラシテ國民ノ疑惑、誤解ヲ招クノ虞ガアルト云フ質問的ノ希望ガアッタノデアル、然ルニ此時ハ既ニ委員會ノ決議ハ終了後ニ屬シテ居ッタノデアリマス、同時ニ委員中村啓次郎君ヨリ發案者タル關君ノ言ハレタヤウニ、某陸軍大將トノミアッテハ如何ニモ陸軍全體ニ對シテ暗影ヲ投ジタヤウナ嫌ヒガアルケレドモ、陸軍大將デアル人ガ個人ノ山梨半造陸軍大將デアルト云フコトガ分明ニナッタ以上ハ、陸軍全體ニ對スル疑雲ハ自ラ晴レテ居ルト同時ニ、某陸軍大將ト云フノハ山梨陸軍大將デアッタト云フコトヲ明ニスルコトガ寧ロ必要適切デアルト、答辯的ニ湯淺君ノ論ヲ補充贊成セラレタノデアリマス、以上ハ經過ノ大綱ニシテ且ツ結果ノ全部デアリマス、此段御報告ニ及ビマス(拍手)

○田淵豐吉君 議長、質問ヲシタイノデス

○議長(粕谷義三君) 質問デスカ――田淵君

○田淵豐吉君 此處カラ質問シマス

〔「登壇々々」ト呼フ者アリ〕

〔田淵豐吉君登壇〕

○田淵豐吉君 私今氣ガ付イタノデスカラ下ラヌカモ知レマセヌガ(「下ラヌコトナラバ言ハナイ方ガ宜イ」ト呼ヒ其他發言スル者多シ) 下ラヌカモ知レヌト云フノデス、私能ク此事件ハ餘リ知ラヌ、知ラヌケレドモ、或ル一人ノ議員ガ人ニ賴マレテ金ヲ遣ルカラ、他所ノ黨派ヘ行カヌカト云フコトデアラウト思フ、要スルニ、然フバ斯ウ云フ者ヲ眞ニ罰スルカ罰シナイカト云フ問題デアリマス、梅田君ニ關係ハ無イ、私ノ言フノハ――然ラバ斯ウ云フコトヲスル、ソレデハオ前私ノ方デ黨費ヲ出シテヤルカラ選擧ニ來タラドウカト云フヤウナコトハ、ドウスル積リデアルカ、又オ前ハ斯ウ云フヤウナ旨イコトガアッテ、斯ウ云フ便宜ガアルカラ此方ヘ這入ッタラドウカト言フト、是ハ査問ニ掛カルカドウカ、事前ト事後トハドウ云フ關係ヲ持ッテ居ルカト云フコトヲ聞カナケレバ危ナクテ仕樣ガナイ、吾々ハ惡イ事ヲスル積リデハナイガ、危ナクテ仕樣ガナイ、故ニ其範圍ハドウ云フモノデアルカ、前後ノ關係ハドウ云フモノデアルカ、査問ノ範圍ハ如何ナルモノデアルカト云フ的確ナルコトヲ決メテ置カヌト、今ハ良カッテモ、後デ困リハシナイカト考ヘルガ故ニ、査問會ニ付スルモノハドウ云フモノデアルカ、或ハ事前ト事後トノ關係ハドウ云フモノデアルカ、財產關係、名譽關係ハドウ云フ關係ニナルカト云フ全般ノコトヲ能ク知ッテ置カナケレバ、今ハ宜イケレドモ、後デ困ルト云フヤウナコトニナルカラ、此點ヲ明ニシテ戴キタイ、第二ニハ疑ガアルカラト云ッテ、議員ノ公職ニ在ル者ヲ無暗ニ査問ニ付スルト危ナクテ仕樣ガナイ、其點ハ誤ハゴザイマスマイガ、ハッキリシテ戴キタイト云フコトヲ願ウテ、此點ヲ諸君ト共ニ十分ニ研究シ、又現在ニ於テモ必要ナラバ研究シテ之ヲ決議シタイト思フノデアリマス――尚ホ委員長ニ――故ニ斯ウ云フ問題ハ事前事後及其事ニ付テ――先ニ言ウタコトニ付テ委員長ハ、サウ云フヤウナ點ニ付テ疑義ヲ抱カナカッタカドウカ、又後來ドウスル積リデアルカト云フコトヲ聞カナケレバ、審問ヲ進メルコトハ出來ナイカラ、委員長カラ明確ナル御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス

○議長(粕谷義三君) 委員長答辯ハアリマセヌカ

○横山金太郎君 只今ノ御質問ノ趣意ガ分ラヌ……

〔「登壇々々」ト呼ヒ其他發言スル者多シ〕

○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス

○横山金太郎君(續) 只今ノ御質問ノ趣旨ガ分ラヌ、モウ一應……

〔「登壇々々」ト呼ヒ其他發言スル者多シ〕

○議長(粕谷義三君) 只今横山君ハ田淵君ノ御質問ノ趣旨ガ分ラヌト云フコトデアリマス、重ネテ田淵君ノ說明ヲ求メマス

〔發言スル者多シ〕

○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス

〔田淵豐吉君登壇〕

○田淵豐吉君 是ハ法律問題デナイヤウニ思ハレル、此處ノ問題デアリマスカラ、政治問題ニ餘程關係ガ多イヤウニ思フ(「横山金太郎君「質問ノ要項ヲハッキリ言ッテ下サイ」ト呼フ)先キニ言フテ居ルガ分ラヌト云フカラ、モウ一遍言フカラ謹聽シ給ヘ、サウ云フ事デゴザイマスカラ、然ラバ先キニオ前ノ所ノ人ニ金ヲ遣ル、選擧費ヲ出シテヤルカラ此憲政會ニ這入レトカ、本黨ニ這入レトカ、政友會ニ這入レトカ云フヤウナコトハ構ハヌカドウカト云フノデ、事前ニヤッタ事ト事後ニヤッタ事ト、ドウ云フ關係ヲ持ツカト云フコト、或ハ多木久米次郎君

ハソンナ事ハナイデアラウケレドモ、君ハ無所屬ニ居ルケレドモ、全院委員長ニシタノハ憲政會ト斯ウ云フ話ニナッタカラダ、君ハ無所屬デハイカヌカラ、本黨ノ方デ言フカラ此方ノ方ニ這入ラヌカト云フヤウナ話デアル、知ラヌケレドモ、若シサウスレバ、サウ云フヤウナ事ハ人ノ名譽ニ關スル爲ニ、黨員ニ引張ッタ者ハ、或ハ引張ラレタ者ハ、之ヲ査問會ニ掛ケルカドウカト云フヤウナ名譽ノ問題モアル、無所屬ニ來タナラバ、ソレデハイカヌカラト云フヤウナコトデソレヲ剝奪スルヤウナ行爲ガ有ルカ無イカヲ査問スルカドウカ、或ハ斯ウ云フ山ガアル、斯ウ云フ會社ノ重役ニシテヤルカラ、君ハ此方ノ黨派ニ這入ッタラドウカト云フヤウナ問題モ起ル、然ラバサウ云フ事實問題ニ對シテ犬糞的ノ爭ヲシタラ、議會ガ非常ニ迷惑ヲシハシナイカト思フカラ、委員長ハ斯ウ云フヤウナ名譽トカ、或ハ役員ニシテヤルカラ此方ヘ這入レトカ云フヤウナ事ニ付テノ關係トカ、或ハ財產關係、權利關係ニ付テドウ云フ考ヲ既定的ニ持ッタ上デ、其審問ヲ進メラレタカドウカト云フコトヲ聽キタイノデアル

〔横山金太郎君登壇〕

○横山金太郎君　只今田淵君ヨリ種々ナ事例ヲ拉シ來ッテ、御發問ノ資料ニ供セラレマシタガ、委員長トシテハ詰リ本議場ニ於テ關直彥君ノ發議ニ依ッテ、縱令院外ノ事ト雖モ此衆議院ヲ構成スル一分子デアル議員ノ行動ハ、軈テ院ノ體面ニ關スルノ故ヲ以テ、其事柄ノ有無ヲ調査スベキコトヲ發議セラレマシテ、其範圍ヲ限定致シテ委員會ハ調査ヲ爲シ、今卽チ其趣旨ヲ當議場ニ報告致シタノデアリマス、他ノ事例ノ場合ガ果シテ本件ト同ジヤウニ、議院ニ於テ御扱ヒニナルカ否カト云フコトハ、私ノ答フベキ限リデナイト思ヒマス

〔拍手起リ「議長」「議長」ト呼フ者アリ〕

○議長（粕谷義三君）　討論ノ通告ガアリマス、通告順ニ依ッテ發言ヲ許シマス――西方利馬君――西方君

〔原惣兵衞君「議長、私ガ發言シタノニ聽エマセヌカ」ト呼フ〕

○議長（粕谷義三君）　聽エマセヌ

〔西方利馬君登壇〕

○西方利馬君　只今委員長ニ於テ御報告ニ相成リマシタ決議ニ對シテ、私共ハ委員會ニ於キマシテ其反對ノ理由ヲ明瞭ニ致スコトヲ留保致シテ置イタノデアリマス、仍テ私ハ茲ニ最モ簡潔ニ其反對ノ理由ヲ申述ベヤウト致スノデアリマス、只今委員長ノ御報告ニナリマシタ決議ニ依リマスト云フト、梅田寬一君ガ中村四郎兵衞君、堀喜幸君ノ兩名ニ對シテ金錢ヲ提供シ、之ヲ變節セシメント致シタ、斯樣ニ相成ッテ居リマスルガ、私ハ茲ニ其變節セシメントシタト云フ點ニ付テ明ニ致シタイト存ズルノデアリマス、果シテ變節セシメタカ否カ、此點ヲ明瞭ニ致ス爲ニハ、先ヅ政友本黨ノ執ラル近時ノ態度ニ對シテ、聊カ論及ヲ試ミナケレバナラヌノデアリマス（發言スル者多シ）

○議長（粕谷義三君）　靜肅ニ願ヒマス

○西方利馬君（續）　今日ノ政友本黨ガ政友會ヨリ分離致シマシタ事情カラ見マシテ、政友本黨ノ本來ノ主義主張ト云フモノハ、枝葉末節ノ點ニ於テハ兎モ角ト致シマシテ、其本流根幹ニ於テハ政友會ト同ジデアルベキ筈デアル、少クトモ――少クトモ此政友本黨ノ主張政策ト云フモノハ、是ハ政友會ニ近キモノデアルベキ筈デアルト云フコトハ言得ルノデアリマス（拍手）現ニ前議會ニ於ケル所ノ總テノ問題ニ對スル政友本黨ノ御主張ヲ拜聽致シマシタガ、其御主張ノ中ニハ所謂政友會ノ傳統的信條トモ申スベキ所ノ積極主義ノ精神ガ一貫シテ流レテ居ルコトヲ、吾々共ハ確ニ認メタノデアリマス（拍手）又此地租委讓ニ付キマシテモ、今日ノ床次總裁ガ嘗テ加藤友三郎內閣時代ニ於テ之ヲ建言シ、極力之ヲ高調セラレタコトモ天下周知ノ事實デアリマス（拍手）然ルニ政友本黨ノ諸公ハ、是等ノ苟モ政黨ノ生命トスベキ所ノ主義主張ヲ弊履ノ如ク抛擲セラレテ、而モ本期議會ニ於テハ彼ノ稅制整理案ニ對シテハ、政府案ニ最モ近キモノガ此政友本黨ヨリ現ルヽニ至ッテハ……（發言スル者多シ）

○議長（粕谷義三君）　靜肅ニ願ヒマス

○西方利馬君（續）　寔ニ奇々怪々、天下何人モ之ヲ意外トセザル者ハナイノデアリマス（拍手）其最モ政府案ニ近キモノヲ以テシテ、尙ホ之ヲシモ貫徹セシムル能ハズシテ、讓歩ニ讓歩ヲ重ヌルガ如キ大醜態ヲ演ゼラレタト云フコトハ、是亦天下ノ認ムル所デアリマス（拍手）ソレガ故ニ――ソレガ故ニ此時ニ於テカ政友本黨內部ニ大動搖ガ生ジ、黨內ノ諸君ガ吾々ノ期待ハ全然裏切ラレタリトシテ、大ナル不滿、不平、煩悶、懊惱セラレタト云フコトハ何人モ認ムル事實デハアリマセヌカ（「ヒヤ〳〵」拍手）此中ニハ中村四郎兵衞君、堀喜幸ノ兩君モ居ラレタト云フコトハ、是ハ蔽フベカラザル事實デアリマス（拍手）所謂變節致シタノハ政友本黨デアル、果シテ然ラバ、――諸君、果シテ然ラバ假ニ梅田寬一君ガ中村四郎兵衞君、堀喜幸君ノ兩名ニ對シテ金錢ヲ提供致シタト致シマシテモ――假ニ金錢ヲ提供致シタト致シマシテモ、ソレハ變節シタル政友本黨ニ感染セシメザラントシテ金錢ヲ提供致シタノデアル、是ハ決シテ變節セシメンガ爲ニ金錢ヲ提供シタリトハ言得ナイノデアリマス、併ナガラ私共ハ苟モ議員ト致シマシテ、斯ノ如キ場合ニ於テ假ニ金錢ヲ提供致シタル事實アリトスレバ、其不謹愼、其不用意ナル點ニ於テ梅田君ハ相當ノ責任ヲ負ハナケレバナラヌト存ズルノデアリマス（「其通リ」ト呼ヒ其他發言スル者多ク拍手起ル）併ナガラ諸君――併ナガラ諸君、梅田君ガ此金錢ヲ提供シタリト云フ事實ニ於テハ、全ク不明瞭デアリマス、委員會ニ於キマシテハ此問題ヲ裁斷スルニ當ッテ、主トシテ中村四郎兵衞君、堀喜幸君ノ此兩氏ノ書面ニ依ル所ノ證言ニ據ラレタノデアリマス、併ナガラ諸君モ御承知ノ通リ、堀君モ中村君モ未ダ政友本黨ニ席ヲ有セラルヽ方々デアリマス、苟且ニモ政友本黨ニ席ヲ有セラルヽ方々ガ、此梅田君ノ爲ニ有利ナル證言ノ出來得ザルコトハ當然デアリマス、故ニ斯ノ如キ證言ニ依ッテ此重大ナル問題ヲ裁斷セラルヽト云フコトハ、是ハ實ニ怪シカラヌ事デアルト吾輩ハ存ズルノデアリマス（拍手）故ニ吾々共ハ、斯ノ如キ所謂議員ノ一身上ニ關スル重大問題ナルガ故ニ、十分ニ信ズルニ足ルベキ所ノ證據材料ヲ蒐集致シ、而シテ之ニ基イテ愼重ニ審議セント致シタノデアリマスルガ、三派ノ委員諸君ハ何ノ爲カ、此吾々共ノ此正當ナル主張ニ反對セラレ、サウシテ調査ノ打切、證據蒐集ノ打切ヲセラレタノデアリマス、此苟モ議員ノ一身上ニ係ル問題ヲ斯ノ如キ不十分ナル所ノ證據ニ依ッテ裁斷セラレルト云フコトニ對シテハ、吾々共ハ飽迄モ反對センケレバナラヌノデアリマス（拍手）要スルニ吾々共ハ此證據不十分ナルガ故ニ、只今委員長ノ報告ニナリマシタ決議ニ對シテハ反對セザルヲ得ナイノデアリマス、尙ホ終リニ一言致サントスル者デアリマスガ、吾々共ノ最モ本問題ニ對シテ遺憾ニ感ズル點ハ、此問題ヲ裁斷調査セラレルニ當ッテ、之ヲ政治的ニ取扱ハレナイ、是ハ甚ダ遺憾ニ存ズルノデアリマス、恰モ檢察官ガ故ラニ人ノ非ヲ發カントスルガ如キ態度ヲ委員會ニ於テ執ラレタコトハ、甚ダ遺憾ニ存ズル次第デアリマス、三派ノ委員諸公ニ於カレテハ、此點ニ於テ其心事ノ陋劣ナル、眞ニ唾棄スベキモノナキヤ否ヤヲ吾輩疑ハザルヲ得ナイノデアリマス、又政治的ニ此問題ヲ取扱ハレルナラバ、本問題ハ是ハ此問題ノ惹起シタル原因ハ何レニ在ルカト申シマスト、政友本黨ノ變節ニ在ルノデアリマス、若シ政友本黨ガ變節セザルナラバ、其黨內ニ斯ノ如キ大動搖ヲ生ズル筈ガナイ、動搖ヲ生ジナカッタナラバ、此問題ノ惹起スルノ餘地ガナカッタノデアリマス（拍手）政友本黨ノ諸君ハ先ヅ梅田君ヲ責メラレル前ニ、本黨諸公自ラ顧ミラレンコトヲ私ハ希望セザルヲ得ナイノデアリマス、右ノ理由ニ依リマシテ、茲ニ私ハ反對ノ理由ヲ陳述スル者デアリマス（拍手）

○議長(粕谷義三君)　則元由庸君

〔則元由庸君登壇〕

○則元由庸君　私ハ委員長ノ御報告ニ贊成スル者デアリマス、議員ノ行動ニ關シマシテ我ガ衆議院ノ査問ノ問題ニナリマシタコトハ昔三十年餘リ前ニ一回アッタト云フコトヲ私ハ承ッテ居リマス、斯ノ如キ不祥事、吾々ハ其一回ヲ以テ必ズ絶後ノモノトナランコトヲ希望シテ居ッタニ拘ラズ、不幸ニ致シマシテ今梅田君ノ行動ニ關スルコトヲ此議會ニ於テ十分ニ論究スルノ已ムヲ得ザルニ至ッタコトヲ、私共ハ悲ム者デアリマス、此問題ヲ委員會ニ於キマシテ吾々詳細ニ取調ベヲ致シマシタ所ニ依リマスレバ、梅田君ノ行動ニ關スル證據ハ歷々トシテ明白ニナッタノデアリマス、只今西方君ノ御意見ニ依リマスト、審理ガ不十分テアル、證據ノ蒐集ガ其要ヲ盡シテ居ナイ、或ハ其證據ガ少ナイト云フヤウナ御言葉モアリマシタガ、全然是ハ私共ノ意見ト相違スル所デアリマス、委員會ハ初メニ梅田君ノ任意出頭ヲ希望致シマシタ、同君ノ口ヨリ十分ニ此問題ニ對スル意見ヲ聽取ッテ、而シテ吾委員ノ參考ニ供シタイト云フコトヲ望ンダノデアリマス、然ルニ御出頭ニナラナク書面ヲ以テ其陳述ニ代ヘルト云フコトデアリマシタカラ、提出セラレタ所ノ其書面ヲ見マスト云フト、先程委員長ヨリ御紹介ニナリマシタヤウニ、自己ノ査問ノ必要問題ニ對シマシテハ、何等言フ所ガアリマセヌ、唯、單ニ論鋒ヲ他方面ニ向ケマシテ、色々人ヲ讒誣中傷スルダケノ言葉ヲ以テ滿サレテ居ッタノデアリマス、故ニ吾々ハ斯樣ナル書面ニ依ッテ此事實ノ眞相ヲ見ルコトガ出來マセヌカラ、重ネテ梅田君ノ反省ヲ求メ尙ホ出頭ヲ得マシテ此事實ヲ詳細ニシタイト云フコトデ、重ネテ委員長ニ其意見ヲ述ベマシテ御照會ヲシテ戴イタノデアリマス、ノニ拘ラズ一寸シタ書面ヲ送ラレマシテ、此問題ノ眞相ニ觸ル、ダケノコトノ辯明ハ毫モ致サレテ居リマセヌ、故ニ吾々ハ已ムコトヲ得ズシテ他ノ方面ヨリシテ、出來ルダケノ證據ヲ蒐集シタイト云フコトニ致シタノデアリマス、御承知ノ通リニ、此議院ニ於ケル査問會ノ證據ノ蒐集方法ト云フモノハ、甚ダ窮屈ナモノデアリマシテ、吾々ハ强制審問權ヲ持ッテ居リマセヌカラ、任意ニ提出サレタ所ノ書面、若クハ任意ニ出頭シテ述ベラレタ所ノ其陳述ニ基クノ外ハ致方ガナイ、勿論他ニ政府ニ對シテ報告書ヲ求メ、書面ノ提出ヲ求ムルコトハアリマスケレドモ、併ナガラ此所ハ御考慮ニナッテ見レバ分ルベシ、此問題ハ議員ガ金錢ヲ以テ他ノ議員ノ節ヲ變ゼシメタイト云フ問題デアリマス、シテ見マスト、左樣ナ證據物ヲ拵ヘテ、政府ノ手ニ依ッテ蒐集ノ出來ルヤウニ殘シテ置クト云フヤウナコトハ、決シテ是ハアルベカラザルコトデアリマスカラ、勢ヒ他ノ關係者ノ陳述、若クハ其陳述ニ代ヘル所ノ書面ニ基カナケレバナラヌ、斯樣ナ次第ニナリマシタ爲ニ、其關係者トナッテ居リマス所ノ堀君、中村君ニ任意出頭ヲ求メマシタ所ガ、兩君ハ出頭ニ代ヘルニ書面ヲ送ラレマシタノデアリマス、先程委員長ヨリ其書面ノ大要ハ御紹介ニナリマシタケレドモ、私ハ此事實ヲ最モ明確ニ致シタイ爲ニ、茲ニ其書面ノ肝要ノ部分ヲ朗讀シタイト思ヒマス、「陳述書、公事ト私事トヲ問ハズ、苟モ祕密ヲ約シタル事項ニ付キ、其祕密ヲ確守スベキハ男子ノ本懷トスル所ナルモ、神聖ナル議會ニ於ケル……

〔此時發言スル者多シ〕

○議長(粕谷義三君)　靜肅ニ願ヒマス

○則元由庸君(續)　調査會ヨリ任意陳述ヲ求メラレタルヲ以テ、議員タルノ體面ヲ保持スル必要上其眞相ヲ明白ニ陳述スベシ、梅田寬一君ハ拙者ニ對シテ脫黨ヲ勸誘スルト共ニ、山梨大將ニ面會スベキコトヲ慫慂シ、二月二十三日梅田君ノ自動車ニ同乘シテ、山梨邸ニ赴キタルガ、山梨大將ハ百方辭ヲ盡シテ政友會入黨ヲ强說シ、拙者ノ決意ヲ促シタルガ、別ニ考フル所アルヲ以テ、選擧區ノ意向ヲ確ムル必要アリトシ、卽刻ノ返答ヲ猶豫サレタシト述ベ、翌日再ビ單身ニテ山梨邸ニ赴キ、勸誘謝絶ノ意ヲ述ベテ辭去シタリ、コノ間ノ行動ニハ頗ル不純ノ點アリシヲ認ム、而シテ拙者ハ斷ジテ其ノ不純ニ感染セザルコトヲ聲明ス、更ニ拙者ハ山梨大將ト別ル、ニ臨ミ政界淨化ノ緊切ナル所以ヲ述ベ大將ノ反省ヲ促シタリ、右陳述仕候也、大正十五年三月十一日、中村四郎兵衛(印)」堀君ノヲ更ニ茲ニ讀上ゲマス「陳述書、梅田寬一君ハ余ニ對シテ屢、脫黨ヲ勸誘シタル後山梨大將ニ面會スル樣要望セシニヨリ余ハ二月二十二日迎ヘノ自動車ニ乘リテ赤坂ノ待合若松ニ赴キタリ、同所ニ於テ梅田君ハ山梨大將ノ厚意ナリト稱シ新聞紙包ヲ提供シ、政友會ヘ入黨スル樣懇談セリ、次デ同道シテ山梨邸ニ行キタルニ山梨大將ハ余ニ向ヒ自分ハ政友會ニ入黨スルノ決心ヲ爲セシモ、單身入黨スルハ權威乏シキヲ以テ、少クトモ十名位ノ同志ヲ得テ相共ニ入黨シタキ考ナリ、仍テ有力ナル貴下モ此際政友本黨ヲ脫シテ余ト行動ヲ共ニセラレタシト勸メラレタリ、之ニ對シテ余ハ他日地方同志ト協議ノ上重ネテ回答スル旨告ゲ歸宿シタリ、右陳述ス、大正十五年三月九日、衆議院議員堀喜幸(印)」斯樣ニ書面ガ出テ居リマス、此書面ニ基キ、尙ホ此書面ヲ確ムベキ吾々同僚ノ中村君、松浦君ノ證言的陳述ニ依ッテ見マスレバ、愈、此間ノ消息ハ明白ニナッテ居リマス(拍手)斯樣ナ書類ガ茲ニ蒐集サレマシタ以上ハ、之ニ依ッテ既ニ此事案ヲ判斷スルダケノ資料ハ、十分ニ充チ滿チテ居ルト云フ考ニ依リマシテ、吾々ハ卽チ爾後ノ蒐證ニ付キマシテ討論ヲ打切ッタノデアリマス、此問題ハ既ニ斯樣ニナッテ居リマスル次第デアリマスルガ、先程委員長ヨリモ御報告ニナッテ居リマスル通リニ、唯、單ニ一個ノ衆議院議員ガ斯樣ナ事ヲヤッタト云フノデナクシテ、事ハ間接ニ陸軍ノ軍紀ニ關スル問題デゴザイマス、共ニ謀ッテ爲サレタル所ノ人ハ陸軍大將ノ其職ニ在ル人デアリマス、吾々ハ斯樣ナ問題ニ付キマシテハ、殊ニ深甚ノ注意ヲ拂ッテ、苟モ此事實ヲ觀ル上ニ於キマシテ誤リナキヤウニ、十分注意ニ注意ヲ盡シタノデアリマス、梅田君ノ行動ハ今申上ゲマシタヤウニ、山梨大將ト通謀シテ、卽チ山梨大將ノ使嗾ニ依ッテ、斯樣ナ行動ヲ爲サレタト云フコトデアリマス、是ガ甚ダ私共ノ遺憾トスル次第デゴザイマシテ、議員ニ對シマシテ、金錢ヲ以テ誘惑ヲ爲シ、其議員ノ節ヲ變ゼシムルト云フヤウナコトハ、是ハ言フ迄モナク甚シキ非行デアリマス、此行動ハ天下ノ選良トシテ、苟モ立法ノ府ニ列シテ居ル者ノ爲スベキ事デナイト云フコトハ勿論デアリマスルガ、尙ホ身陸軍大將ノ現職ニ在ッテ、軍紀ノ振肅ニ努ムベキ人ニ依ッテ爲サレタト云フコトニ至リマシテハ、洵ニ是ハ言語道斷ノ事デアラウト私ハ思ヒマス(拍手)陸軍大將ノ職ニ居ル人ト云フモノハ、申上ゲマス迄モナク、假令現職ヲ去ッテ豫備ニ居ルト居ラザルトニ拘ラズ、常ニ軍紀上ニ付テ思ヲ致サナケレバナラヌ、言フ迄モナク現下我國ノ形勢ヲ見マスト云フト、卽チ世界列强ノ關係ヨリ見マシテモ、最モ吾々ハ國防ニ心ヲ盡サナケレバナラヌ、上下兩院共ニ數年來屢、此問題ニ「注意ヲ致」シテ居リマスル今日ノ際デアリマス、然ルニ申上ゲル迄モナク軍國ニ要スル所ノ經濟力、或ハ軍需品タル所ノ鐵、油、羊毛、棉花ノ如キ物、悉ク我國ニ缺乏致シテ居リマス、世界ノ他ノ列强ノ方ニハ有リ餘ル物ガアル、此際ニ方リマシテ、我國ガ世界三强國ノ一ニ列シテ居ルノハ、抑、是レ何デアリマセウカ、言フ迄モナク我國ノ國民精神ノ振興ニ關スル問題デアリマス(拍手「脫線々々」ト呼フ者アリ)固ヨリ我ガ叡聖ニ在ス　陛下ノ稜威ニ依ルト云フコトハ言フ迄モアリマセヌケレドモ、尙ホ將士ノ忠勇ナル精神ノ結果デアリマス、而シテ之ニ加フルニ、吾々義勇奉公ノ念ニ富ンデ居ル所ノ國民ガ、此忠勇ナル　陛下ノ軍ヲ後援スルニ依ッテ、初メテ此世界三强國ノ一ニ列スルコトガ出來ルト云フコトハ(拍手)私ガ茲ニ縷說スル迄モナカラウト思ヒマス、然ラバ此國民精神ノ作興、軍紀ノ振肅ト云フヤウナコトハ、最モ吾々ガ心ヲ用ヰナケレバナラヌノデアリマス(拍手)ソレ故ニ　先帝陛下ニ於カセラレマシテハ、勅語ヲ賜ハッテ居ル、尙ホ國民

精神ノ作興ニ關スル詔書モ賜ハッテ居ルヤウナ今日ニ方リマシテ、豫テ軍紀ニ付テ心ヲ用ユベキ陸軍大將ナルモノガ、斯樣ナ事ヲ致シマシテ、國民精神ノ作興ヲ破壞スルヤウナ行動ニ出デ(拍手)或ハ又軍紀ノ弛緩ヲ來スヤウナコトヲ致シマシタナラバ、之ヲ何ト申スノデアリマスカ(拍手)吾々衆議院議員ニ對スル査問問題デアリマスルケレドモ、事ハ頗ル重大デアリマシテ、波及スル所甚ダ大ナル問題デアリマスルカラ、先程委員長モ報告ニナッテ居リマスルヤウニ、特ニ此委員會ノ調査範圍ヲ十分ニ――成ベク此問題ノ神髓ニ觸ル、ダケノ事ハ、徹底的ニ調査ヲスルト云フコトニナッテ居ルヤウナ次第デアリマス、而シテ此議員ニ對スル買收金ノ事ニ付キマシテモ、此委員會ニ於テ蒐集サレテ居ル所ノ、菅沼廣助氏ノ書面ニ依ッテ見マスレバ、略々之ヲ窺フコトガ出來ル、是ハ全部ノ朗讀ハ省キマスガ、斯樣ナ事ニナッテ居ル、其書面ノ中ニハ一、二、三トナッテ居リマスガ、其第三ノ中ニ斯樣ニアル「其間大將ガ乾氏ヨリ受取リタル金額ハ數回ニテ二百萬餘ニ上リ、ソノ大部分ハ議員ノ買收費ニ當テラレタリトハ西川ノ言ナリ」云々、斯ウナッテ居リマス、之ニ依ッテ見マスルト略々推測モ付キマスルガ、併シ此委員會ニ於キマシテハ、其ドノ金デアッタト云フ事マデモ、詳細ニ論究スルノ手段ヲ盡シテ居リマセヌカラ、是ハ吾々何レ又他ノ査問問題ニ付キマシテ、十分ニ此事實ノ眞相ヲ確ムベキモノデアラウト思ヒマス(「ヒヤヒヤ」拍手)此問題ハ以上申上ゲマスヤウニ、多クノ辯ヲ要シナイ、卽チ玆ニ擧ゲマシタ所ノ二三ノ證據ニ依ッテ見マスレバ、十分ニ歷然トシテ分ッテ居ル、先程ノ西方君ノ反對ノ御演說ヲ承ハリマシテモ、此證據ニ基イテ詳細此問題ガ、委員會ニ於テ決定致シマシタ所ノ此事實ヲ否定スベキ根據ヲ御擧ゲニナッタトハ私ハ承ッテ居リマセヌ(拍手)願クハ斯樣ナ問題ハ議員全體ノ體面、議員全體ノ名譽ニ關スルコトデアリマスカラ、唯單ニ梅田君一人ノモノト致シマシテ、種々ナル感情ノ問題ニ於テ、或ハ黨派心ニ因ハレテ之ヲ今有耶無耶ニスル、或ハ之ニ對シテ殊更反對ノ意見ヲ擧ゲルガ如キハ、吾々ノ取ラザル所デアリマス、卽チ梅田君ノ此行動ハ、甚ダ議員トシテ陋劣ナモノデアル(拍手)吾々立法府ニ列シテ居ル者ガ、共ニ齒スルコトノ出來ナイ行動デアルト云フ、其事實明白デアルト云フコトヲ玆ニ申上ゲテ壇ヲ退キマス

〔原惣兵衞君登壇〕

○原惣兵衞君　先ヅ私ハ此先例、殊ニ三十年前ニ起ッタ秋山定輔君ノ問題ニ次デ、曾テナカッタ此査問會ト云フモノガ、此度開カレマシタコトニ付テ、吾々ハ考ヘナケレバナラヌ事ガアルト思フノデアリマス、卽チ秋山定輔君ハ一度、事、一政黨一黨派的ノ内容ニ關スル問題ニ非ズシテ、正ニ國交ニ關スル重大ナル問題ナルガ故ニ、其議論一度査問ニ出ルヤ、證據モ何モナクシテ、是ガ一度査問會ニ付スルト云フヤ、彼ハ自ラ決シタト云フコトデアリマス、諸君、斯樣ニ彼ガ決シナケレバナラヌト云フ重大ナ問題デナケレバ、査問會ニ付スルナゾハ吾々議員ノ面目上スベキモノデナイト思ヒマス(拍手)殊ニ此査問會ノ内容――此司法裁判所ガ吾々ノ權利、總テノ自由ヲ剝奪スル所ノモノハ、少クトモ天皇ノ名ニ於テ裁判所之ヲ行フ、斯樣ニシテ强制力ヲ以テ證據力ヲ蒐集シテ來マシテ、其結果之ヲ判決スルト云フコトハ、神聖ナル裁判所ガソレヲ天皇ノ名ニ於テ行フ所以デアリマス、此時ニ於テ吾々議員ノ一内部ノ査問會ノ内容ヲバ、善意ニ之ヲ決スルト云フコトハ、吾々議會全員ノ面目デアリ、吾々議員ノ地位ノ保障デアルカラ宜イガ、徒ニ其査問會ノ内容ニ至ッテ、證據力ニ至リマシテハ、一體如何ナル人ガ其委員長ニナッテ居ルノデアルカ、諸君、同ジ廣島縣ノ選擧區ヲ同一ニスル横山金太郞君ガ、自ラ委員長ニナッテ居ル(拍手)而シテ之ヲ提案シタル所ノ人ハ何人デアルカト云フト、又同一ノ湯淺凡平君デナイカ、吾々議員ノ面目ヲ考ヘ、同ジ同僚ノ人ノ爲ニ德義上自ラ引クベキ事デアルト吾々ハ思フノデアリマス(拍手)然ルニ自ラ謹據力ノ無イ――諸君、殊ニ此證據ノ中村四郞兵衞君、堀喜幸君ト云フ人ハ、同ジ其中心ノ內容ニ這入ッタ、謂ハヾ共同被告ノ一人ニ證據力ハアリマセヌ、斯樣ナル共同被告ト同一ナル地位ニ於ケル人ガ、自ラ此證據力ノ書面ヲ讀上ゲテモ、何等價値ノ無イモノデアルト吾々ハ言ハナケレバナラヌ、斯樣ニシテ重大ナル議員ノ內部生活ノ、若モ反對ニ――吾々ハサウ云フコトハ本黨ニ無イト信ジマスガ、反對ニ出テ行カウト云フ人ヲ待ッテ呉レト金ヲヤッタノト、ドノ程度ガ違フノデアルカト吾々ハ思フ、斯樣ナル證據力ノ範圍ニ於テ、而モ此本黨ノ最モ人格ノ高イ則元君ガ、白々シク此壇上デ此證據力ノ無イ書面ヲ讀上グルニ至ッテハ、其陋劣サニ驚カザルヲ得ナイノデアル(拍手)吾々望ンデ此壇上ニ於テ、斯樣ナコトヲ言フ積リデアリマセヌデシタ、併ナガラ一方ガ此書面ヲ讀上グルニ至ッテハ、吾々モ亦梅田君ノ書面ヲ讀上ゲザルヲ得ナイノデアリマス(拍手)梅田君ガ此査問委員會ニ提出致シマシタ所ノ書面ノ內容ハ斯ノ如クニアリマス、吾々梅田君個人ノ辯明書ハ、當該ノ問題ノ中村君、堀喜幸君ト同一ノ有力ナルモノデアルト思フノデアリマス、此意味ニ於テ一方ダケノ讀上ゲニ對シテ、吾々亦之ヲ讀上ゲルノハ當然ノ理由デアルト思フノデアリマス「口吾ヲ以テ委員會ノ空氣ヲ熱狂セシメムヨリハ冷カニ文書ヲ以テ良心ノ告白ヲ爲スコトノ有意義ニシテ且ツ徹底スベキヲ信ジ事實ヲ左ニ明記致シ候、事ノ起リハ二月二十八日本會議ニ於テ本員ガ演說シタル一身上ノ辯明ニ明瞭ナリト思惟スレドモ、尙ホ重ネテ事實ヲ闡明スル爲メ是ガ說明ヲ爲スベシ、政友本黨內ニハ憲政會內閣ト妥協苟合スルコトニ反對ノ氣分ヲ有シ、場合ニヨッテハ脫黨シ民衆政治ノ實ヲ擧ゲタイト決心シテ居ッタ者ハ少數デハナカッタノデ、啻ニ同交會ニ離脫サレタ諸君等ノミナラズ、現ニ今デモ其心事ヲ赤裸々ニ表顯スレバ、其主張ノ人ハ幾人モアルノデアル、本員等ハ床次總裁ガ解散ヲ賭シテモ死守スルト豪語セル自作農地租全免ト、義務教育費國庫負擔增額四千万圓ガ根柢ヨリ裏切ラレタ時ニ、脫黨ノ決心ヲシタコトハ決シテ政治ノ公明ニ悖ルモノデハナク、又同意見ノ人ト進退ヲ偕ニセムト互ニ協議スルコトモ政治ノ常道ニ悖ルモノデハナイト信ズル、此間ノ行動ニ於テ金錢ヲ以テ同僚ヲ誘惑セムトシタト云フ一事ガ查問ノ事項ノ如クニ察セラレルケレドモ、ソレハ本員ヲ傷ケテ他ノ分離ヲ喰ヒ止メントスル脫黨防止ノ劣手段デアルコトハ火ヲ見ルヨリモ炳ナル事デアル、山梨大將ガ金ヲ振リ撒イタナゾト云フ白々シキ噓ハ、盲目千人ノ世ノ中デモ信ズルモノナキ餘リニ迂遠ナ中傷デアルト喝破シタイ、更ニ笑止ナルハ山梨大將ガ豪奢ヲ極メ富豪ノ生活ヲナシテ黃白ヲ撒布スルト云フ事デアル、質素ニシテ勤儉力行ノ山梨大將、而モ黃白ヲ撒クナゾト云フ樣ナ、知ル人ゾ知ル、中傷ノ說ハ餘リニ國民ヲ欺瞞スル甚シキモノト信ズル、二月二十二日ニ本員ハ政友本黨ニ脫黨屆ヲ出シ、而シテ二十四日ニ除名處分ノ發表アリタリ、此間ノ經過ヲ詳記スルハ之レニヨリテ査問事項ニ關聯セル重大案件ヲ推斷シ得ルト同時ニ由ッテ以テ誤傳ノ生ゼシ所以モ自ラ明瞭トナルベキヲ信ジ左ニ之レヲ明記スミシ(謹聽)本員ガ政友本黨ノ態度ニ對シ愈々脫黨ノ決心ヲナスヤ、其決心ヲ飜サシメントシテ政友本黨ノ某幹部ハ、二月二十一日午前十一時頃築地香雪軒ニ於テ本員ニ五千圓ヲ提供スル故ニ斷念セヨト(笑聲)懇々勸說セラレシモ勿論本員ハ之ヲ拒絕セリ、此應酬ハ隣室ニテ悉皆之レヲ聽取セシ證人モ嚴存セリ、該幹部ハ兎ニ角現金ヲ持參スベシトテ一應辭去シ、重ネテ午後三時頃來訪セシモ不在ト稱シテ面會ヲ謝絕セリ、ソノ夜本黨幹事森田政義代議士ハ友人トシテ懇談シ度シトテ本員並ニ今一人ノ知友ト松泉閣ニ會合シ、床次總裁ノ命令ニテ取敢ヘズ參千圓持參セリトテ(「驚イタ驚イタ」ト呼ヒ笑聲起ル)現金ヲ示サレタレドモ、某幹部ノ力說スヲ斥ケシ本員ハ、友人ノ好意ヲ感謝シテ共翌二十二日夜九時頃迄同所ニテ談論シ、同氏モ本員ノ心事ヲ諒トシテ

抉別シタリ、同氏ハ歸來床次總裁ヲ訪ヒシニ、床次氏ハ色ヲナシテ當方ニ用ハナイ、山梨ニ行ケト怒號シタル爲メ森田氏モソノ邪推ニ驚キ、蹶然席ヲ退キ卽日出發歸鄕シタリ(拍手)ソノ翌二十四日午前床次氏ハ廣島縣會議員土屋寛氏ヲ招キ、本員ノタメニ家事上ノ債務ニ迄立チ入リ懇談セラレ、二万圓位ナラバト其額迄明言アリシモ(笑聲)土屋縣會議員ハ脫黨ノ意思ハ反覆至難ナルベシト答ヘタル爲メ、午後斷然除名處分ノ擧ニ出デタルモノナリ(拍手)前掲ノ事實ヲ聲明スル情ニ於テ忍ビ難キハ勿論、然レドモ多數ヲ恃ンデ政黨祕事ノ進退ニ關スル事事ヲ醜行ナリト摘抉セラル、以上ハ、全班ヲ公明ニシテ査問ノ正シキニ應ズル亦止ムヲ得ザル事ナリ、由來床次氏ノ尊ムベキ唯一ノ長所ハ其人格ニアリトシテ吾等ハ氏ニ敬待シタリ(「其通リ」ト呼フ者アリ)然ルニ氏ハ三百万圓問題ヲ訐イテ田中政友會總裁ヲ傷ケント努力シ、黨員其他ノ人々ヲ使嗾シタリトノ噂ヲ耳ニシ、又昨年夏秋ノ交ト覺ユ、乾新兵衞番頭西川某ナルモノ松浦幹事長ト會シ、政本合同シテ鞏固ナル內閣ノ出來、政狀安定ノ見込立タバ相當ノ運動費ヲ調達スベシ云々ト語リシニ對シ、松浦氏ハ直ニ是レヲ床次氏ニ計リシニ、床次氏ハ松浦幹事長ヲ出シ拔キ、愛婿代議士佐藤重遠氏ヲ神戶ニ急派シテ、乾氏ニ全國ニ要スル運動費ナリト稱シテ金融ヲ申込ミシモ、西川氏ハ以前ノ關係ヲ重ンジ、松浦氏ニ照會セシ爲メ松浦氏ノ一喝ニアイ、佐藤氏ハ空シク歸京シタリ、其後床次氏ニ其不都合ヲ詰リタルニ、同氏ハ田中事件調査ノ手段ナリト空嘯ケリトノ事實ヲ松浦氏ヨリ直接ニ聽取セシ人アリ、倘シ夫レ藤田謙一氏ガ鄕里ニテ多額議員ノ競爭ヲ爲シ、床次氏ニ數万圓ヲ提供シ、床次氏ハ是レヲ青森ノ有志ニ與ヘザリシタメ藤田氏敗戰ノ因ヲ爲シタリトノ噂ノ如キ、床次總裁ノ人格ヲ崇敬シタル吾等ノ失望シタル事實ハ枚擧ニ遑アラズ(拍手)本員ニ對スル除名處分ノ如キ二十二日ノ脫黨屆出ト、二十一、二十二、二十三、二十四日、除名處分迄ノ經緯ヲ吟味スレバ除名ノ發表ハ多數脫黨者處決ヲ阻止シ、一面山梨大將ノ出廬ヲ中傷セントスル政治上ノ一大罪惡ナルヲ推斷スルニ難カラズ(拍手)更ニ憲本妥協ノ爲メ床次總裁ハ屢〻若槻內相ト牒謀セリトノ噂ト共ニ、內相ニ密接ノ關係アル神田銀行其他ヲ通ジテ數十万圓ノ黃白ガ床次總裁ノ手元ニ流入シ(拍手)其一部ガ高莊ナル邸宅新築費ト黨員ノ足止費ニ充テラレタリトノ風說ノ必ズシモ齊東野人ノ語ナラザリシト想像スルモ亦方サニ無理ナラザル可シト確信ス(拍手)前述セルガ如キヲ以テ本員ニ於テ金錢授受ノ目的ヲ以テ山梨大將ニ同僚ヲ媒介セシ事ノ絕無ナルハ勿論、金錢ヲ以テ床次總裁ヨリ留黨ノ誘惑ヲ受ケタル以外、時ト場所ノ如何ヲ問ハズ同僚ヲ誘惑セシコト絕對ニナシ、只公明ノ心事ヲ以テ主義主張ヲ同フセル同僚ヲ勸說シ、其同意ヲ得タルモノハ十數名ノ多キニ達セリ、是等ノ同志ハ皆人格高潔ノ士ナレバ如何ナル奸手段ニテ留黨ニツトムルモ之レニ應ズルコトナカル可キハ不日自ラ明瞭スルノ期アルベキヲ信ズ、以上明記シテ口舌ニ代ヘ査問委員諸氏ノ正斷ニ愬フ」トアリマス(拍手)吾々ハ此以上何レヲ證據ガアリトシテ取ルベキデナイ、苟モ此議員ノ身上ニ關スル重大問題ニ付テ、吾々ガ裁判所ノ如ク天皇ノ名ニ於テ行フ裁判權ノ無イ以上ハ、之ヲ推斷シテ、此重大ナル議員ノ地位ヲバ剝奪スル如クニ惡意ニ可決スルト云フコトハ、是ハ將來考ヘナケレバナラヌ重要ナルモノデアリマス(拍手)以上ニ於テ吾々ハ此秋山定輔君ノ如クニ、自ラ決スベキ以外ニ於テハ、吾々ハ斯樣ナル先例ハ我ガ議會ノ始マッテ以來、憲法史上見ザル所ノ議員ノ面目ニ關スル重大ナル問題デアルト思フノデアリマス、此意味ニ於テ吾々ハ斷乎トシテ此査問會ノ委員長報告ニ反對シテ降壇スル次第デアリマス(拍手)

○議長(粕谷義三君)　横山金太郎君ヨリ一身上ノ辯明ノ爲メ發言ヲ求メラレテ居リマス――横山金太郎君

〔横山金太郎君登壇〕

○横山金太郎君　只今原惣兵衞君ノ御演說中ニ、私ノ一身ニ關シタル御言葉ガゴザイマシタ、私ハ委員會ヲ整理致シマスニ當ッテ、斷ジテ不公正ナル考ヘ、不公正ナル態度ヲ而シタコトハゴザイマセヌ、御承知ノ如ク委員會ノ委員ノ數ハ十八名デアリマシテ、常ニ私ハ委員長ノ席ニ在ッテ、此席ヲ讓ッテ一言ノ意見ヲモ述ベタコトハナイノデアリマス、數ノ上ニ於テ政友會ノ六名ノ委員ノ方ノ外ハ、悉ク梅田氏ノ此行爲ニ付テ委員長報告ノ如キ事實アルコトヲ肯定セラレタノデアリマス、其間何等原氏ノ言ハル、ガ如キ疑ヲ挾ムベキ事跡ヲ留メタコトハゴザイマセヌ(拍手)殊ニ原君ガ私ト梅田君ガ選擧區ガ同一デアルト云フコトデゴザイマスケレドモ、私ハ廣島縣ノ第五區安藝郡ノ選出デアッテ、サウシテ梅田君ハ十三區、卽チ深安、沼隈兩郡ノ選出デアルノデアリマス、成程今諸君ノ批評ノ言葉ヲ承リマスルト、普通選擧ニナッタラバト仰シャルガ、普通選擧ニナッタ場合ニ、私ノ選ブベキ選擧區ハ二ツアルノデアリマス、卽チ第二區ト云フ現在私ガ選出サレテ居ル區ヲモ選ブコトガ出來ルノデアリマス、若シ賢路ヲ避ケテ之ヲ他ノ人ニ讓リマシテ、更ニ退クト致シタ所デ、退クベキ備後ノ分ニ付キマシテハ、現在ノ十一區デゴザイマスル雙三郡、比婆郡ガ根據地デアッテ、梅田氏ノ根據地トハ何等因緣ノ無イ關係ニ在ルノデアリマス(拍手)失禮ナガラ縱令選擧區ガ同一デアッテ、互ニ相コンガラカリマシテモ、梅田君一人ノ爲ニ吾輩ノ勝敗ニ關スルト云フガ如キコトハ斷ジテ懸念致シテ居リマセヌ(拍手)是ニ於テ中上ゲテ置キマスルガ、原君ハ頻ニ昨日マデハ卽チ黨首トシテ仰ガレタル床次總裁ノコトニ付テ、今日此壇上ニ或ル文書ヲ御讀上ゲニナリマシテ云爲セラレマスガ、原君ノ一體平素ニ於ケル御態度ハドウデアリマスカ、其一端ヲ申シマスレバ、常ニ此山梨大將ヲ伴ッテ原君ト梅田君ハ、到ル處ニ形影相伴ッテ行動セラレタ事實ガアルノデアリマス(拍手)現ニ吾輩ノ選擧區デアル所ノ安藝郡ノ第五區ニ至ッテ山梨大將、原君、梅田君、肥田君ノ如キハ、大ニ遊說ニ努メタ事實ガアルデハアリマセヌカ、更ニ退イテハ原惣兵衞君ノ選擧區ニ於テモ、同ジ人々ガ遊說ニ努メラレテ居ル事實ガアル、則チ其關係ハ如何ニモ原君ト間ニ因緣淺カラザルコトヲ思ハシムルモノガアルノデアリマス、是ニ由ッテ之ヲ考ヘマスルト、昨日マデ黨首ニ向ッテ行掛ケノ駄賃ニ塵ヲ掛ケテ逃ゲルト云フ原君ノ態度ハ、自ラ讀ミ得ラレルト思フノデアリマス(拍手)

○議長(粕谷義三君)　一身上ノ辯明ニ付キ發言ヲ求メラレテ居リマス――森田政義君

〔森田政義君登壇〕

○森田政義君　只今原惣兵衞君ノ讀上ゲラレマシタ文書ニ付テ、本員ニ對スル點ガアッタノデアリマスガ、是ハ實ニ荒唐無稽ノ文書デアッタノデアリマス、ドウモ私ハ梅田君ガドウ云フ積リデ書イタノデアルカ、先程カラ餘程考ヘテ居ルノデアリマスガ、ドウシテモ念頭ニ浮ビマセヌ、或ハ昨年末デアッタト思ッテ居リマスガ、一通ノ訴狀ヲ私ニ見セマシテ、裁判事ガ起ッテ居ルノデアルガ、此裁判ハドウナルデアラウト云フヤウナコトヲ昨年十二月ノ十五六日デアッタカト思ヒマスガ、其時ハ梅田君ガ原惣兵衞君等ト政本合同ノ運動ヲ中止シテ、梅田君モ其時ハ政友本黨ニ留ッテ、自分ハ是カラ行クト云フ意思ガ固クナッテ居ッタ時代デアル、其時梅田君ハ本黨ヲ脫スルナドト云フ時機デハナイ、盛ニ床次總裁ノ所ニ行ッテ書ヲ書イテ貰ッタリ、色々ナ事ヲシテ床次總裁ニ忠勤ヲ擢ンデテ居ッタ時代デアッタカラ、其時梅田君ガ出テ行クトカ、脫黨トカ云フ問題ガアッタ時デハナイ、其時ニ私ニ對シテ、私ガ辯護士デアルカラ、裁判事ガアルカラドウ云フモノデアラウト云フ位ノ相談ヲ受ケタヤウニ思フノデアリマスガ、內容ガドウデアッタカ、ドンナ事件デアッタカ、今更私ハ記憶ニアリマセヌ、多分ハサウ云フ事ヲ私ニ相談スル位ダカラ、本人トシテハ、餘程切迫詰ッテ居ッタカモ知レマセヌガ、私ハ左程梅田君ノ問題ヲ重大視シテ居リマセヌカラ、私ハ餘リ觀念ニアリマセヌガ、或ハ梅田君トシテハ重大ナ問題デアッ

タカモ知レマセヌ、多分ハサウ云フ問題デモ捉ヘテ來テ、私ニ汚名ヲ著セントスルノデハナイカト思フノデアリマス(拍手)原君ニシタ所ガ、成程本黨時代ニハ友人デアル、今日政友會ニ行ッテモ廊下デ喧嘩ヲシタ覺エモ無ケレバ、其所ヘ行クト御互ニ無事デハナイカト云フ挨拶ヲスル仲ダカラ、マサカ私ガ買フ人間デモナケレバ、買ハレル人間デモナイト云フコトハ、原君夙ニ御承知ノ筈ダ、唯々原君カラサウ云フコトガ出タカラ、私ニハ自分トシテ怪訝ニ堪ヘヌカラ、此事ダケヲ辯明シテ置キマス(拍手)

○議長(粕谷義三君)　尚ホ一身上ニ關スル辯明ニ付テ發言ヲ求メラレテ居リマス――松浦五兵衞君

〔松浦五兵衞君登壇〕

○松浦五兵衞君　私ハ丁度只今原君ガ朗讀ナサレタ書面中ニ、私ノ名前ガ出テ居リマシタカラ、其儘置クモ甚ダ遺憾ト思ヒマシテ、一言茲ニ辯明旁々、事實ヲ簡單ニ申上ゲマス(此時發言スル者多シ)

○議長(粕谷義三君)　靜粛ニ願ヒマス

○松浦五兵衞君(續)　辯明デス、私ノ名前ガ出テ居リマスカラ――分リマシタカ

(此時發言スル者多シ)

○議長(粕谷義三君)　靜粛ニ願ヒマス

○松浦五兵衞君(續)　ソレデナケレバ分リマセヌ、能ク分ルヤウニ申上ゲヤウト思ヒマス、諸君ノ誤解ヲ招イテハ尚ホ御氣ノ毒デアルカラ、原君ノ朗讀シタ書面ノ中ニ政友本黨ニ關係シタ事柄ハ多々アリマシタガ、ソレハ私ハ別ニ申上ゲマセヌガ、要スルニ私ガ關係シタト云フ乾新兵衞君ニ關スル事デアリマス、之ニ就テ何カ私ガ西川某ト話ヲシテ、其結果床次總裁ガ之ヲ出シ拔キ云々ト云フコトガアリマスガ、是ハ全然違ッテ居ルコトデアリマス、無論間違ッタ事デアリマスカラ、間違ッタ事實ヲ申上ゲマス(發言スル者多ク議場騷然)諸君苟モ、諸君ハ私ノ辯明ヲ聽イテ、或ハチット御不便カモ知レマセヌガ(議場騷然)

○議長(粕谷義三君)　靜粛ニ願ヒマス

○松浦五兵衞君(續)　私ハ少クトモ諸君ガ私ノ辯明ヲ聽クト云フコトガ多少御不便デアレバ、御氣ノ毒ニ存ズルケレドモ(發言スル者アリ拍手起ル)私ハ事實ヲ事實トシテ申上ゲルノデアリマス、ソレデ乾新兵衞君ノ番頭西川某ガ私ニ會ッタノハ事實デアリマス、ソレデ其詳細ナル事ハ委員會ノ速記ニ載ッテ居ルカラ、私ハ自分ニ關スル事ヲ極ク簡單ニ申上ゲマス、卽チ西川君ハ私ニ對シテ(「ソンナコト聽ク必要ナシ」ト呼フ者アリ)聽ケバ分ル、田中――當時ノ陸軍大將田中君ガ政界ニ大ニ意ガアル、野心ガアルガ、併シマダ其時期デナイト云フノデ居ッタガ、一昨年來乾君ト種々交渉ノ結果愈々政界ニ出ル決心ヲシテ、現ニ昨年デス、五月カ六月ニ政友會ノ總裁ニナラレタ次第デアル、然ルニ此時ニ於テ西川君ハ、私ガ多年會社關係ノ友人デアリマス、ソレデ私ニ忠告シテ、今政本合同ガ出來ルヤ否ヤト云フ、私ハ政本合同、勿論希望スルケレドモ、兎ニ角既ニ相當ナ理由ガアッテ分離シタモノデアルカラ、矢張相當ナ理由ガナケレバ中々サウ簡單ニ黨外ニ於ケル君等ガ思フ通リニ行クモノデナイト云フ時ニ、西川君ハ、サウ云フコトヲ言ッテ本黨ノ連中ガ愚圖々々シテ居ルト、所謂順次ニ手モ取ラレ足モ取ラレルヤウニ捥取ラレテシマフ(「其通リ」ト呼フ者アリ)無論其通リデアルガ、是ニ於テ私ハ辯明スル必要ガアル、然ラバ苟モ一黨ヲ指揮シテ居ル者ガ何デサウ容易ク捥取ラレルデアラウカ、西川曰ク、ソコガ問題デアル、田中ニハ大ナル金ガ出來テ居ル(拍手、發言スル者多シ)田中ノ方ニ於テハ其金ヲ使フニ相當ノ手腕ヲ持ッテ居ル、勿論政友本黨ノ人各々節操アルニ相違ナイガ、併シ此金錢ノ魅力ニハ叶ハヌゾ(拍手、議場騷然)ト私ハ忠告シタノデアル、ソレデ私ハ此事ヲ以テ床次總裁ニ話シ、床次總裁トモ協議ノ上、斯ノ如キ金錢ハ田中君ニ行カヌヤウニ、十分警戒シテ、所謂政本合同ノ實ヲ擧ゲルコトヲ私ハ希望シテ居ルカラ、ソレガ爲ニハ(「辯明デハナイヂヤナイカ」ト呼ヒ、其他發言スル者多シ)御聽キナサイ、辯明デス、ソレガ分ラナケレバ仕方ガナイソレガ爲ニ却テ(發言スル者多ク議場騷然)

○議長(粕谷義三君)　靜粛ニ願ヒマス

○松浦五兵衞君(續)　餘リ一方ノ黨派ニ金錢ガ出來ルト、如何ニ議員ノ節操ガ堅固デアッテモ往々ニシテ心得違ヒノ者ガ出ル、ソコガ或ル黨派ノ狙ヒ所デアラウト思フ、ソレデアルカラ私ハ其金ハドウカ田中君ノ方ニ、容易ニ合同ノ出來ルマデ渡サヌデ吳レト云フコトヲ西川君ニ忠告ヲシタノデアル、ソレ以外何等床次總裁ト乾新兵衞君トノ關係ノ無イコトヲ私ハ此所デ斷言スル、ソレデアル、私ハ床次總裁ガ佐藤君云々、松浦ノ一喝ニ會ヒナドト云フコトハ全然無根、跡形モ無イコトデアリマス、惟フニ今日ニ於テ其金ガ或ハ如何ナル働キヲシテ居ルカ分リマセヌガ、私ハ少クトモサウ云フ不淨ナ金ハ田中君ヘモ行カヌヤウニ、西川君ニ忠告シタノデアルカラ、諸君カラモ感謝サレテ然ルベシト思ヒマス、一言辯明シテ置キマス(拍手)

○議長(粕谷義三君)　武富君ヨリ……通告ガアリマス――武富濟君

〔武富濟君登壇〕

○武富濟君　私ハ横山委員長報告ノ如キ事實ヲ認定スベキモノナリトノ說ヲ主張スル者デアリマス、先程原君ヨリ頗ル熱心ナル梅田寛一君ノ辯明論ガアリマシタガ、御同僚ト致シマシテハ固ヨリ當然ノ御態度デアリマス(「同僚デナイ」ト呼フ者アリ)若シ現在ノ同僚デナケレバ、前ノ親交アル御同僚ト申シテ置キマス、唯々辯護モ餘リニ過ギマスルト云フト、却テ辯護論ノ價値ヲ損傷スルコト、相成ルノデアリマス、原君ノ御辯明ノ中デ最モ力ヲ入レテ御引用ニナリマシタノハ、梅田寛一君ノ御自身ノ辯明書デアリマス、併ナガラ梅田寛一君御自身ノ辯明書ハ疑ヲ受ケラレテ居ル方ノ主張デアリマスカラ、悉ク眞實ナリトシテ直ニ肯定シ難キモノガアルノデアリマス、而モ原君ノ御主張ガ餘リニ强ク爲テアリマスル爲ニ、其御論ノ結果ト致シマシテ、不必要ニ他ヲ讒誣中傷マデモ敢テセラレマシタコトヲ甚ダ遺憾ト致シマス、隨テ原君ノ御論旨ニ反對ヲスル爲ニハ、一二ノ書面ヲ讀ムノ餘儀ナキニ至ルコトヲ遺憾ト致シマス、併ナガラ時間ヲ尊重致シマシテ、頗ル簡單ニ要項ヲノミ摘示致シマス、菅沼廣助君ノ査問會委員長ニ宛テラレマシタル詳細ナル書面ノ冒頭ノ一二行ニハ斯樣ニアル「議員梅田寛一氏ノ行動ニ關スル査問會ニ於テ同氏提出ニ係ル辯明書ナルモノヲ新聞紙ヲ通ジテ拜承候處、全然事實ノ眞相ヲ誤リ、特ニ虛ヲ構ヘ、徒ラニ他ヲ中傷セシムルモノ、如ク國民ヲ惑ハス甚シキモノアリ」トアリマス、而シテ査問會ニ現ハレマシタル土屋寛君ノ委員長ニ宛テタル電報ニ依レバ、「三月八日梅田寛一氏ノ査問會ニ於テ梅田氏ハ床次政友本黨總裁ガ二月十四日土屋ヲ招キ、梅田氏ノ脫黨意思ヲ飜スベク懇談セラレタリトカノ辯明ヲ爲シタル由ナルモ、床次總裁ヨリ梅田氏ノ意思ヲ飜スコトニ付テ何等御話シタルコトナキノミナラズ、昨年九月以來梅田氏ニ面會シタルコトナシ、年賀狀ノ外書面ノ往復ハ一昨年以來シタルコトナシ、梅田氏ガ自己擁護ノ爲メ床次總裁ヲ傷ケントスル、其手段ノ陋劣ナル實ニ憤慨ニ堪ヘズ、茲ニ事實ノ相違セルコトヲ表明ス、土屋寛、横山金太郎君宛」デアリマス、又藤田謙一君ノ同委員長ニ宛テラレタル書面ノ記載ニ依レバ「衆議院議員梅田寛一氏ガ査問會ニ提出セル辯明書中、小生ガ青森縣ニ於テ貴族院議員立候補ノ際數萬圓ヲ政友本黨總裁床次氏ニ提出セルヤノ風聞云々ノ記載アルハ全然事實無根ニ有之候間御參考迄御通報申上候、大正十五年三月十日藤田謙一、衆議院議員横山金太郎殿」(議場騷然)

○議長(粕谷義三君)　諸君御著席ヲ願ヒマス――靜粛ニ願ヒマス

〔議場騷然〕

○議長(粕谷義三君)　靜粛ニ願ヒマス

○武富濟君(續)　次ニ中村四郎兵衞君ト堀喜幸君、此兩君ノ陳述書ノ記載ニ依リマスルト云フト、梅田寛一君ハ山梨大將ト通謀シテ……

〔議場騷然〕

○議長（粕谷義三君）　靜肅ニ願ヒマス

○武富濟君（續）　金錢黄白ヲ以テ議員ノ説ヲ變ゼシメントシタ事實ヲ認メルノニ十分デアリマス

〔議場騷場〕

○議長（粕谷義三君）　御著席ヲ願ヒマス

○武富濟君（續）　私ハ敢テ自分一個ノ獨斷的論評ヲ試ムル者デハアリマセヌ、斯ル動カスベカラザル有形ノ證據ニ基イテ論結ヲ茲ニ表示スルノデアリマス、私ハ議員梅田寛一君ノ爲ニ洵ニ悲ム者デアリマス、私情ニ於テ忍ビザル點ガアリマスケレドモ、議員全體ノ面目ニハ換ヘラレマセヌ、帝國議會全體ノ面目ニハ換ヘルコトハ出來ヌノデアリマス、已ムヲ得ズ委員長ノ報告ノ事實アルコトヲ認メマス

〔議場騷然〕

○議長（粕谷義三君）　靜肅ニ願ヒマス

○武富濟君（續）　原惣兵衞君ノ辯護論ハ一顧ノ價値ナキモノデアッテ、殊ニ引用セラレタル書面ノ記載ニ依レバ、我黨ノ總裁若槻氏ト床次總裁トノ間ニ於テスラ金錢問題アリシコトヲモ論述セラレタノデアリマス、徒ニ己ヲ以テ他ヲ……（議場騷然）希望スルノデアリマス

〔議場騷然〕

○議長（粕谷義三君）　靜肅ニ願ヒマス

○武富濟君（續）　之ヲ以テ私ハ梅田寛一君ノ行動ハ、委員長報告ノ事實アリト認メザルヲ得ヌノテアリマス、原惣兵衞君ノ説ニ反對ヲスル者デアリマス（拍手）

○議長（粕谷義三君）　海原清平君

○海原清平君　都合ニ依ッテ取消シマス

○議長（粕谷義三君）　是ニテ討論ハ終局ニナリマシタ、仍テ採擇ヲ致シマス、委員長ノ報告ヲ是認スルニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔贊成者　起立〕

○議長（粕谷義三君）　起立者多數デアリマス、仍テ宣告致シマス、本案ハ是認スルニ決シマシタ（拍手）

○湯淺凡平君　議長

○議長（粕谷義三君）　湯淺凡平君

○湯淺凡平君　議事日程變更ニ關スル所ノ緊急動議ヲ提出致シマス、卽チ議員梅田寛一君ノ處決ヲ求ムルノ決議ヲ提出スルコトノ動議ヲ提出致シマス

〔「贊成」「贊成」ノ聲起ル〕

○議長（粕谷義三君）　只今湯淺凡平君カラ成規ノ贊成ヲ得テ、議員梅田寛一君ノ處決ニ關スル緊急動議ヲ提出セラレマシタ、此際日程ヲ變更シテ此緊急動議ヲ議題トスルニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ノ聲起ル〕

○議長（粕谷義三君）　尙ホ日程變更ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔贊成者　起立〕

○議長（粕谷義三君）　起立多數デアリマス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ――日程變更ニハ政府モ同意セラレマシタ、仍テ提出者ノ趣旨辯明ヲ許シマス――湯淺凡平君

決議案（議員梅田寛一君處決ニ關スル件）

湯淺凡平君提出

決議案

議員梅田寛一君ハ院議ニ鑑ミ直ニ處決スヘシ

右決議ス

〔湯淺凡平君登壇〕

○湯淺凡平君　私ハ議員梅田寛一君ニ對シテ……

〔此時發言スル者アリ〕

○議長（粕谷義三君）　靜肅ニ願ヒマス

○湯淺凡平君（續）　左ノ決議ヲ提出致シタイト思フ者デアリマス、卽チ「決議案、議員梅田寛一君ハ院議ニ鑑ミ直ニ處決スヘシ右決議ス」（拍手）理由ハ只今多數ヲ以テ可決ニナリマシタル所ノ院議ニ依ッテ十分デアリマス、諸君、梅田寛一君ハ吾々ト鄕國ヲ同ジウシテ居ルノデアリマス、其同ジ鄕國カラ斯ノ如キ院議ノ決議ヲ受ケナケレバナラヌト云フガ如キ同僚ヲ出シタルコトハ、私ハ天下ニ向ッテ謝罪ヲシナケレバナリマセヌ（拍手）同鄕人タル所ノ私ガ、梅田君ニ向ッテ此處決ヲ求ムルト云フコトハ、同鄕人ノ天下ニ對スル所ノ責任デアルト私ハ確ク信ズル者デアリマス、此理由ニ依ッテ本案ヲ提出致シマス（拍手）

○議長（粕谷義三君）　只今湯淺君ヨリ議員梅田寛一君ノ處決ヲ促ス所ノ決議ヲ提出セラレマシタ……（此時發言スル者アリ）靜肅ニ願ヒマス、之ニ反對ノ通告ガアリマス――西方利馬君

〔西方利馬君登壇〕

○西方利馬君　私ハ只今ノ決議案ニ反對ノ意ヲ表スル者デアリマス、其理由ハ私ガ先程述ベマシタ通リデアリマス（拍手）

○議長（粕谷義三君）　直ニ採決ヲ致シマス、此採決ハ無名投票ヲ以テ致シマスルノガ本則ト思ヒマスルガ、此場合ハ起立ニ依ッテ採決致シタイト思ヒマス、御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ」「贊成」ト呼フ者アリ〕

○議長（粕谷義三君）　御異議ナシト認メマス、仍テ起立ニ依ッテ採決ヲ致シマス、湯淺君提出ノ決議案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔贊成者　起立〕

○議長（粕谷義三君）　起立多數デアリマス、仍テ決議案ハ可決サレマシタ――只今砂田重政君ヨリ成規ノ贊成ヲ得テ、江木司法大臣犯罪搜査權ニ關スル緊急質問ガ提出サレマシタ、此際日程ヲ變更シテ之ヲ許スニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（粕谷義三君）　御異議ナシト認メマス、政府モ日程變更ニ同意サレマシタ、仍テ日程ヲ變更シテ提出者ノ趣旨辯明ヲ許シマス――砂田重政君

江木司法大臣犯罪搜査權ニ關スル緊急質問（提出者砂田重政君）

〔砂田重政君登壇〕

〔發言スル者アリ〕

○議長（粕谷義三君）　著席ヲ願ヒマス

○砂田重政君　諸君、私ハ茲ニ江木司法大臣ニ對シテ、犯罪ノ搜査權ニ關スル重大ナル問題ニ付テ質問ヲ試ミタイト思フノデアリマス、司法大臣ハ裁判所檢事局ノ行政ノ事務ノ上ニ、監督權ヲ有セラレルコトハ固ヨリデゴザイマスルガ、大臣ノ最モ樞要ナル職務デアリ、官制ノ上ニ於テ最大ノ力ヲ成シ、權威ヲ有セラレルモノハ、此犯罪ノ搜査檢擧ニ關スル監督權ニ外ナラヌノデゴザイマス（拍手）而シテ前ニ本員ハ此壇上ニ於キマシテ、江木君ガ内田某ノ身上ニ關スル問題ニ付テ「スパイ」ヲ利用シ、又自カラ金品ヲ與ヘテ犯罪ヲ構成セシメント計畫サレタ如キ事實ノ有無ヲ質問致シタノデアリマス、而シテ此質問ヲ致シマシタ所以ノモノハ、當時江木君ト最モ關係深キ、最モ親交ノ間柄ニアルト云ハレル小橋某ト云フ元代議士ノ聲明書ヲ此壇上ニ於テ讀上ゲテ、而シテ此事實ノ有無ヲモ確メ、又證據ニ付テ明瞭ニ此事實ノ有無ノ答辯ヲ要求シタノデアリマス、越エテ其後ニ至ッテ小橋元代議士ハ、吾々及東京都下ニ於ケル有力ナル各新聞社ノ人々ヲ、自カラ進ンデ招致致シ、サウシテ江木君ノ答辯ノ餘リニ白々シキ事情ヲ詳細ニ述立テ、且ツ自分ノ執リタル行動、江木君ト神田鐳藏トノ間ニ於ケル關係、名刺ヲ貰ッテ江木君ノ電話ノ口ヅケニ依ッテ、千五百圓貰受ケタル事實ヲ明瞭ニ致シ、又内閣書記官長室ニ於テ、三百圓ノ金ノ授受ヲ受ケタル事實ヲ明瞭ニシタルノミナラズ、更ニ進ンデ此小橋榮太郎ハ、江木君トハ多年親交ノ關係ガアル爲ニ、江連某ト云フ斯ノ「アレキサンドルスク」ニ於テ露西亞人ヲ殺シテ、海賊事件トシテ有名ナル事件ノアノ連中ガ「オコーツク」ニ出掛ケテ行クコトモ、小橋、江木諸君ガ一緒ニ相談シテヤッタモノデアルト云フコトマデ、明言致シタノデアリマス（拍手）斯樣ナル事實ガ都下ノ新聞紙ニ依ッテ、小橋ノ手ヲ通ジテ明瞭ニナッタ結果ハ、茲ニ水野某ト云フ者カラ江木司法大臣ヲ相手取ッテ告發狀ノ出タコトハ、當時ノ新聞紙デ明瞭ナ事デアリマス、隨テ此犯罪ヲ搜査シ、檢擧スル重大ナル責任ヲ有シテ居ル、此檢察官ヲ指揮監督スル地位ニ在ル司法大臣ハ、斯ノ

如キ告發狀ノ出タ場合ニ對シテ、之ニ處シテ如何ナル處置ヲ執ルノガ最モ公正ナル態度デアルカ、卽チ其一ツハ自己ノ身邊ニ關シ、斯ノ如キ嫌疑ヲ被リ、疑雲ニ蔽ハレテ居リ、而モ其事實ノ一端ハ、此壇上ニ於テ江木君自身ガ名刺ヲ與ヘテ金ノ授受ニ至ッタコトヲ肯定サレテ居ル以上ハ、斯ノ如キ事件ニ對シテハ其職ヲ退イテ、公正ナル審理ヲ受クルト云フコトモ一ツノ方法デナケレバナラヌ(拍手)併ナガラ自ラ其職ヲ退カズトスルナレバ、特ニ剛直ニシテ謹嚴ナル檢察官ヲ選ンデ、監督權者ノ地位ニ在ル司法大臣ハ、自ラ進ンデ之ニ積極的ニ其搜査ヲ命ジ、而シテ自ラ司法大臣自身ノ審問ヲ受ケルヤウニ、積極的ノ行動ヲ執ラナケレバナラヌト思フノデアリマス(拍手)然ルニ過日民事訴訟法ニ關スル法律案ノ質問ニ當ッテ、黑住君ノ質問ニ對シ司法大臣ノ答辯ハ、是等積極的行動ニ出タル事實ナクシテ、唯、有リノ儘ニ之ヲ放任シタト云フコトヲ此壇上ニ於テ述ベラレ、自己自ラ監督ノ權ヲ有シ、指揮スル權能ヲ有スル大臣自身ガ、犯罪ノ嫌疑者トシテ告發ヲ受ケタ場合ニ於テ、斯ノ如キ消極的態度ヲ以テ、總テノ問題ガ最モ公正ニ判斷ヲセラレ、審理サレルト云フコトハ、全國民一人モ之ヲ信ズル者ハナイト思フノデアリマス(「ヒヤヒヤ」拍手)斯ノ如キ場合ニ於テ、何故ニ江木司法大臣ハ此積極的行動ヲ執ラレザリシヤト云フコトヲ伺ヒタイノデアル、更ニ吾々ノ傳ヘ聞ク所ニ依リマスト、此問題ハ江木君ハ一回ノ審問モ未ダ受ケテ居ラヌト聞ク、而モ此告發事件ハ不起訴ノ處分ニ ナッタト承ルノデアリマス、吾々ハ此不起訴處分ニナリタル事實アリヤト云フコトヲ、明瞭ニ司法大臣ノ口ヨリ承リタイ、若シ世上傳フルガ如ク、斯ノ如キ事實ニ對シテハ一回ノ審問モ受ケズシテ不起訴ノ處分ニナッタト云フコトニナレバ、此小橋某ト云フ元代議士ヲシテ居ッタ人ガ、吾々ノ面前ニ提供シタル聲明書、及ビ都下ノ大新聞ヲ集メテ天下ニ新聞ヲ通ジテ公表シタル此事實ガ、虛僞ノ事實デアッタト云フコトノ認定ガナケレバ、不起訴處分ハ出來ナイ筈デアル、若シ其通リナリトスルナラバ、何故ニ此小橋某ト云フ者ガ斯ノ如キ虛僞ノ事實ヲ竝ベ立テテ江木司法大臣ヲ陷レントシタル此犯罪ニ對シテ、之ヲ起訴シ、之ヲ訴追シテ、而シテ司法大臣ノ明リヲ明瞭ニ立テルト云フコトヲシナケレバナラヌト思フノデアリマス(拍手)然ルニ江木君ハ、小橋某ト云フ者ニ對シテハ何等ノ處置ヲ執ラズシテ、彼ハ今日北海道ニ歸ッテ居ル、又此背後ニハ小橋某ヲ脅迫シテ、斯樣ナモノヲ書カシタト云フガ如キ宣傳ヲ流布シテ居ル者ガアル、若シ左樣ナ事實アリトスルナレバ、何故ニ此小橋ヲ脅迫シ、彼ヲ强要シテ、斯ノ如キ聲明ヲ爲サシメタル者ヲ檢擧シテ、事實ヲ天下ニ明瞭ニ爲サレヌカト云フコトヲ承リタイ、此脅迫ヲ爲シ聲明ヲ爲サシメタト云フ者モ今日一人モ檢擧サレテ居ラヌ、而シテ江木君ヲ陷レタト言ハレル小橋モ、何等ノ拘束モ受ケズ、何等ノ處分モ受ケナイト云フコトニナリマスト、矢張神田鐳藏トノ關係ニ於ケル千五百圓ト云フ關係ノアル如ク此聲明書ニゴザイマスガ、天下ニ告白シタルコトハ悉ク事實デアッテ、唯、此間ニ糊塗シ、有耶無耶ニ之ヲ葬ッテ責任ヲ免レントスル計畫デアルト天下ニ疑ハレテモ已ムヲ得ナイノデアル、吾々ハ是等ノ事實ヲ司法大臣ガ自ラ進ンデ天下ニ聲明シ、天下ニ之ヲ明瞭ナラシムルニ ノザレバ、江木君ガ「スパイ」ヲ使ヒ 又「スパイ」ノ仲間ニ色々ノ關係ノアルト云フ事實ヲ段々段々天下ニ濃厚ニ告白シテ來ル結果ニ相成ルト思フノデアリマス、然ルニ是等ノ事實ガ一モ天下ニ告白セラレザルノミナラズ、而シテ却テ其間ニハ色々ノ流言浮說ヲ捏造シテ天下ニ告白シテ居ルノデアル、卽チ此事件ガ告發サレテ以來、或ハ某司法大官ノ言ナリト稱シ、或ハ警視廳ノ言ナリト稱シ、彼レ小橋ハ或ル一部ノ人々ニ恐喝ヲサレテ書イタノデアル、其背後ニハ某政黨ガアリ某代議士ガアルト云フヤウナ全ク虛僞ノ宣傳ヲ流布シテ居ル事實ガアル、又此小橋某ト云フ者ハ、是ハ唯々一時左樣ナ流言ヲ放ッタ者デアルト云フコトノ爲ニ、檢束ノ處分ヲ受ケタト云フガ如キコトモ宣傳流布サレテ居ルノデアル、是ハ單リ此問題ニ限ラズ、近來ノ政府ノ遣方ハ、丁度幸ヒ此所ニ內務大臣モ御出ニナリマスルカラ、此點ハ特ニ明瞭ニ致シテ置キタイト思フ、吾々ハ今日ノ日本ノ司法權ノ最モ公正ニシテ、謹嚴ニ尊重サレテ居ルコトヲ信ズル者デアル、司法大臣若クハ其大臣ノ監督ヲ受ケル司法警察官、裁判官ノ中ニ於テ、斯ノ如キ宣傳流布ヲ爲スガ如キ者ハ一人モ無イト云フコトヲ確信致シタイノデアル、然ルニ是等各新聞ニ現レテ來ル記事ヲ見マスルト、悉ク是ハ警視廳ニ於ケル一派ノ策動、彼等ノ宣傳流布デアルト云フコトハ、記事ノ內容ニ依ッテ明瞭ニ窺ヒ知ルコトガ出來ルノデアル(拍手)單リ此江木君ニ對スル問題ノミナラズ、此頃三瓶某ト云フ者ガ、吾々ノ尊敬ナ致シマス人々ニ對シテ告發狀ヲ出シテ居ルト言ウテ居ル、而モ是ハ陸軍ノ機密費ニ關スル問題デアル、而モ此機密費ニ關シテ過日陸軍大臣及總理大臣ノ口ヲ通ジテ、全ク荒唐無稽デアルト云フコトハ、此壇上ニ於テ明瞭ニナッテ居ルノデアル(拍手)此事實ガ明瞭ニ大臣ノ口ヲ通ジテ發表サレテ居ルノデアルガ、司法警察官ノ手許ニ告發狀ノ出テ居ル以上ハ、斯ノ如キ事實コソ一日モ速ニ之ヲ調查シテ、其黑白ヲ天下ニ明ニスルト云フコトガ當然ノ責任デナケレバナラヌト思フノデアル、而シテ是ハ一朝取調ベタ曉ニ於テ、全ク誣告デアル、天下ヲ欺イタモノデアルト云フコトノ明瞭ニナルコトハ、今日ヨリ明々白々ノ事實ナリト吾々ハ信ズルノデアル、然ルニ此事案ノ告發者ハ如何ナル理由カ、司法裁判所ニ於テモ今日マデ其所在ヲ知ルコトガ出來ナイト云フコトヲ盛ニ新聞紙上ニ於テ宣傳ヲ爲シ、而シテ他ノ一面ニ於テハ某司法大官ノ談ト云フガ如キコトヲ書イテ、恰モ此事案ニ對シテハ非常ナル疑ノ事實ガアルガ如キ言葉ノ下ニ、十分ノ搜査ヲスルト云フガ如キ宣傳ヲ爲シテ居ルト云フコトハ、全ク之ヲ政爭ノ具ニ使フト云フコトハ明瞭ナル事實デアルト吾々ハ信ズルノデアル(拍手)吾々ハ想フニ司法大官ガ斯ノ如キ宣傳ヲ爲スモノトハ信ジナイ、想フニ是ハ警視廳ニ於ケル一派ノ人々カ、然ラザレバ此政府部內ニ於ケル宣傳ノ一派ガ斯ノ如キ事ヲ爲シテ居ルモノト信ズルノデアル(拍手)斯ノ如キ事實ニ對シテハ若シ此宣傳、斯ノ如キ流言ガ政府筋カラ出テ居ルモノデアルカ否カト云フコトヲ此壇上ニ明瞭ニ承リタイノデアル、況ヤ司法大官ノ口カラ斯ノ如キ談ト云フモノガ出テ居ッテ、此事實ニ對シテハ司法大官ガ斯ノ如キ事實ヲ漏シタコトノ有無ハ、最モ司法權ヲ尊重スル上ニ於テ、司法大臣ヨリ此席ニ於テ明瞭ニ御答辯ヲ願ハナケレバナラヌ點デアルト思フノデアリマス(「ヒヤヒヤ」拍手)殊ニ先般來此小橋某ヲ强要シ脅迫シタル者ハ下島某ト云フ者デアッテ、而シテ此下島某ハ之ヲ脅迫シタル事實ニ依ッテ檢束サレテ、近日中ニ市ケ谷ノ刑務所ニ送ラル、ト云フコトマデ明瞭ニ新聞ニ載ッテ居ルノデアリマスルガ、吾々ガ檢事局ニ就テ聽ク所ニ依ルト、是等ノ事ハ全然虛僞デアル、彼ヲ檢擧シタノハ全ク此事案ニハ關係ノ無イ一昨年頃ノ貸金取立ニ關スル脅迫ノ事案ヲ以テ起訴ヲシテ置キナガラ、而モ之ヲ恰モ此江木事件ノ背後ニ隱レタル策動者ノ如キ流言蜚語ヲ放ッタルト云フコトハ、全ク是ハ警視廳ニ於ケル宣傳ト認メルヨリ外ニ途ハ無イノデアル(拍手)斯ノ如キ關係ニ於テ、徒ニ事件ヲ有耶無耶ノ中ニ葬ルガ如キハ、現政府ノ爲ニ之ヲ悲ムト共ニ、斯ノ如キ事ヲ共ニヤル現內閣ハ、擧ゲテ「スパイ」ノ政治ヲヤル內閣デアルト云フ譏ヲ免レナイト思フノデアリマス、殊ニ江木君ハ其司法大臣ニ就職セラレマスルト同時ニ、申スマデモナク、我國ノ國政ヲ最モ圓滑ナラシムル爲ニ、政務官、事務官ノ區別ヲ設ケ、而シテ政務官ト事務官トノ間ニ其職務ヲ明瞭ニ區域ヲ立テ、、事務ノ進捗ヲ圖ルト云フコトハ、此內閣三派聯立內閣以來ノ最モ重要ナル問題デアッタノデアル、然ルニ江木君ハ司法大臣ニ就職セラル、ヤ否ヤ卽時ニ、而モ丁度九州大學ニ關スル問題ノ起

訴不起訴ヲ決スルト云フ重大ナ時デアリ、一面ニハ衆議院議員ノ選擧ヲ行フト云フ重大ナ時ニ當ッテ、事務官ニ屬スル刑事局長ヲ馘首シテ、突然ニ是ノ首ヲ馘ッタト云フ事實ハ、當時世間ヲシテ非常ナ疑惑ヲ持タシメ、世間ヲシテ江木君ガ如何ナルコトヲヤルカト云フコトヲ疑ヲ持タシムルニ至ッタノデアル(「英斷デハナイカ」ト呼フ者アリ)ソレハ單リ吾々ガ――諸君ガ英斷ト認メラレルカモ知レヌガ、此刑事局長ノ首ヲ馘ッタ爲ニ、當時司法警察ノ――檢察ノ任ニ當ル裁判官、檢事、司法部内ニ於ケル人ヽカラ、斯ノ如キ剛直謹嚴ナル人ガ首ヲ馘ラレタト云フコトヲ惜ム爲ニ、惜別ノ宴會ヲ開イタト云フコトモ天下公知ノ事實デアル(拍手)吾吾ハ斯ノ如キコトニ於テ、江木君ノ態度ニ多少ノ疑ヲ持ッテ居ル際ニ當ッテ、此頃ノ態度ハドウデアル、民事訴訟法ノ改正法律案ガ議會ニ出テ、吾々野黨ノ人ガ一言何カ質問ヲスルト、江木君ハ何時ノ場合デモ此問題ダケハドウカ政黨關係ヲ離レテ御考ヲ願ヒタイト云フコトヲ盛ニ言ハレル、固ヨリ司法省カラ提案セラル、大部分ノ法律案ト云フモノハ、悉ク黨派的觀念ヲ以テ論議スベキモノデナイコトハ無論ノコトデアル、斯樣ナコトヲ考ヘテ居ル者ハ、今ノ委員ヲ通ジテ、與黨野黨ヲ通ジテ一人モ無イ筈デアル、一人モ無イニ拘ラズ、司法大臣ダケガ應答毎ニ必ズ黨派關係ヲ離レテト云フ言葉ヲ言ハレルノハ、問フニ落チズシテ語ルニ落チル、江木君ガ卽チ總テノ問題ニ黨派的根性ヲ以テ何事カ爲サレテ居ルト云フコトヲ物語ッテ居ルモノト、吾々ハ考ヘナケレバナラヌノデアル、斯ノ如キコトハ吾々ガ此議會政治ノ運行ノ上ニ、最モ緊要ニシテ緊急已ミ難キ重大ナル問題デアリマスルガ故ニ、此機會ニ於テ司法大臣ヨリ明瞭ナル御答辯ヲ要求スル次第デアリマス(拍手)

○議長(粕谷義三君)　江木司法大臣

〔國務大臣江木翼君登壇〕

○國務大臣(江木翼君)　只今砂田君ヨリ御尋ニナリマシタ事項ニ付キマシテ概要ヲ申上ゲ、且ツ檢事局ヨリ參リマシタル報告ノ概要ニ付キマシテハ、後刻政府委員ヨリ巨細ニ報告ヲ致サセタイト思フノデアリマス、司法大臣ノ職務ハ御承知ノ如ク、只今モ御述ニナリマシタル如ク、裁判所及檢察局ヲ監督シ、且ツ檢察事務ニ付テ指揮監督ヲスル――指揮ヲスル、成程其通リデアリマスル、サリナガラ常ニ申上ゲテ居ル如ク、一年數十万件ニ上リマスル所ノ犯罪事件ト云フモノヲ、悉ク司法大臣ガ指揮ヲ致スト云フコトハ、絕對ニ不能ナル事ナノデアリマス(拍手)之ヲ以チマシテ事ノ重要ナルモノニ付キマシテハ、悉ク之ヲ檢事局ニ委シテアリマス、檢事局ハ――檢事局ハ御承知ノ如ク、其身分ハ法律ニ依ッテ保障セラレ、決シテ其意思ヲ他ニ依ッテ枉ゲラル、ガ如キ憂ハ今日マデモナク、又將來モ有ルベキ筈ハナイト思フノデアリマス(拍手)私一個ニ關シマスル事件ニ付キマシテハ、總テ之ヲ檢事局ノ公平ナル判斷ニ委シマスト云フコトハ、是ハ蓋シ私ガ事ニ關係ヲ致シテ居リマスル以上ハ當然ノコトデアルト思フ(拍手)其他ノ事柄ニ對シマシテ、或ハ三瓶ノ事件ガドウデアルトカ、或ハ大阪ノ事件ガドウデアルトカ云フヤウナコトニ渉ッテ御尋ガゴザイマシタガ、司法大臣ガ檢察事務ヲ指揮監督致シマス上ニ於キマシテハ

〔此時發言スル者多シ〕

○議長(粕谷義三君)　靜肅ニ願ヒマス

○國務大臣(江木翼君)(續)　固ヨリ黨派ノ區別ハ眼中ニ措イテ居リマセヌ(「ヒヤ〳〵」「公明正大」ト呼フ者アリ)又其非議ヲ受ケマシタル所ノ人ノ、社會上ノ位置ノ上下ナドト云フモノヲ眼中ニ措イテ處分ヲスルガ如キコトハ、斷ジテナキコトヲ茲ニ公言ヲ致シテ置キマス、小橋事件――小橋ナル者ガ或ル事實ヲ流布シテ、而シテソレガ江木翼事件ノ告發トナッタ、其小橋ハ何故ニ告發ヲセラレタカ、斯ウ云フヤウナ――起訴シナイカト云フヤウナ御尋ガアリマシタガ、小橋ハ何等ノ告發モセズ、何等ノ告訴モシナイノデアリマス、隨ヒマシテ誣告デアリマストカ、サウ云フヤウナ事犯ガ起ルベキ譯ガナイカト思フノデアリマス(拍手)某司法大官ガ色々ナ話ヲ新聞紙等ニ流布シテ居ルト云フ點ニ付テ、疑ヲ挾ンデ居ラレマスルヤウデアリマスルガ、私ハ司法部ヲ預ッテ居リマスル一人ト致シマシテ、洵ニ斯ノ如キ記事ガ新聞ニ載リマスルコトハ、砂田君同樣頗ル遺憾ニ思フノデアリマス、私自身ト致シマシテハ、司法大官ヨリ斯ノ如キ談話ハ出ナイト固ク信ズルノデゴザイマス、御承知ノ如ク刑事訴訟法ノ五十五條ニハ、事件ガ公判開廷ニ至ルマデハ、全ク之ヲ祕密ニ付スベキコトガ法律ニ依ッテ命ゼラレテ居ルノデゴザイマスカラ、司法官タル者ハ必ズ此法條ヲ知ラナイ譯ハアリマセヌガ故ニ、司法官ノ口カラ刑訴事件ニ付キマシテ、之ヲ公ニ漏スト云フガ如キコトハ、斷ジテナカラウト思ヒマスルガ、其點ハ折角ノ御話デゴザイマスルカラ、十分嚴重ニ戒飭ヲ致シタイト思フノデアリマス、能ク注意ヲ致シタイト思ッテ居ル次第デゴザイマス、其他私ノ身上ニ關シマスル事ニ付キマシテハ、政府委員ヨリ巨細ニ報告ヲ致サスコトニ致シマス(拍手)

〔政府委員立石謙輔君登壇〕

○政府委員(立石謙輔君)　只今……(發言スル者アリ)

○議長(粕谷義三君)　靜肅ニ願ヒマス

○政府委員(立石謙輔君)(續)　只今司法大臣カラ答辯ガアリマシタガ、其中ニ小橋榮太郎ノ事ニ關シテノ御質問モアッタヤウデゴザイマスルカラシテ、其事ニ關シマシテ私ガ檢事局ノ報告ノ要領ヲ茲ニ御紹介スルコトガ出來ル機ヲ得タコトヲ、光榮トスル者デゴザリマスル、元來此水野茂人ノ告發ハ、小橋榮太郎ノ聲明書ガ本ニナッタノデゴザリマスル、然ル所、內田良平ニ對スル被告事件ガ起ッテ居リマシテ、是ハ目下控訴中デゴザイマスル、一審ニ於テ被告無罪ニナリマシテ、目下控訴ニナッテ居リマス、其事件ノ取調ベノ經過ニ徵シマスレバ、小橋榮太郎ガ其當時ノ書記官長、卽チ今ノ司法大臣ニ面會ヲ初メテ致シマシタノハ、大正十四年ノ四月ノ七日ト推斷スルコトガ出來ル、ノミナラズ、尤モ數年前ニ數囘面會ヲシタ事實ハアルサウデゴザリマスル、數年前デゴザリマスル、此內田良平ニ關スル事件カラ見マスト、其樣ニ推斷ガ出來ルノデアルト云フ報告ガゴザリマスル、ソレニ附加フルニ、尙ホ水野茂人ノ此告發事件ガ起リマシタニ付テ、大臣カラ檢事總長ニ一切一任セラレテ、而シテ取調ベタ結果、東京地方裁判所ノ檢事局デ取調ヲ致シマシタ結果、小橋其他ノ關係人ヲ取調ベマシタ結果ニ依リマスト云フト、其事實、卽チ――關係ガアルト考ヘマスルカラ述ベマスル、其事實、卽チ江木大臣ガ四月七日ニ初メテ小橋榮太郎ニ面會ヲシタモノデアルト云フコトハ益ゝ明ニナッテ來タノデゴザリマスル(「三百ニナッテ居ルデハナイカ」呼フ者アリ)サウデハゴザリマセヌ、而シテ其點ニ付テハ毫モ疑ガナイノデゴザリマスル、卽チ三月中ニ小橋ガ江木翰長ニ面會シタト云フコトハ、全然無根ノ事實デゴザリマスル

(發言スル者アリ)

○議長(粕谷義三君)　靜肅ニ願ヒマス

○政府委員(立石謙輔君)(續)　是ハ檢事局ヲ御信用ニナッテ差支ナイ事デゴザリマスル、檢事局ノ報告デゴザリマスル、又小橋ガ首相暗殺ノ計畫ガアッタト云フコトノ事實ヲ官憲ニ密告致シマシタ當時、小橋自身モ內田良平ガソレニ加擔シテ居ッタト云フコトハ少シモ知ラナカッタノデゴザリマス、其事モ明ニナッテ居リマスル、此內田ノ行動ニ關シテハ、少シモ官憲ニ訴ヘテハ居リマセヌ(發言スル者アリ)

○議長(粕谷義三君)　靜肅ニ願ヒマス

○政府委員(立石謙輔君)(續)　檢事局ニ於テ小道鷹一、田中治郎吉、佐藤計造、其他ノ關係人ヲ取調ベマシタ結果、同月二十四日、卽チ四月ノ二十四日ニ至リマシテ、初メテ內田ガ其事件ニ關係ガアルト云フコトノ疑問ガ生ジタノデゴザリマスル、疑ヲ生ジタノデゴザリマスル、初メテ其時ニ發見シタモノデアリマシテ其經過ニ依リマシテモ、內田ノ陷擠スルガ爲ニ、其當時ノ翰長江木ガ小橋ヲ所謂「スパイ」ト云フヤウナコトニ使ッタト云フヤウナコトハ、全然誣妄

ノ事實デアルト云フコトヲ斷言スルニ憚ラナイノデゴザリマスル、其樣ナ事實ガ明ニナリマシタノデ、水野茂人ノ致シマシタ告發ノ事實ハ、結局ソレヲ認ムルコトガ出來ナイト云フコトニナリマシテ、當月ノ九日ノ日ニ不起訴ニナッタト云フコトノ報告ニ接シマシタ、是ダケ私ノ關係事項デゴザリマスカラ御答致シテ置キマス、而シテ茲ニ私ガ終リニ臨ミマシテ、司法部全體ノ爲ニ此辯明ヲ茲ニ爲ス機會ヲ與ヘラレタル砂田君ニ厚ク感謝ヲ致シマスル(拍手)

○砂田重政君　簡單デアリマスカラ、此席カラ御許シヲ願ヒタイ

〔發言スル者アリ〕

○議長(粕谷義三君)　靜肅ニ願ヒマス

○砂田重政君(續)　只今政府委員ノ御答辯ニ依ルト、江木君ガ不起訴ニナッタト云フコトヲ明瞭ニ承リマシタ、先程司法大臣ノ御答辯ニ依ルト、小橋ハ告發ヲシタ者デモ、告訴ヲシタ者デモナイカラ、其儘ニ捨テ、アルト云フ御答辯ガアッタノデアリマス、是ガ私ニハ分ラナイ、小橋ガ斯ノ如キ宣傳ヲ爲シ、若シ不起訴ニナッタ理由ガ、彼等ノ言フコトガ眞實ニアラザルコトヲ言ウテ、世間ヲ惑ハシ、此議會ヲ通ジテ國民ヲ惑ハシタ場合ニ於テ、之ニ對シテ適當ナル犯罪ヲ以テ處罰スルニアラザレバ、江木君ノ總テノ疑雲ヲ掃フコトハ出來ナイト信ズルノデアリマス(拍手)告訴ヲシタトカ、告發ヲシタトカ云フ者ニ對シテ、誣告罪ヲ起サレタカドウカト云フ質問ヲシタノデハナイ、此事實ヲ明瞭ニスル爲ニハ、若シ江木君ニ眞實左樣ナ事實ガ無クシテ、無イ事ヲ流布シタト云フナラバ、左樣ナ事ヲ流布シテ江木君ノ名譽ヲ毀損シ、江木君ヲ陷レルガ如キ行動ヲ執ッタ者ヲ庇ウテ、宿屋ニ泊ラシテ北海道ニ送リ還ス理由ガ、私ニハ分ラナイ(拍手)之ヲ明瞭ニ承リタイト云フノデアリマス、ソレカラ若シ此小橋ハ、又誰カニ恐喝デモサレテ左樣ナコトヲ言ウタト云フコトガ新聞ニ出テ居リマシタガ、若シ左樣ナ事實ガアルナラバ、此恐喝ヲシタ者ヲ何故檢擧ヲシナイノカ、之ヲ明瞭ニシナケレバ江木君ノ周圍ニ絡ハッテ居ル此「スパイ」ト云フ問題ハ、天下國民ノ間カラ疑ハ霽レナイノデアリマス(拍手)之ヲ明瞭ニ承リタイ、今一ツハ私ノ質問ヲ致シタ三瓶某ト云フ者ノ告發事件ハ、此政府ニ於テ明瞭ニ荒唐無稽ダト云フコトヲ言ウテ居ル、其告發事件ヲ少シモ取調ベヲシナイデ、何時マデモ葬ッテ置イテ、其間ニ有ユル宣傳ヲスルト云フコトハ、洵ニ陋劣ナル遣方デアルト私ハ思フノデアル、ソコデ司法大臣ハ此問題ヲ急速ニ取調ベヲ進行セシメテ、直ニ解決ヲ付ケル途ニ向ッテ努力ヲ爲シ、命令ヲ爲ス考ハアルカドウカト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス、此二點ニ付テ明瞭ナル御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス

〔國務大臣江木翼君登壇〕

○國務大臣(江木翼君)　私ハ昨年ノ四月以來小橋ナル者ニ逢ッタコトガゴザイマセヌカラ、ソレカラ後ノ小橋ノ動靜ニ付テハ承知致シマセヌ、併ナガラ小橋ノ名ニ於テ小橋自身ガ新聞ニ或ル聲明ヲ爲スガ如キコトハ、事實ニ於テナカッタヤウニ思フノデアリマス、新聞ニ聲明ヲ爲シ、或ハ此壇上ニ於テ聲明書ヲ御讀ニナッタ方ハ、蓋シ小橋ニアラズシテ他ノ方ガオヤリニナッタヤウニ私ハ記憶シテ居ルノデアリマス(ノウノウ)隨ヒマシテ小橋ト云フ人ガ如何ナル思想ヲ持ッテ居ルカト云フコトヲ、未ダ研究ヲシテナイノデアリマス、ソレカラ三瓶ノ事件、是ハ三瓶自身ガ其告發ヲ出シマスルト間モナク、何レニカ姿ヲ隱シタト云フヤウナ報告ニ接シマシタ、併ナガラ既ニ相當ノ調査ガ進行シテ居ル、斯樣ニ思ヒマスルガ故ニ、出來ルダケ急イデ速ニ事件ノ結末ヲ付ケマシテ、諸君ノ御心配ヲ除キタイト思ッテ居リマス、是ダケデアリマス

〔此時發言スル者多シ〕

○議長(粕谷義三君)　靜肅ニ願ヒマス

○砂田重政君　議長

○議長(粕谷義三君)　砂田君

○砂田重政君　私ハ三度立ツ考ハナカッタノデアリマスガ、只今ノ江木君ノ御答辯ハ洵ニ聞捨テニナラヌ答辯デアリマス、即チ此壇上ニ於テ私ガ質問ヲ致シタ聲明書ハ、恰モ小橋ガ書イタモノデナイト云フガ如キ御答辯デアリマス、是ハ洵ニ聞捨テニナラヌ問題デアリマス、吾々ハ固ヨリ其當時小橋ト云フ者ヲ識リマセヌガ、此書イタ聲明書ハ小橋自ラ書イタモノデアリ、小橋ノ筆蹟デアルト云フコトニ付テハ十分ニ確メヲ致シタ上ニ、尙ホ是ニハ確定日附ヲ以テ明瞭ニシタノデアリマス、而シテ更ニ告白書ニ載ッテ居ル問題ハ、此聲明書ノ外ニ、小橋自身ガ芝ノ三緣亭ニ於テ都下ノ新聞記者ヲ集メ、其席上ニ私モ行ッテ小橋ニ直接會ッテ、小橋ノ口カラ明瞭ニ聽イタ事實デアリマス、此時ニ吾々ハ小橋ト云フ人ニ會ヒ、小橋ト云フ人ハ都下ノ大新聞ノ記者ヲ面前ニ置イテ、之ヲ天下ニ告白シテ貰ヒタイト云フコトヲ言ウタ、小橋ノ口カラ話ヲシタコトハ其當時ノ新聞紙ニ、其新聞記者ノ諸君ト吾々ト小橋ト一緒ノ寫眞ガ載ッテ居ルデハアリマセヌカ、其事實ヲ全然恰モ小橋ノ口カラ出タモノデナイト云フガ如ク、吾々ノ言フコトヲ全ク虛僞ノ宣傳ヲ爲スガ如キ言葉ヲ以テ葬ラレルト云フコトハ、餘リニ白々シキ態度デアッテ、吾々ハ斷ジテ之ニ承服スルコトガ出來ナイノデアリマス、吾々ハ江木君ノ爲ニ、其名譽ノ爲ニモ、此事實ヲ明瞭ニナサルコトガ貴方ノ爲ニモナルト信ズルノデアリマス、今少シク明瞭ニ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス(拍手)

〔國務大臣江木翼君登壇〕

○國務大臣(江木翼君)　小橋其他ヲ「スパイ」トシテ使ッテ居ナイト云フ事實ハ、既ニ問題ガ判決ニナッテ居リマス所ノ內田事件ノ經過ニ見テ極メテ明白ナノデアリマス、(ノウ〳〵)只今刑事局長ガ報告致シタ所モソレデアリマスシ、過日私ガ此壇上ニ於キマシテ詳シク其經過ヲ報告致シタノデアリマス(「其通リ」ト呼フ者アリ)私ハ決シテ此處デ朗讀致サレマシタ聲明書ナルモノガ、小橋ノ手ニ出ナイト云フコトヲ言フノデハナイノデアリマス(「言ッタデハナイカ」ト呼フ者アリ)イヤサウ云フコトハ申サナイ、ソレハ誤解デアリマス、ソレハ小橋カラ出タデアリマセウガ、小橋ニ果シテ此壇上デ聲明書ヲ讀ンデ貰フ意思ガアリシヤ否ヤ、又小橋ハ新聞ニ廣ク此聲明書ヲ出スト云フ意思ガアリシヤ否ヤ、ソレ等ハ分ラナイノデアリマス、分ラナイモノニ對シマシテ、私ハ之ヲ名譽毀損トシテ告訴ヲ致スダケノ事ヲスル必要ハナイト思ヒマス(「ヒヤ〳〵」拍手)

○井本常作君　更ニ日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、日程第二十、政府提出、王公族ノ權義ニ關スル法律案ヲ繰上ゲ上程シ、其審議ヲ進メラレンコトヲ希望致シマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(粕谷義三君)　井本君ノ日程變更ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(粕谷義三君)　御異議ナイト認メマス、仍テ日程第二十、王公族ノ權義ニ關スル法律案ノ第一讀會ヲ開キマス――若槻內閣總理大臣

第二十　王公族ノ權義ニ關スル法律案　(政府提出、貴族院送付)　第一讀會

王公族ノ權義ニ關スル法律案

王族及公族ノ權義ニ關シテハ皇室令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

王族又ハ公族ト一般臣民トニ渉ル事項ニシテ各適用スヘキ法規ヲ異ニスルトキハ前項ノ規定ニ依ル

第一項ノ命令ハ法律中特ニ王族又ハ公族ニ適用スヘキモノトシタル規定ニ違背スルコトナシ

〔國務大臣若槻禮次郎君登壇〕

○國務大臣(若槻禮次郎君)　只今議題トナリマシタ王公族ノ權義ニ關スル法律案ニ付キマシテ、簡單ニ其提出ノ理由ヲ說明致シタイト思ヒマス(謹聽)御承知ノ通リ王族及公族ハ、之ニ關スル御詔書ニ於テ明カデアリマス通リ、國法上其地位ニ應ジテ相當ノ優遇ヲ享ケラルベキモノデアリマス、尙ホ皇族ノ禮ヲ以テ遇セラル、次第モアルコトデアリマスカラ、之ヲ一般的ノ法規ニ依ルモノト致スコトハ、優遇ノ道ニ於テ缺クル所

ナシト申シ難イノデアリマス、ソレ故ニ皇族ノ制度ヲ參酌致シマシテ、王公族ニ關シテハ優遇上必要ナル諸規定ヲ設クルノ要ガアルノデアリマス、而シテ其事項ハ專ラ王公族ノ規範ニ屬スルコトデアリマスガ、又立法事項ニ關係ヲ有スルモノモアルノデアリマスカラ、王公族ノ權義ニ關シマシテハ、命令ヲ以テ立法事項ヲ規定スルノ途ヲ開クコトガ適當デアルト考ヘルノデアリマス、是ガ本案ヲ提出シタ次第デアリマス、故ニ何卒御審議ノ上速ニ御協贊ヲ與ヘラルルコトヲ切望シテ已マナイノデアリマス

〔拍手〕

○議長（粕谷義三君）　日程第二十一、右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選擧ヲ議題ニ供シマス

　第二十一　右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選擧

○井本常作君　本案ハ議長指命、九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ希望致シマス

〔「贊成」ト呼フ者アリ〕

○議長（粕谷義三君）　井本君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（粕谷義三君）　御異議ナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○井本常作君　改メテ日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、卽チ此際大正九年ニ於ケル尼港事變及「オコーツク」事變ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル法律案ヲ上程シ、委員長ノ報告ヲ求メ、第一讀會ノ續ヲ開カレンコトヲ望ミマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（粕谷義三君）　井本君ノ日程變更ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（粕谷義三君）　御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ、卽チ大正九年ニ於ケル尼港事變及「オコーツク」事變ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス――委員長一柳仲次郎君

大正九年ニ於ケル尼港事變及「オコーツク」事變ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル法律案

　第一讀會ノ續（委員長報告）

報告書

一大正九年ニ於ケル尼港事變及「オコーツク」事變ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル法律案（政府提出）

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十五年三月二十日

大正九年ニ於ケル尼港事變及「オコーツク」事變ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル法律案委員長　一柳仲次郎

衆議院議長粕谷義三殿

希望條件

政府ハ露國政變及西比利亞事變ノ爲被リタル帝國臣民ノ損害ニ付其ノ救恤ノ手段ヲ講スルノ外速ニ適當ナル方法ニ依リ之カ賠償ノ途ヲ講セラレムコトヲ望ム

〔一柳仲次郎君登壇〕

○一柳仲次郎君　御付託ニナリマシタ大正九年ニ於ケル尼港事變及「オコーツク」事變ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル法律案、是ハ昨日ト本日ト二日ニ渉リマシテ委員會ヲ開會致シマシタ、委員ノ諸氏ヨリ質問應答ヲ重ネラレマシテ、本日成案ヲ得タノデアリマス、其經過ト結果ノ御報告ヲ致シマス、御承知ノ如ク尼港事變及「オコーツク」事變ハ、稀ニ見ル慘害事件デアリマシテ、委員諸氏ノ最モ御同情アル立場ニ於テ質問應答ヲ重ネラレタノデゴザイマス、色色御希望モアリマシテ、政府モソレニ付テ御答ガアリマシタガ、詳細ナ事ハ時間經濟ヲ尊重致シマシテ、速記錄ニ就テ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス、茲ニ一ツ希望條件ヲ附シマシテ本案ヲ決定致シタ次第デアリマス、其希望條件ハ「政府ハ露國政變及西比利亞事變ノ爲被リタル帝國臣民ノ損害ニ付キ其ノ救恤ノ手段ヲ講スルノ外速ニ適當ナル方法ニ依リ之カ賠償ノ途ヲ講セラレムコトヲ望ム」此希望ヲ附シマシテ、全委員一致決定シタ次第デゴザイマス、此段御報告ヲ致シマス（拍手）

〔粕谷議長議長席ヲ退キ小泉副議長代リ著席〕

○副議長（小泉又次郎君）　本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長（小泉又次郎君）　御異議ナイト認メマス、仍テ本案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ――作間耕逸君

○作間耕逸君　直ニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通リ可決セラレンコトヲ望ミマス

〔「贊成」ト呼フ者アリ〕

○副議長（小泉又次郎君）　作間君ノ動議ニ御異議ナイト認メマス、仍テ直ニ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ニ供シマス

大正九年ニ於ケル尼港事變及「オコーツク」事變ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル法律案　第二讀會（確定議）

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長（小泉又次郎君）　御異議ナシト認メマス、仍テ第三讀會ヲ省略シテ委員長報告通リ可決確定致シマシタ

〔拍手起ル〕

○井本常作君　日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、卽チ此際日程第二十七、議員高橋熊次郎君ノ懲罰事犯ノ件ヲ繰上ゲ上程シ、委員長ノ報告ヲ求メ、其審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

〔「贊成」「贊成」ト呼フ者アリ〕

○副議長（小泉又次郎君）　井本君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長（小泉又次郎君）　御異議ナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シテ日程ハ變更サレマシタ――政府モ同意セラレマシタ

　第二十七　議員高橋熊次郎君懲罰事犯ノ件（委員長報告）

報告書

一議員高橋熊次郎君懲罰事犯ノ件（九山浪彌君提出）

右ハ本院ニ於テ議院法第九十六條第一項第二號ニ依リ公開シタル議場ニ於テ別紙記載ノ謝辭ヲ表セシムヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十五年三月二十五日

懲罰委員長　武藤嘉門

衆議院議長粕谷義三殿

〔別紙〕

謝辭要領

本員カ大正十五年二月二十一日ノ本會議ニ於テ不穩當ノ言辭ヲ爲シタルハ議員ノ職分ニ顧ミ慚愧ノ至ニ堪ヘス謹テ誠意ヲ以テ茲ニ陳謝ス

○副議長（小泉又次郎君）　懲罰事犯ノ會議ハ祕密會デアリマスカラ、傍聽人ノ傍聽ヲ禁ジマス

午後六時七分祕密會ニ入ル

午後八時二分祕密會ヲ終ル

○議長（粕谷義三君）　祕密會ノ結果ヲ御報告致シマス、懲罰事犯ノ會議ニ於キマシテハ、委員長ヨリ報告撤回ノ申出ガアリマシテ、之ヲ許可致シマシタ、仍テ懲罰事犯ノ議事ハ之ヲ止メマシタ、此段御報告ヲ致シマス

○井本常作君　殘餘ノ日程ハ延期セラレンコトヲ望ミマス

〔「贊成」ト呼フ者アリ〕

○議長（粕谷義三君）　只今ノ井本君ノ動議ニハ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（粕谷義三君）　一寸此際議長ヨリ宣告致スコトガアリマス、去ル十一日ノ本會議ニ於キマシテ、議長ガ議員清水市太郎君ノ登壇ヲ促シマシタル際、議長ノ制止ニ拘ラズ、自席ヲ離レテ政友本黨側ノ議席ノ方ニ突進セラレタ諸君ガアリマス、左樣ナ行動ハ議場ノ秩序維持ノ上ヨリ見マシテ、穩當ナラザルモノト認メマス、仍テ茲ニ海原清平君、志賀和多利君、西方利馬君ヲ懲罰委員ニ付シマス、（拍手）次回ノ日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後八時四分散會